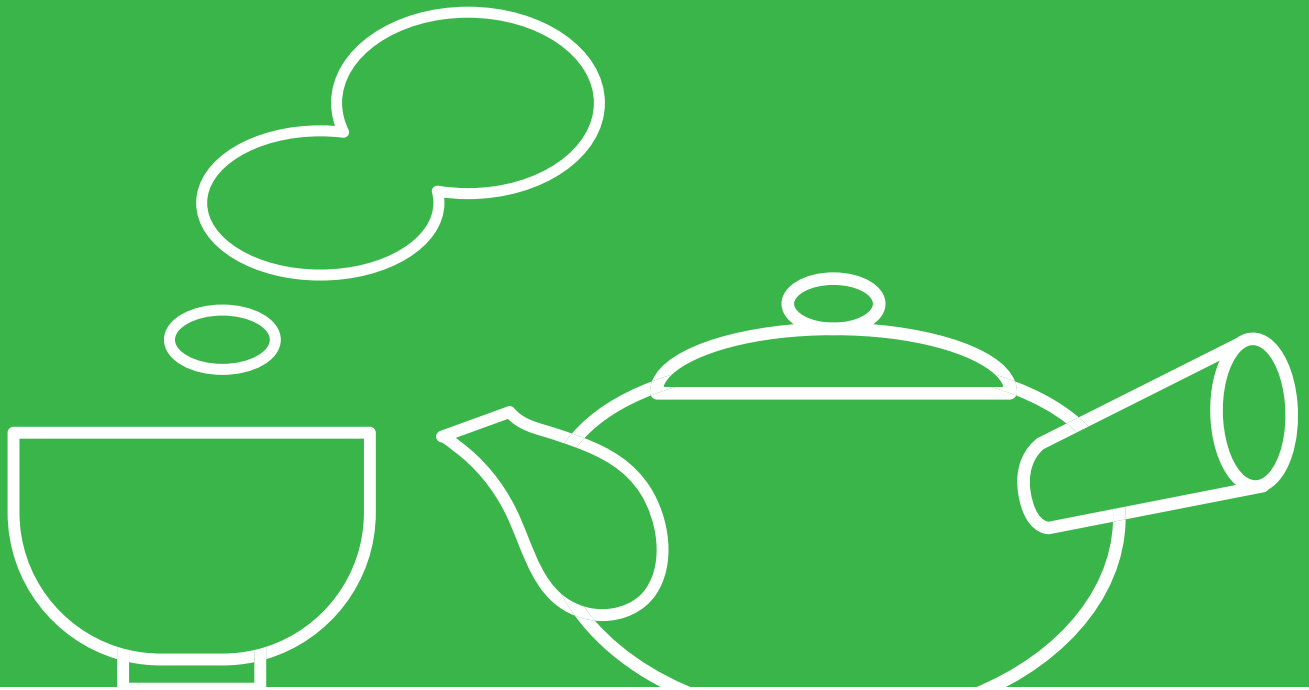


日本茶業体制強化推進協議会

令和 2 年 3 月



平成31年度農林水産省補助事業

持続的生産体制強化対策事業のうち

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業

報告書

平成31年度農林水産省補助事業

持続的生産体制強化対策事業のうち
茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業
報告書

令和2年3月

日本茶業体制強化推進協議会

はじめに

この報告書は、農林水産省補助事業「平成31年度持続的生産体制強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業」の実績報告書である。

国は平成23年4月「お茶の振興に関する法律」を定め、これに基づき平成24年3月「茶業及びお茶の文化の振興に関する基本方針」を策定した。茶業の課題と今後の振興の方向が示されたことにより、茶業関係が取り組むべき対策とその方向が明らかになった。

近年、特にリーフ茶の国内需要が減少している中で、茶の供給量の不安定化により需給バランスが崩れ価格低下を招いており、この改善が緊急の課題となっている。一方世界的視点においては、和食の世界文化遺産登録や抹茶を中心とした日本茶の食材への活用、日本茶文化への関心の高まりがあり日本茶ブームの一翼を担っている面もある。

こうした、国内での需給バランスの崩れと世界的な日本茶文化ブームの中であって、伝統的な日本茶文化の啓発と合わせて、新たな日本茶文化の創造が求められている。失われつつある日本茶文化の伝統を理解した上で、日本茶の新しい利用法を工夫しつつ新たな日本茶文化を創造するためには、全国的な視点に立った食品関連事業者や訪日外国人を含めた消費者への啓発が必要である。

そこで、本事業では、全国的な視点に立って食品関連事業や国内外の消費者へ日本茶文化の訴求を実施するために、大消費地で食品関連事業者の集積地である地域、国内外に日本茶文化を情報発信する機能の高い地域、産地としての積極的な取り組みを推進する地域を選定し、食品関連事業者や国内外の消費者に日本茶文化の魅力を認識してもらう機会を提供する。合わせて、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2025年大阪万国博覧会に向けて海外から来訪する観光客等へ新たな日本茶文化を提供する上での実証を行う。

日本茶業体制強化推進協議会
委員長 大森正司

目 次

I. 事業概要	1
1. 事業目的	1
2. 成果目標の具体的な内容	1
3. 事業実施体制	2
II. 事業内容	4
1. 茶の需要拡大に資するイベントへの参画	4
(1) 関東地区開催イベント	4
①Cafe Res Japan	4
②日本茶シンポジウム2019	11
③秋の和文化祭2019（和文化・産業連携振興協議会イベント）新宿	17
④秋の和文化祭2019（和文化・産業連携振興協議会イベント）日本橋	18
(2) 九州地区イベント（Food EXPO Kyushu 2019）	20
(3) 関西地区イベント（ツーリズム EXPO Japan 2019）	23
(4) 東海地区イベント（全国お茶まつり愛知県大会）	29
2. 需要・消費動向等調査の実施	33
(1) 関東地区イベント会場での実態調査	33
①第7回 Café Res Japan（業者及び一般消費者）	33
②第7回 Café Res Japan（セミナー受講者）	51
③秋の和文化祭 2019	68
(2) 九州地区イベント会場での実態調査	
Food EXPO Kyushu2019（一般消費者）	85
(3) 関西地区イベント会場での実態調査	
①ツーリズムEXPO Japan 2019 関西（観光・旅行会社）	103
②ツーリズムEXPO Japan 2019 関西（一般消費者）	120
(4) 東海地区イベント会場での実態調査	
第73回 全国お茶まつり愛知大会（一般消費者）	141

I.事業概要

1.事業目的

国は平成23年4月「お茶の振興に関する法律」を定め、これに基づき平成24年3月「茶業及びお茶の文化の振興に関する基本方針」を策定した。茶業の課題と今後の振興の方向が示されたことにより、茶業関係が取り組むべき対策とその方向が明らかになった。

近年、特にリーフ茶の国内需要が減少している中で、茶の供給量の不安定化により需給バランスが崩れ価格低下を招いており、この改善が緊急の課題となっている。一方世界的視点においては、和食の世界文化遺産登録や抹茶を中心とした日本茶の食材への活用、日本茶文化への関心の高まりがあり日本茶ブームの一翼を担っている面もある。

こうした、国内での需給バランスの崩れと世界的な日本茶文化ブームの中にあつて、伝統的な日本茶文化の啓発と合わせて、新たな日本茶文化の創造が求められている。失われつつある日本茶文化の伝統を理解した上で、日本茶の新しい利用法を工夫しつつ新たな日本茶文化を創造するためには、全国的な視点に立った食品関連事業者や訪日外国人を含めた消費者への啓発が必要である。

そこで、本事業では、全国的な視点に立って食品関連事業や国内外の消費者へ日本茶文化の訴求を実施するために、大消費地で食品関連事業者の集積地である地域、国内外に日本茶文化を情報発信する機能の高い地域、産地としての積極的な取り組みを推進する地域を選定し、食品関連事業者や国内外の消費者に日本茶文化の魅力を認識してもらう機会を提供する。

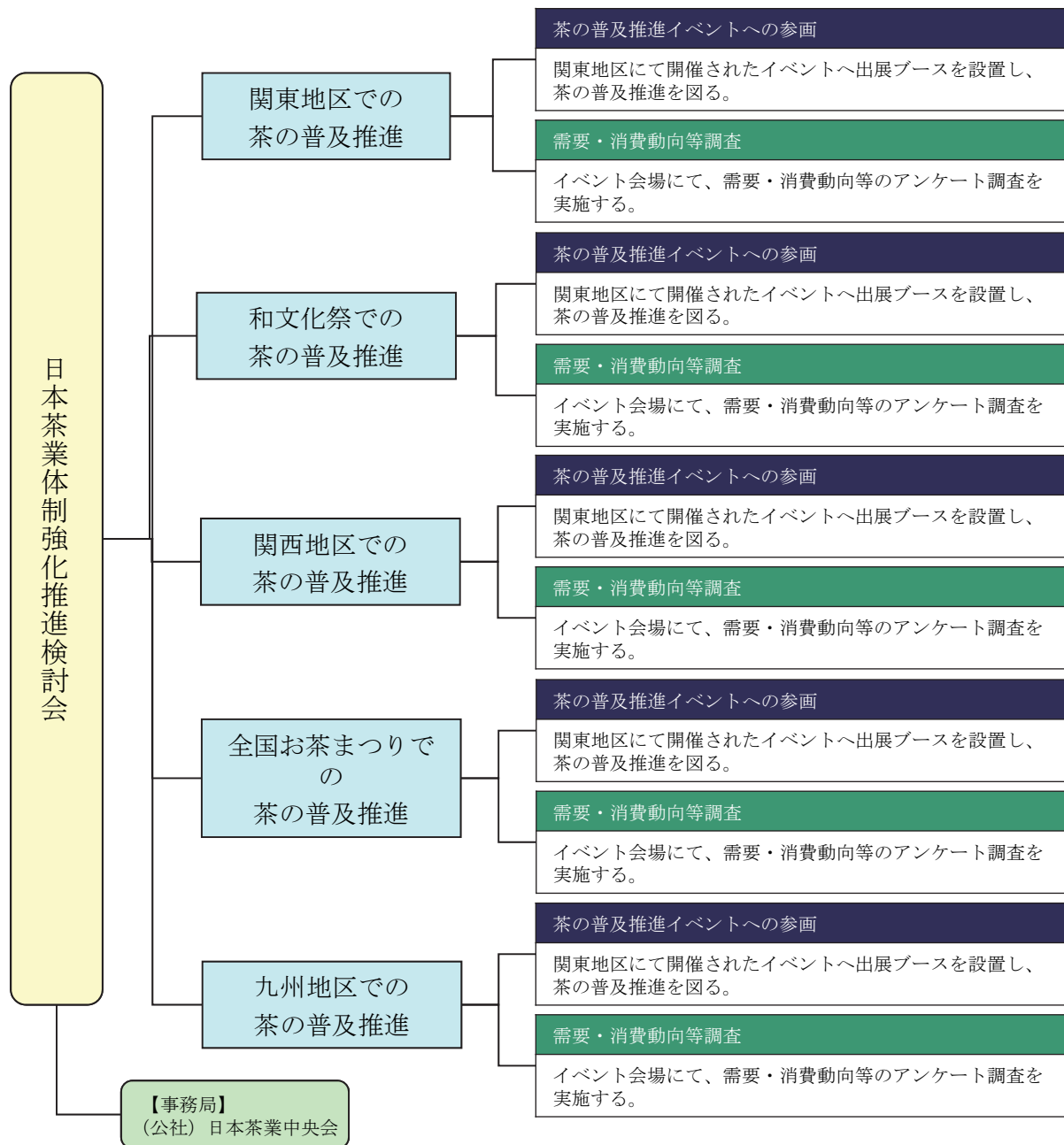
合わせて、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2025年大阪万国博覧会に向けて海外から来訪する観光客等へ新たな日本茶文化を提供する上での実証を行う。

2.成果目標の具体的な内容

達成すべき成果目標	目標値 (31年度)	目標値の考え方	事後評価の 検証方法
コ 地域特産作物に関する文化の普及に資する取組を3地域以上で実施すること	主要地域4箇所において、伝統的な日本茶文化の啓発を行うと共に、新たな日本茶文化の創造における実証を行う。	主要4地域（関東、東海、関西、九州）において食品関連事業者・消費者や訪日外国人の誘導に向けて観光業者等に日本茶文化の理解を深める機会を作ると同時に、新たな日本茶文化の創造に向けた取組に関する意見を取集し、今後の普及推進に活かす。	主要4地域（関東、東海、関西、九州）におけるイベントへの来場者等を対象として、アンケート調査等を実施することで実態を把握し、普及方法を提案する。

3.事業実施体制

(1)日本茶業体制強化推進協議会 体制



(2) 日本茶業体制強化推進検討会 委員

役職	氏名	所属
委員長	大森正司	NPO法人日本茶普及協会 理事長
委 員	米川 榮	日本紅茶協会 専務理事
委 員	橋本久美子	株式会社吉村 代表取締役
委 員	徳永睦子	一般社団法人お茶結びプロジェクト 理事長
委 員	中島仁三	公益社団法人日本茶業中央会 専務理事
委 員	林 翼	全国茶生産団体連合会 専務理事
委 員	藤田文敏	全国茶商工業協同組合連合会 専務理事
委 員	桐島俊昭	日本茶輸出組合 理事長
委 員	小澤俊幸	公益社団法人静岡県茶業会議所 専務理事
委 員	吉田一夫	公益社団法人京都府茶業会議所 参事
委 員	久保公従	公益社団法人鹿児島県茶業会議所 専務理事
委 員	奥村静二	NPO法人日本茶インストラクター協会 専務理事
委 員	金子孝弘	株式会社K&Aコンサルティングファーム 代表取締役社長

(注) 令和2年3月現在の委員

Ⅱ.事業実施内容

1. 茶の需要拡大に資するイベントへの参画

(1) 関東地区イベント

① Cafe Res Japan

■主催団体の趣旨

日本では、古来より人々が集まりお茶を楽しむ文化として定着しており、様々な種類のお茶をお店や自宅で楽しむファンの方々が世界中に増加しています。

お茶の楽しみ方は、茶葉の選定は当然のこと、茶器や茶菓子、茶室や野点などの設備の細部に至り、その文化的な飲み方と味に、国内だけでなく、今では海外観光客からも熱い視線が注がれています。また、近年では、お茶そのものの健康素材としての注目も高まり、新たな市場の広がりが予想されています。

今回初開催する本展では、飲料文化として広がりを見せるお茶にスポットを当て、世界中のお茶・原材料から、茶道具、ギフト用包装、茶室設備、製造設備を一堂に集め、食品バイヤーやユーザーなどとの商談の場を目指し、年々規模を拡大し開催する。

■日本茶業体制強化推進協議会としての出展趣旨

日本茶業体制強化推進協議会では、食品関連事業者や消費者に対し、伝統的な日本茶文化に加え、料理食材としての活用や新しい飲用方法等について、体験を通じて日本茶文化を普及することを目的として、Café Res Japan 2019のイベント会場に宇治の露製茶株式会社（福寿園G）外17社、日本茶業体制強化推進協議会並びに茨城県さしま茶手揉保存会がブース出展し、来場者に対して、日本茶産地や商品の紹介、水出し煎茶等の試飲の実施、手揉み茶の実演など日本茶文化の啓発を行うとともに呈茶をした来場者に対し、日本茶の需要と消費志向動向等に関するアンケート調査を実施した。

併せて、日本茶の持つ健康効能等に関するシンポジウムを実施し、新しい日本茶の利用法の提案など、新しい日本茶文化の創出に向けて情報を発信するとともに参加者に対し、日本茶の需要と消費志向動向等に関するアンケート調査を実施した。

開催期間	2019年7月3日（水）～7月5日（金）
会 場	パシフィコ横浜 B・C・Dホール（横浜みなとみらい）
出展ブース数	20団体
ブース来場者数	全体合計 33,745名 （当協議会ブースの来場者 約900名、アンケート回収 301枚）

（参考）

	7月3日(水) 曇り	7月4日(木) 雨時々曇り	7月5日(金) 曇り	合 計
1. 受付登録入場者数 ※1	10,605 名	11,012 名	11,355 名	32,972 名
2. VIP 登録入場者数 ※2	271 名	202 名	170 名	643 名
3. 報道関係者入場者数 ※3	47 名	40 名	43 名	130 名
1. ～3. の合計	10,923 名	11,254 名	11,568 名	33,745 名

来場者数 集計方法

※1 受付に事前登録用紙・招待券を持参した来場者の数をカウントしています。

※2 受付にVIP招待状を持参し入場登録したVIPの数をカウントしています。

※3 事務局にて取材登録をされた報道関係者の数をカウントしています。

※ 事務局にて対応いたしました来賓ならびに関係者の数は1. に合わせて集計しています。

出展団体名簿

No	府県名	出展者名	ブース番号
1	静岡県	(株)前田金三郎商店	2-37-1
2	静岡県	株式会社製茶問屋山梨商店	2-37-2
3	静岡県	株式会社マルヒデ岩崎製茶	2-37-3
4	静岡県	有限会社カネタ太田園	2-37-4
5	静岡県	カネイー言製茶株式会社	2-37-5
6	静岡県	株式会社カネス製茶	2-37-6
7	静岡県	株式会社さんせい茶園	2-37-7
8	静岡県	株式会社高柳製茶	2-37-8
9	静岡県	富士茶農業協同組合	2-37-9
10	静岡県	(有)丸玉園	2-37-18
11	静岡県	勝間田開拓茶農業協同組合 静岡県茶業研究センター	2-37-17
12	京都府	JA京都やましろ	2-37-10
13	京都府	株式会社カネ七畠山製茶	2-37-11
14	京都府	共栄製茶株式会社	2-37-12
15	京都府	宇治の露製茶株式会社 (福寿園G)	2-37-13
16	京都府	(株)大門かんばやし	2-37-14
17	熊本県	熊本県経済連茶業センター	2-37-16
18	熊本県	熊本県経済連茶生産流通協議会	2-37-17
合 計		18社	
1	東京	日本茶業体制強化推進協議会	
2	茨城県	茨城県さしま茶手揉保存会	

「CAFERES JAPAN 2019 (International Tea Show)」

日本茶業体制強化推進協議会ブースの 運営について

日程 ; 2019 年 7 月 3 日 (水)、4 日 (木)、5 日 (金)

場所 : パシフィコ横浜 B・C・Dホール

日本茶業体制強化推進協議会

(事務局 : (公社) 日本茶業中央会)

1 日時・ブースの場所

①日時 : 7月3日(水)～5日(金) 10時～18時

集合時間: 毎日9時30分にブースに集合

初日のみ9時に集合をお願いします。

②場所 : 横浜パシフィコB・C・D会場【B会場】

日本茶業体制強化促進協議会ブース: 2-5

2 開催スケジュールと作業分担

(1) 荷物の搬入・ブース設営

7月2日午後、日本茶業中央会スタッフが実施

(2) 展示開催期間(7月3日～5日)

①スタッフ集合時間: 9時30分(初日のみ9時)

・スタッフは、入館証、バッジ着用(会員証)

・サービスマンへの車の駐車は、原則として禁止

②ブース内の準備: 9時30分～10時00分(初日9時～10時)

③展示開催時間 : 10時から18時

④昼食時間 : 12時から14時の間

・3人のスタッフが交代で食事をする

(3) 荷物の撤去・搬出

7月5日17時～18時に出品物の梱包・手運びなる

18時からブース内の飾り等を撤去し搬出

(インストラクター協会が手配する赤帽に積み込み)

18時～21時の間に車両がホール内に乗り入れ可能となる

積載車には必ず「搬入・搬出のカード」を掲示

警備員の指示に従う。

梱包、搬出作業はスタッフ及日本茶業体制強化推進協議会スタッフで対応(日本インストラクター協会と連携して、荷物は赤帽にて東京茶業会館へ)

3 ブース出展の目的と業務内容

(1) 目的

- ① 日本茶の需要拡大に向け、日本茶の理解の増進と文化の普及
- ② 具体的には、水出し煎茶の試飲の提供、パンフの説明等を通じ、日本茶のおいしさや淹れかた等の理解の増進を図る

(2) 活動内容

① アンケートの実施

150～200 枚程度（アンケートの協力者にティーバッグを提供）

② お茶の試飲活動とパンフを使った説明

- ・ 水出し茶及び水だしのサイダー割り（お茶 2 種類）

③ 急須、ティーバッグ、粉末茶、ペットボトル、ドリップ式、 フィルターインボトルを展示

(3) 日本茶業体制協議会ブース（日本茶・Japan Tea）湯沸し器の 安全管理

4 当日の持ち物

① 出展者バッジ

② 会員証（胸元に着用）

③ 協会オリジナルエプロン

原則として、白い襟のあるカッターシャツ・黒系のボトムスを着用

④ 筆記用具

⑤ ふきん 2 枚程度（名前等記入してください）

⑥ 昼食

交代で休憩してください。

会場周辺は、混雑しますので、事前準備してください。

5 緊急連絡先

① 日本茶業中央会 TEL 03-3434-2001

② 展示会運営事務局（TSO International 株式会社

TEL 03-5363-1701

6 ブース活動の留意点

(1) ブースでの注意点

①スタッフ同士は、積極的に声掛けし、協力し合い、冷茶の準備、試飲活動等をしてください。

②ブースは、常に整理整頓に心がけましょう。

茶殻ゴミなどのゴミは、会場ルールに従い処理してください。

(ブースで出たゴミは、協議会で用意するゴミ袋を使い、ゴミシールを貼り、退館時にブース前の通路に出してください。)

洗い物は、会場ルールに従い、人との衝突、破損、ケガに気を付けてください。

③当日の持ち物は最小限にして、盗難に注意してください。

荷物などは、テーブルの下に整理し、貴重品は身につけてください。)

④個人でなく、常に日本茶業体制協議会(会長大森正司)の看板を背負っていることを意識してください。

相手方の名刺は、来場者の名刺として保管してください。

⑤来場者数等の記録

一日ごとに来場者数、配布資料数、呈茶数、アンケート数を記載してください。

(2) 水出し茶の作り方

茶;静岡茶(400g) 5600杯×3日 計1500杯

①2Lペットボトルに、茶葉30g前後をいれ。常温においておく。(ブース内で場所を作る)

②少し濃いめに水出し煎茶を作り、茶こしで茶葉をこしフィルターインボトルに移し替える。

③ボトル内に氷を適量いれ、ホルダーに置く。ボトルの転倒に注意しましょう。

④提供時は、プラカップを使用し随時対応する。

(3) 消耗品の管理

①水 ;前日にケースを購入しブース内で保管。初日終了後に不足分を追加購入する。

②氷 : 当日購入し、ブース内で保管。様子を見ながら追加購入する。

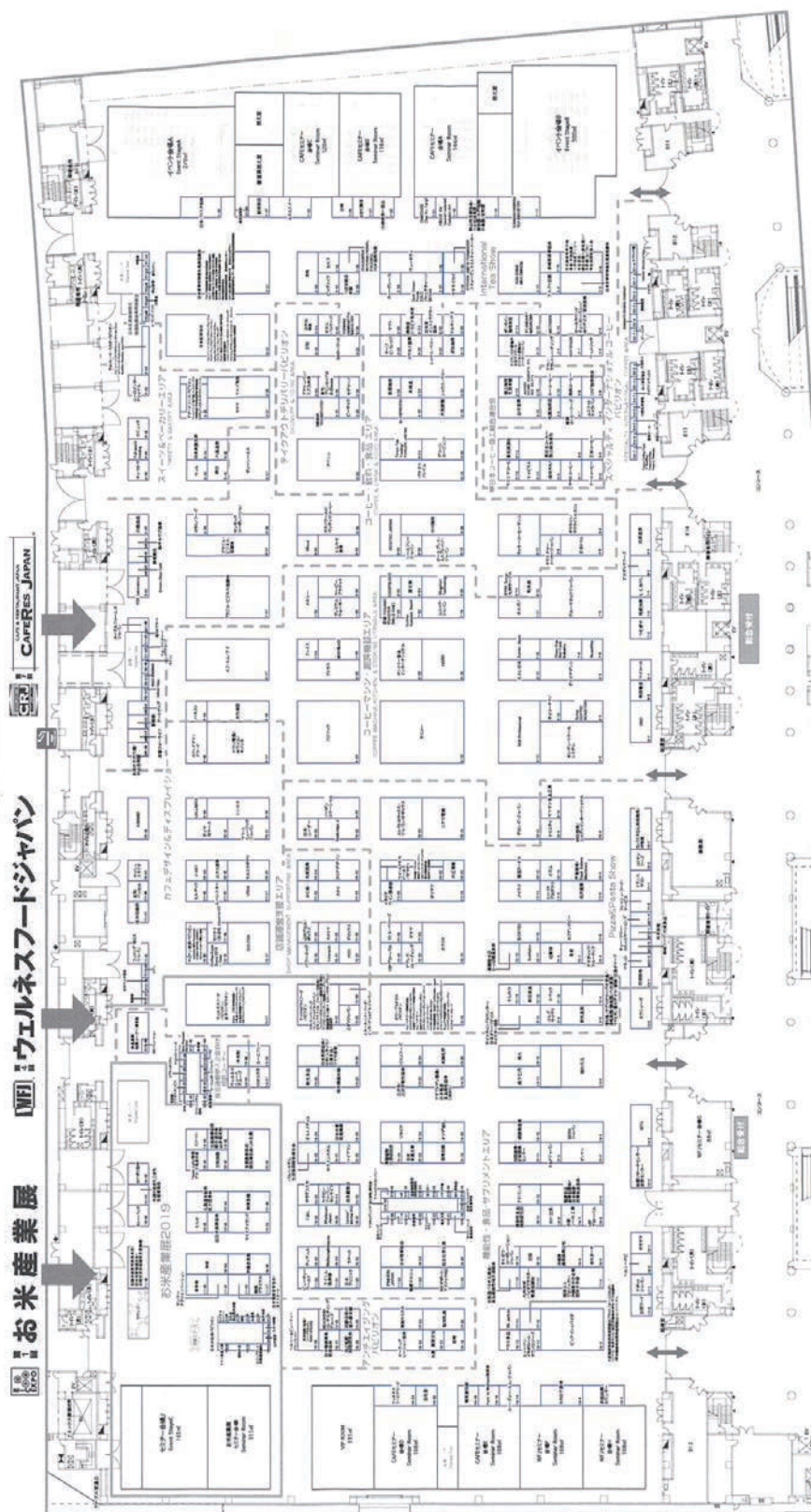
③茶 : ブース内で保管

④備品 ; キッチンペーパー、プラカップ(初日終了後に、不足分を確認)、
ごみ袋、茶殻ゴミ袋をブース内で保管。

Venue : Pacifico Yokohama Hall B-C-D



CAFES JAPAN



②日本茶シンポジウム2019

(ア)日 時： 7月3日(水) 15:00～17:00

(イ) シンポジウムの概要

・下記テーマにより、5人のパネラーによるシンポジウムを実施

・参加者は、50名程度

(テーマ)緑茶の健康機能性の最前線 ～夏だからこそ緑茶～

■講演要旨のしおり

1.中村 順行 氏

静岡県立大学食品栄養環境科学研究院
茶学総合研究センター長・特任教授

はじめに

人はだれしも健康で長生きしたいと願っています。

お茶は紀元前2000年も前から神農が毒消しの薬としていたとの伝説に始まり、1200年(A.D. 760年)前に陸羽によって書かれた「茶経」でも、鎮静効果、ストレスや体のだるさを解消する効能が記されています。また、古くから中国の多くの医薬書で茶は上薬とされてきました。

もちろん、中国に留学した僧侶たちも茶に接し、日本に持ち帰りました。

栄西禅師(1141～1215)の「喫茶養生記」でも、「茶は養生の仙薬であり、人の寿命を延ばす妙術」と、茶の素晴らしさ、効能を記し、茶の普及を勧めています。

最近、この健康に良い飲物として日常茶飯事となったお茶の経験的に知られていた機能性が科学的にも立証され、世界中の高い関心事となっています。

茶には他の植物ではみられないカフェイン、ガレート型カテキン、アミノ酸の一種であるテアニンが多く含まれています。これらの成分が様々な健康効果をもたらします。お茶は無毒で安心して飲め、入手や飲食が容易で低価格であること。有効成分が明らかでその機能性が明らかにされていることなどから理想的な機能性食品の条件を満たしています。さらに、カロリーがゼロに近く、いつでも摂取することが可能で、精神的にも効果の高いことなど、人類への最高の贈り物です。

今回は、「緑茶の健康機能性の最前線の中から」夏だからこそ緑茶を飲み、免疫力を強化し、ストレス解消、体脂肪を減らす効果を専門家により解き明かします。

2.物部 真奈美 女史

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門上級研究員

テーマ：夏は水出し緑茶で免疫力の強化を!!

「水出し緑茶」は、冷たい水や氷水で淹れて飲むお茶です。渋味や苦味がほとんどなく、より一層うま味を感じるという特徴があります。

冷たい水や氷水で淹れることで、緑茶に含まれる渋味や苦味に関係する成分であるエピガロカテキンガレート(EGCG)が浸出されにくくなります。一方、うま味に関係しているアミノ酸やテアニンは低い温度でもしっかり浸出されるので、渋味や苦味が減った分、うま味が引き立ちます。カフェインの浸出も熱水で淹れた時よりも減り、カフェインが気になる方にもオススメの飲み方です。

さらに、冷たい水で淹れた場合でも多く含まれるエピガロカテキン(EGC)には免疫力を強化する可能性が出てきました。

3.海野 けい子 女史

静岡県立大学食品栄養科学部茶学総合研究センター客員准教授

テーマ：現代社会のストレスを緑茶で回避

ストレスは様々な疾病の発症や悪化の重要な要因です。茶葉に特有のアミノ酸であるテアニンは、ストレスや睡眠に対して改善効果を示すことが明らかとなりましたが、私たちが緑茶を飲んだ場合、緑茶の主要な成分であるカフェインやエピガロカテキンガレート（EGCG）がテアニンの作用を打ち消してしまいます。そこで茶葉からカフェインを洗い流した低カフェイン緑茶を作製し、それを「水出し」とするとEGCGの溶出を抑えることができます。水出しの低カフェイン緑茶を20代～90代の方に飲んでいただいた結果、いずれの年代においても対照と比べ低カフェイン緑茶を飲んだ場合の方が、ストレスが軽減していることがわかりました。また、朝早く目が覚めてしまう「早朝覚醒」は特に高齢者で問題となる場合が多いのですが、低カフェイン緑茶に切り替えることにより改善することが明らかとなりました。更に、低カフェイン緑茶をたくさん飲んでいて人ほど、眠りの質を示すノンレム睡眠の割合が高まっていることが明らかとなりました。これらのことから、水出しの低カフェイン緑茶はストレス軽減や睡眠改善効果があると考えられます。

4.時光 一郎 氏

人間総合科学大学人間科学部ヘルスフードサイエンス学科長・教授

テーマ：夏は緑茶で体脂肪対策！！

緑茶に含まれる生理作用成分としてポリフェノールの一種である緑茶カテキンがあります。緑茶カテキンは、これまでに抗菌・ウイルス作用、抗ガン作用、抗アレルギー作用等数多くの生理作用を有することが報告されています。

我々は、ヒトおよび動物を対象とした研究において、緑茶カテキンに体脂肪（含、内臓脂肪）を低減させる効果があることを示してきました。体脂肪の中でも内臓脂肪の過剰な蓄積は様々な生活習慣病を誘導する可能性があることが報告されています。ヒトを対象とした試験の例では、内臓脂肪蓄積型肥満の健常男女240名を対象として、緑茶カテキン583mg/340ml（茶カテキン群）または96mg/340ml（コントロール群）を緑茶飲料の形で1日1本12週間継続摂取する試験を行いました。その結果、緑茶カテキンを継続摂取することで、体重、ウエスト周囲長などが有意に減少しました。内臓脂肪、血圧、LDLコレステロール（悪玉コレステロール）などに対する効果も認められたため、メタボリックシンドロームを中心とした生活習慣病予防に幅広く有用であることが期待されます。また、動物を用いた作用機構解析では、緑茶カテキン摂取により肝臓での脂肪酸代謝が更新することも認められています。ただし、緑茶は継続的に飲むことが重要であり、緑茶やカテキンサプリメントを大量摂取するような極端な考えにならないように注意していただきたいと思います。

緑茶の健康に対する効能は今後も研究が進むことが期待されます。緑茶の更なる普及のためには、生理作用の面だけではなく、美味しさや長い伝統に培われた緑茶の文化的側面を見直すことが重要になってくるのではないのでしょうか。

5.山本(前田) 万里 女史

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 企画調整部 研究管理役

テーマ：お茶で抗アレルギー対策！そして新たな機能性表示食品とは？

茶は何千年もの間、薬用として使われてきた植物で、様々な成分を含み、多様な機能性を有しています。

その中でも抗アレルギー作用や、眼精疲労軽減効果をもつ茶成分や茶品種（べにふうき、サンルージュ）を探索し、作用メカニズムを解明し、ヒト介入試験の実施、最適な製造条件の解明、茶産地の新興を行い、機能性を利用した食品や医薬部外品の開発を行ってきました。

また、2015年4月1日から新たな機能性表示食品制度が施行され、この制度では、販売者自身が安全性と機能性について責任をもって明らかにすることで、商品に機能性を表示することができるようになりました。生鮮食品が対象となったこと、身体の部位を言及できるようになったこと、主観的なスコアで機能性のエビデンスを取得することなど今までにない新しい制度となっており、特定保健用食品にはなかった様々な機能性表示食品が出ています。この機能性表示食品として、初めての抗アレルギー食品として「べにふうき」緑茶ティーバッグ（機能性関与成分：メチル化カテキン）が届出・受理されています。また、血糖上昇抑制作用を持つ「サンルージュ」緑茶（エピガロカテキンガレート）も届出・受理されました。

ここでは、そのような緑茶の健康機能性、特に抗アレルギー作用等の解明研究とそれを活用した製品開発や機能性弁当（NARO Style弁当）の1食材として緑茶を12週間継続摂取することで、血糖上昇抑制作用が認められたのでそれらを紹介します。

【シンポジウムの様子】



【イベント会場の様子】



【イベント会場の様子】



【イベント案内】

招待券

※印刷後10日以内にお申し込みください。
※この日の招待券は入場券として、当日受付で入場登録が必要です。
※会場は当日の受付で、入場は10:00～17:00までです。

入場バジが印刷できるWEB事前登録を ご利用ください。当日、受付で入場登録が不要です。

Cafe Wellness Week

日本最大級のカフェ・レストラン専門展
CAFERES JAPAN

10/09～10/10 10:00～18:00

ウェルネスフードジャパン

健康食品・サプリメント・健康食品に役立つ関連産業の専門展

10/09～10/10 10:00～18:00

お米産業展

お米の魅力を伝える、お米の産地を巡るお米産地巡り専門展

10/09～10/10 10:00～18:00

2019年 7月3日(水)・4日(木)・5日(金)

10:00～18:00 会場: パシフィコ横浜 B・C・Dホール

TEL: 03-5363-1701 E-mail: info@caferes.jp

展示会運営事務局 TSO International 株式会社 内 TEL: 03-5363-1701 E-mail: info@tso-int.co.jp

ウェルネスフードジャパン実行委員会 TSO International 株式会社 TEL: 03-5363-1701 E-mail: info@riceexpo.jp

カフェ×ウェルネス×6次産業食品を扱う700社。がーに集結!!

パリススタグラプリ 2019 7月3日(水)・4日(木) Espresso Italiano Champion 2019 in JAPAN 7月5日(金) ティーインストラクター オブ・ザ・イヤー 2019 7月5日(金)

店舗デザインアワード2019

ウェルネスフードジャパンアワード2019

展示会へのご来場は、ホームページからの入場バジが印刷できる事前登録がお勧めです!

会場受付は30分前にお待ちください。事前登録を済ませた方は、当日受付で入場登録が不要です。入場登録は当日受付で済ませることもできます。入場登録は当日受付で済ませることもできます。入場登録は当日受付で済ませることもできます。

【イベント内での掲示ポスター】

お茶の産地(と主な銘柄)

(都道府県単位)

① 秋田県 雄山茶	① 長野県 伊那茶	① 山口県 山吹茶	① 熊本県 熊本茶
② 宮城県 桃生茶	② 岐阜県 美濃茶	② 香川県 香川茶	② 鹿児島県 鹿児島茶
③ 新潟県 村上茶	③ 愛知県 西尾茶	③ 徳島県 阿波茶	③ 鹿児島県 種子島茶
④ 栃木県 鹿沼茶	④ 滋賀県 近江茶	④ 愛媛県 愛媛茶	④ 鹿児島県 鹿久島茶
⑤ 茨城県 茨城茶	⑤ 三重県 伊勢茶	⑤ 高知県 土佐茶	⑤ 沖縄県 沖縄茶
⑥ 埼玉県 秩父茶	⑥ 京都府 宇治茶	⑥ 福岡県 八女茶	
⑦ 東京都 東京産地茶	⑦ 奈良県 大和茶	⑦ 佐賀県 瀬野茶	
⑧ 神奈川県 足柄茶	⑧ 兵庫県 丹波茶	⑧ 長崎県 長崎茶	
⑨ 山梨県 南都茶	⑨ 岡山県 岡山茶	⑨ 大分県 大分茶	
⑩ 静岡県 静岡茶	⑩ 鳥取県 鳥取茶	⑩ 宮崎県 宮崎茶	

申込に関する注意

ホームページからの申込となります。決済後、マイページから来場証をカラー印刷してお持ちください。事前登録料は、7月2日(火)までの申込が対象となります。

◎7月2日(火)以降のセミナー申込は、当日受付料にて承ります。詳細は下記にてご確認ください。

◎ホームページで事前申込
セミナー専用WEB CAFERES JAPAN <http://caferes.jp/seminar/>
ウェルネスフードジャパン <http://www.wfjapan.com/tokyo/seminar/>
お米産業展 <http://riceexpo.jp/seminar/>

◎全セッション定員になり次第、申込受付終了となりますので、お早めのお申込をおすすめいたします。

◎セミナー中の事故・怪談・その他トラブルについては事務局は一切責任を負いません。

◎セミナーの録音・撮影は禁止しております。

セミナー講座申込スケジュール

6月	7月	7月	7月
6/24(日)	7/2(火)	7/3(水)	7/5(金)
ホームページで事前登録	事前登録料は7/2(火)まで	当日登録料は各セミナー終了時までに	
申込後の入金期間(銀行振込)	6/24(日)までに入金	申込時に支払	
申込後の入金期間(クレジットカード)	申込時に支払		
お申し込み受付	平日(月～金)10:00～18:00まで	金曜(7/3(水)～7/5(金))10:00～17:00	

この入場券にご登録いただいたお名前と住所情報は、本展示会の運営にのみ使用され、各参加者の氏名、プロフィールなどの詳細は、展示会運営事務局からのコンタクトなどに利用はされません。

展示会ならびにセミナーに関するお問い合わせ

展示会運営事務局
TEL: 03-5363-1701 (月～金 10:00～18:00)
E-mail: seminar@tso-int.co.jp (セミナー専用)
info@caferes.jp info@wfjapan.com info@riceexpo.jp

※追加で招待券をご希望の方は、メールにて、希望枚数を事務局までお送りください。

パシフィコ横浜 交通アクセス

- 1 渋谷から徒歩35分(東急東横線)
- 2 品川から徒歩24分(東横線、みなとみらい線)
- 3 新横浜から徒歩20分(横浜、東急東横線)

路線	所要時間	乗車料	乗車券	乗車券
渋谷	30分	150円	150円	150円
品川	15分	150円	150円	150円
新横浜	3分	150円	150円	150円
横浜	3分	150円	150円	150円
新横浜	3分	150円	150円	150円

お茶と健康

Point! お茶は体と心、両方にやさしい。おいしく飲んで、元気&リラックス

お茶は、おいしいだけでなく、無糖でノンカロリー、しかも食事やスイーツとの相性もすばらしい嗜好飲料です。また、必要な栄養がバランスよく含まれたスポーツ飲料として高く評価されています。さらに近年、健康への効果について、多くの研究成果が発表され、病気予防、健康維持のための健康飲料としても世界的に注目されています。お茶には体に良いたくさんの成分が入っていますが、そのなかでも代表的な成分を紹介します。

カテキン類 ●抗酸化作用、抗炎症作用があります ●でんぷんなどの糖質の分解を助ける、ブドウ糖としての吸収を抑え、結果として肥満予防や血糖値の上昇を防ぎます ●コレラ菌やO-157など食中毒菌に対し、強い殺菌力があります。また、腸内の悪玉菌を殺し、ビフィズス菌などの善玉菌を増やします ●「べにふろく」という品種に多く含まれるメチル化カテキン(カテキン類の一種)は、花粉症のアレルギー症状緩和に効果的 ●悪玉コレステロール(LDL)の上昇を抑えます ●虫歯菌の繁殖を抑えて、歯肉になるのを予防したり、口臭を防ぎます	Point! 濃茶一杯のお茶に含まれるカテキン類の量は70～120mgです。
カフェイン ●疲労回復、覚醒効果、利尿作用があります ●脂肪の燃焼を促進したり、お酒を飲みすぎた時の酔いまし効果など ●強心作用があり、血行を良くします	Point! 濃茶一杯のお茶に含まれるカフェインの量は30～50mgです。
テアニン ●カフェインの作用を穏やかにします ●脳の神経細胞に作用してリラックスさせる「ヒーリング(癒し)効果」があります	Point! テアニンはお茶特有の成分です。上級煎茶、玉露、ホウ茶に多く含まれています。
ビタミンC ●抗酸化作用、免疫力向上、疲労回復、風邪の予防や美肌効果があります ●茶のビタミンCはカテキンが守るため熱にも強く、緑茶5杯でレモン果汁100g分と同じ量(50mg)をとることができます	Point! 成人男女の1日あたりのビタミンC推奨摂取量は100mg。お茶10杯で摂取できる計算になります。
フラボノール ●肌の表面を強くし、虫歯にならない抵抗力をつける成分です	Point! 緑茶中のフラボノールの含有量は、煎茶で90～160ppm、玉露で130～350ppmです。
ミネラル ●新陳代謝が円滑に行われるために必要な栄養素 ●茶には塩分過多に効果的なカリウムが多く含まれ、カルシウム、マグネシウム、鉄なども含まれています	Point! 濃い夏にカリウムが不足すると、「夏バテ」の原因の一つと考えられています。
サポニン ●インシュリン作用、抗疲労作用、精力増進作用、血圧予防作用などさまざまな効果を持っています	Point! サポニンは、抹茶などでみられるように、水と混ぜると泡立つという特徴があります。
その他の成分(水溶性成分) ●β-カロテン、ビタミンE、葉緑素、たんぱく質、食物繊維などが含まれます ●上級煎茶の茶殻を食べたり、抹茶や粉末茶を飲むことにより摂取できます	Point! 茶殻は水には溶けない栄養素の宝庫です。

③秋の和 문화祭2019 （和文化・産業連携振興協議会イベント） 新宿

2020年の東京五輪・パラリンピックを契機に日本文化の魅力発信を強化するため、畳や茶、花、着物の4業界が、訪日外国人（インバウンド）向けに、それぞれの魅力を体験するイベントを開催し、需要を盛り上げていくこととし、農水省の協力を受けて、熊本県い草生産販売振興協会、日本茶業中央会、全国花き振興協議会、大日本蚕糸会など4業界の7団体で構成された和文化・産業連携振興協議会が設立（令和元年6月10日）した。

（和文化・産業連携振興協議会活動方針）

- ①オリンピックに向けて日本文化の魅力発信を行い、大会後も継続する。
- ②4業界が連携して発信力を強化する。
- ③新たな価値を生み出す。
- ④日本人に和文化が必要とされる未来をつくる。

日本茶業体制強化推進協議会は、J-culture2020とのコラボレーション企画として、9月に日本橋で開催を予定している「和文化体験見本市2019」に先立って、令和元年7月26日、三徳庵（新宿区左門町 徳友会館）において開催された和文化・産業連携振興協議会プレイベントに参画し、来場者（訪日外国人等）に対し、水出し煎茶の呈茶を実施するなど、日本茶文化の啓発を行った。

開催期間	2019年7月26日（金）
会 場	三徳庵 徳友会館（新宿区左門町）
協議会構成団体	産業連携振興協議会代表関連団体 7団体
来場者数	全体合計 113名



【日本茶体験の様子】



【日本茶体験の様子】

④秋の和文化祭2019 （和文化・産業連携振興協議会イベント） 日本橋

2020年の東京五輪・パラリンピックを契機に日本文化の魅力発信を強化するため、畳や茶、花、着物の4業界が、訪日外国人（インバウンド）向けに、それぞれの魅力を体験するイベントを開催し、需要を盛り上げていくこととし、農水省の協力を受けて、熊本県い草生産販売振興協会、日本茶業中央会、全国花き振興協議会、大日本蚕糸会など4業界の7団体で構成された和文化・産業連携振興協議会が設立（令和元年6月10日）した。

（和文化・産業連携振興協議会活動方針）

- ①オリンピックに向けて日本文化の魅力発信を行い、大会後も継続する。
- ②4業界が連携して発信力を強化する。
- ③新たな価値を生み出す。
- ④日本人に和文化が必要とされる未来をつくる。

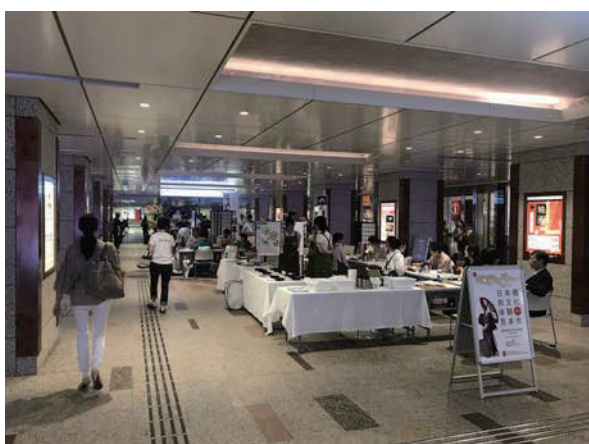
日本茶業体制強化推進協議会は、J-culture2020とのコラボレーション企画として、令和元年9月25日、東京・日本橋（江戸桜通り地下通路）において開催された「和文化体験見本市2019」に参画し、来場者（訪日外国人等）に対し、水出し煎茶の呈茶とともに日本茶の美味しい淹れ方ミニ講座を実施するなど、日本茶文化の啓発を行った。また、ミニ講座の受講者に対し、日本茶の需要と消費志向動向等に関するアンケート調査を実施した。来場者数 400名程度

【所感】

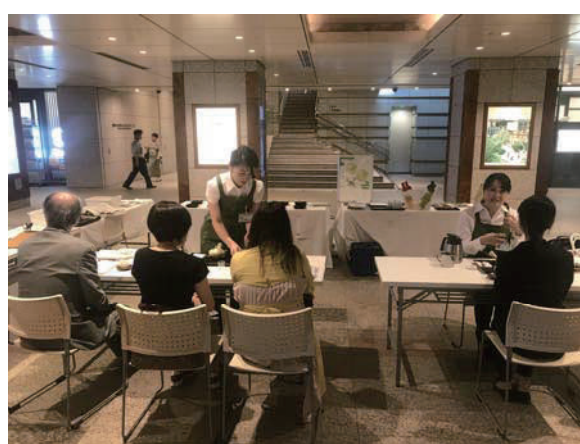
会場となった日本橋江戸桜通り地下通路は、地下鉄三越前駅からやや離れた場所であり、また、平日であったこともあり、人通りは期待されたほど多くはなかった。

日本茶の美味しい淹れ方ミニ講座には、インバウンドを含む来場者が参加し、インストラクターの説明に熱心に聞き入る姿が見受けられた。

開催期間	2019年9月25日（水）
会 場	橋楽亭 日本橋倶楽部（日本橋江戸桜通り地下通路）
協議会構成団体	産業連携振興協議会代表関連団体 7団体
来場者数	アンケート回収 47名



【会場の様子】



【日本茶体験の様子】

- ・ 和文化・産業連携振興協議会は、生産、文化を連携する団体として下記の四業界から代表関連段階で構成されている。
下記は団体名である。

【和文化・産業連携振興協議会の四業界代表関連団体（生産・文化）の問い合わせ先】

（畳業界）

○熊本県い業生産販売振興協会

（住所） 熊本県八代市千丁町新牟田 3 2 2 - 2

（電話） 0 9 6 5 - 3 7 - 8 8 1 0

URL <http://www.kumamoto-tatami.com/>

○畳でおもてなしプロジェクト実行委員会

（住所） 東京都千代田区内幸町 1 - 3 - 3

（カネカケンテック株式会社内）

（電話） 0 3 - 3 5 9 6 - 7 0 1 1

URL <http://www.tatami-omotenashi.com/>

（茶業界）

○日本茶業中央会

（住所） 東京都港区東新橋 2 - 8 - 5

東京茶業会館 5 階

（電話） 0 3 - 3 4 3 4 - 2 0 0 1

URL <http://www.nihon-cha.or.jp/>

○東京茶道会

（住所） 東京都千代田区麹町 1 - 3 - 9

ほ里津茶道本舗 東京茶道会事務局

（電話） 0 3 - 3 2 6 2 - 1 3 8 1

（花業界）

○全国花き振興協議会

（住所） 東京都品川区北品川 4 - 1 1 - 9

日本フラワー会館（一般社団法人 JFTD 内）

（電話） 0 3 - 5 4 9 6 - 0 3 6 9

○公益財団法人 日本いけばな芸術協会

（住所） 東京都千代田区永田町 2 - 1 4 - 2

山王グランドビル

（電話） 0 3 - 6 2 0 5 - 4 3 2 5

URL <http://www.nihonikebana.or.jp/>

（着物業界）

○大日本蚕糸会

（住所） 東京都千代田区有楽町一丁目 9 番 4 号

蚕糸会館 6 階

（電話） 0 3 - 3 2 1 4 - 3 4 1 1

URL <http://www.silk.or.jp/>

(2)九州地区イベント(Food EXPO Kyushu 2019)

Food EXPO Kyushu 2019は、世界的にも優れた高付加価値の九州産農林水産物、加工食品を国内外に発信し、地場食品関連企業のさらなる売上向上、販路拡大及び地域経済の振興を目的に開催された。

九州は、多くの茶産地を抱え「お茶で九州をまとめる」といった文化を古くから大切にしている地域であり、九州各地の特徴のあるお茶及び九州域内各地で継承されてきた文化を広く消費者、食品関連事業者に啓発するため、日本茶業体制強化推進協議会では、九州会場（福岡国際センター）において、一般社団法人お茶結びプロジェクトの協力のもと Food EXPO Kyushu 2019に出展することで、消費者等に体験型フェスティバルを企画するとともに、和食等の中のお茶に関する幅広い情報も同時に提供した。

○九州の茶館（展示&日本茶体験ブース）における実施内容

- ・九州茶PRブースの出展。
- ・国内外のバイヤーに向けた日本茶文化ふれあい体験コーナーとして、煎茶道の立礼茶席（セミナー茶席）により、日本茶の美味しい淹れ方講座と九州茶セミナーを実施。
- ・国内外の食品関連事業者向けに加工用茶原料・茶粉末のマッチングの機会を提供。
- ・飲食事業者等向けに九州各茶産地のお茶を題材としたティーペアリングメニューの提案。

来場者数 イベント全体 4,384名 ブース来場者数 400名程度（2日間）

【所感】

煎茶道の立礼茶席（セミナー茶席）では、多くの来場者があり、予定していたセミナーの回数をほぼ倍増して実施するなど盛況であった。

セミナー茶席では、九州茶の産地紹介セミナーを実施しつつ、和菓子の提供と三種類の九州茶の呈茶が行われ、呈茶の合間には来場者に対し、日本茶の需要と消費志向動向等に係るアンケート調査を実施した。

開催期間	2019年10月9日（水）～10月10日（木）
会 場	福岡国際センター
出展団体	日本茶業体制強化推進協議会 【会員：（一社）お茶結びプロジェクト】
来場者数	アンケート回収 155名



2日間の来場者数をお知らせいたします。

10/9(水) 2,244名(昨年：2,377名)

10/10(木) 2,140名(昨年：1,974名)

合計：4,384名(昨年：4,351名) 2日間で33名の増加

Food EXPO Kyushu 実行委員会

福岡商工会議所 産業振興部 産業振興グループ 10月11日の報告メールより

【茶産地案内資料】

<九州の茶産地紹介>

【福岡県】 八女市・広川町・筑後市

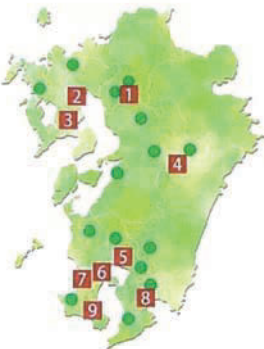
【佐賀県】 唐津市・嬉野市

【長崎県】 佐世保市・東彼杵町

【熊本県】 山鹿市・山都町・八代市

【宮崎県】 五ヶ瀬町・高千穂町・都城市

【鹿児島県】 鹿児島市・霧島市・錦江町・志布志市・さつま町・曾於市・日置市・湧水町
南さつま市・南九州市



◇八女市 八女茶 ①

八女茶は、「あまくてコクがあり旨みが強い」として最高級の品質を誇っています。また、有数の玉露の産地です。なかでも棚をつくり自然素材を用いて手で摘んだ「伝統本玉露」は、八女だけの究極の味わいです。

◇嬉野市 うれしの茶 ②

うれしの茶の歴史は古く、570 年程前、唐人から伝えられました。玉緑茶と呼ばれる形状で、蒸製は香りさわやかで、味にはコクがあり、釜炒りは香ばしく味はのどごしさわやかです。全国茶品評会玉緑茶部門で3年連続最高賞を受賞しました。

◇東彼杵町 そのぎ茶 ③

東彼杵町は、長崎県内生産量の6割を占める県内の緑茶の産地です。「そのぎ茶」は伝統ある手炒り釜炒り茶の流れをくみ、丸っこい独特の形からは深みのある「ふくよかな味と香り」が醸し出され、銘茶として高い評価を受けています。

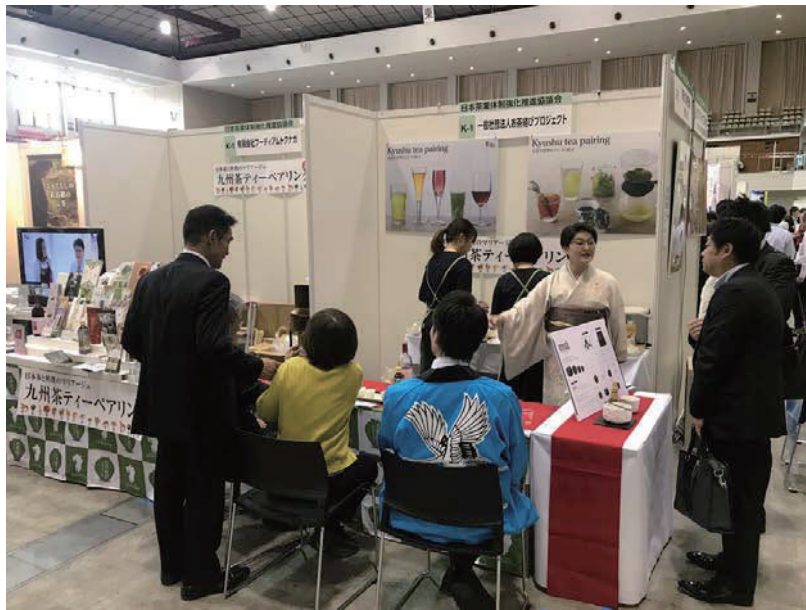
◇南九州市 知覧茶・えい茶 ⑨

広大な緑の大地で、燦々と振り注ぐ太陽の恵みいっぱい育てた「かごしま茶」。「知覧茶」の産地として有名な南九州市は、全国市町村単位で1位の生産量を誇るお茶どころです。

【ティーペアリングの紹介】



【イベント当日の様子】



(3) 関西地区イベント(ツーリズム EXPO ジャパン 2019)

関西地区においては、ツーリズム EXPO ジャパン 2019に出展することで、日本茶の魅力発信と茶文化の普及推進を行った。

ツーリズム EXPO ジャパン 関西地区において継続的に実施されてきた世界最大の旅の祭典であるが、本年度初めて関西地区で実施された。

日本茶業体制強化推進協議会では、代表的な茶産地の3ブースに出展した。出展団体は①静岡市 農業政策課 ②(公社)京都府茶業会議所、お茶の京都DMO ③霧島茶・知覧茶を巡る 薩南観光とした。

イベントの開催主旨に視点を置いて、出展団体は、お茶をツーリズムに活用してもらうための視点として、茶園の景観見学、茶摘み体験、茶の製造体験、手もみ茶体験 等茶産地への誘引のためのコンテンツの紹介を行った。

茶関連のイベントではなかった点から、来場者の関心は非常に高かった。

開催期間	2019年10月24日(木)～10月27日(日)		
会場	インテックス大阪(大阪市住之江区)		
出展団体	日本茶業体制強化推進協議会 【会員：京都府茶業会議所、お茶のDMO】		
来場者数 (全体)	日付	天気	人数
	10月24日(木) 業界日	曇りのち雨	19,933人
	10月25日(金) 業界日	雨	28,375人
	10月26日(土) 一般日	曇りのち晴	51,173人
	10月27日(日) 一般日	曇りのち晴	51,618人
合 計			151,099人



私の旅は、次のステージへ。

大阪・関西に
初上陸!

世界体験。

旅が変わる。あなたが変わる。

世界最大級 旅の祭典

ツーリズム EXPO

ジャパン 2019 [大阪 関西]

2019 10/ 24(木) 25(金) 26(土) 27(日)

インテックス大阪

※10月24日(木)、25日(金)は業界関係者の商談会のため一般の方は入場できません。

主催：公益社団法人 日本観光振興協会
一般社団法人 日本旅行業協会
日本政府観光局(JNTO)

特別協力：一般社団法人 全国旅行業協会 (ANTA)
特別賛助：公益財団法人 大阪観光局

開催支援：TEJ2019大阪・関西 開催地連絡協議会

【出展をご検討の企業・団体の皆様へ】
2020年出展申込受付中!

2020年出展のご案内はこちら >

①各ブースの実績及び所感

【京都府茶業会議所・京都山城地域振興社】

日 程	来店数(概算)	アンケート回答数
2019年10月24日(木)	650	60
2019年10月25日(金)	800	60
2019年10月26日(土)	4,100	75
2019年10月27日(日)	3,450	50

<所感>

今回は、初めて大阪開催のツーリズムイベントへの出展であったが、前半2日間は、観光、旅行会社等の方々から、茶産地ならではの体験等についての質問を多く受けた。京都地区は歴史的建造物、神社仏閣が多くあるものの、茶をテーマとしたツーリズム企画が可能である点については、積極的なPRができた。

また、後半2日間は一般消費者へのPRであったが、一般なお茶関連のイベント来場者とは違い、観光、旅行、ツーリズム等に関心の高い層の来場であったため、茶については非常な驚きをもって説明に耳を傾ける来店者が多くみられた。

水出しの玉露の呈茶を行ったが、ここ数年では経験が無い程の試飲数となし、試飲した来店者からは味について、絶賛され多くの来場者に感動を与えることができた。

また、ブースのテーブルには石臼を設置し、自由に体験できるコーナーを設置したが、初めて石臼の触れる来場者が多く、多くの質問を受けた。親子で来場しているファミリーは、子供が非常に楽しそうに石臼体験をしていた。

【静岡市 農業政策課】

日 程	来店数(概算)	アンケート回答数
2019年10月24日(木)	250	130
2019年10月25日(金)	350	170
2019年10月26日(土)	1,200	485
2019年10月27日(日)	1,300	200

<所感>

静岡では、各茶産地別のPR、県としての県内全産地を対象としたPR等を積極的に実施している。したがって、消費者は「静岡茶」や「川根茶」といった県や産地を冠につけたお茶は認知度が非常に高いといえる。

しかし、静岡では市内においても茶産地があり、近年若手の茶農家も非常に努力しているものの、あまり認知されていないのが実態である。

そこで、今回は静岡市の農産課として、若手の農家のメンバーを選定し「イケメンと茶畑」をとテーマとしたブランディングへの取組を実施した。

予想以上にブースの評価が高く、本企画は大成功であったと認識している。また、アンケートの回収についても予定数量を大幅に回収できたことは成果として大きかった。

今後は、「茶」テーマとしたイベントではなく、別のテーマでのイベント会場への出展を積極的実施していくことが重要であると考えている。

【GSE南薩観光株式会社】

日 程	来店数(概算)
2019年10月24日(木)	70
2019年10月25日(金)	70
2019年10月26日(土)	1,500
2019年10月27日(日)	1,400

※アンケートは未実施

<所感>

今回は、初めて大阪開催のツーリズムイベントへの出展であったが、GSE南薩観光株式会社の協力を得て、「霧島茶」と「知覧茶」のコラボレーション企画を実施した。過去、多くの茶関連イベントへの出展は、茶産地別（南九州、霧島）それぞれ別ブースとしての出展が多かったが。「ツーリズム」をテーマとして南九州地区全体をPRするために産地間で協力してブース出展を行った。

来場者も南九州地区の観光資源について関心を持ってもらえると同時に、同じ南九州でも、産地によってお茶の味には違いがあることに興味をもってもらうことができた。

その意味においては、大きな成果があったと認識している。

また、呈茶においては「霧島茶」と「知覧茶」のブレンド茶を提供したが、味に変化がでることに驚きを与えることができた。

今回のイベントは「ツーリズム」として、九州全域の行政機関の出展もあったため相乗効果が大きかったと思われる。

今後の出展では、「ゆるキャラの導入」や小学生等の若年層も立ち寄ってもらえるような工夫をしていきたい。

②出展会場



③アンケート実施要領

2019.10.15
日本茶業体制強化推進協議会

ツーリズムEXPOジャパン アンケート回収実施要領

アンケート回収業務ご担当者 様

この要領は、2019年10月24日～27日（4日間）農林水産省の補助事業として実施する調査の実施要領です。

以下の内容を確認いただき、当日の準備をお願いいたします。

1.実施日時及び回収目標

2019年10月24日 10:00～18:00<休憩1時間>	}	目標回収数:2日間で100通(BtoB)
2019年10月25日 10:00～18:00<休憩1時間>		
2019年10月26日 10:00～18:00<休憩1時間>	}	目標回収数:2日間で100通(BtoC)
2019年10月27日 10:00～18:00<休憩1時間>		

※10月24日 10:00～12:00は、ブース準備をお願いいたします。

※10月27日 17:00～18:00は、撤収作業をお願いいたします。

2.服装

- ・ 服装の指定はございません。イベント内来場者にアンケートをお願いするため、派手な服装はお控えください。特にスーツ等の着用でなくて結構です。

3.謝礼及び昼食等

- ・ 10,000円（総額、交通費込、手取り）
- ・ 毎日、業務終了後の現金にて支払いいたします。領収書にご印鑑をいただきます。
- ・ 昼食は、各自会場内及びお近くでお取りください。協議会での準備はございません。
- ・ お弁当ご持参の場合は、出展者休憩室にてお取りください。

4.アンケート回収上の注意

- ・ 全ての項目の記入を必ず確認してください。未記入の箇所がありますとアンケート自体が無効となります。
- ・ 回答後に全ての質問に回答記入がされていることを確認して、ペットボトル1本をプレゼントしてください。

5.緊急連絡先

日本茶業体制強化推進協議会 委員 金子孝弘 090-4127-9297

※ご不明な点がありましたら、お問い合わせください。

インテックス大阪

〒554-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目5-102



南中でお越しの方

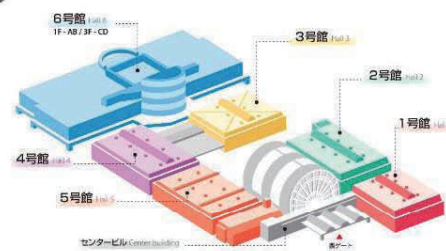
インテックス大阪へは、コスモスクエア、トレードセンター前、中ふ頭の各駅からお越しいただけます。



出展場所
6号館Aゾーン

【待ち合わせ場所】
・毎朝8:50
・西ゲート入口前
・入館証をお渡しします。

ハイアットリージェンシー大阪



(4)東海地区イベント(全国お茶まつり愛知県大会)

日本茶業の将来を展望し、茶の生産改善と消費の拡大を図り、もって我が国の茶業の発展に資するため、令和元年11月16日～17日の二日間、愛知県西尾市文化会館及び西尾公園総合グラウンドにおいて、第73回全国お茶まつり愛知県大会が開催された。

日本茶業体制強化推進協議会では、PRイベント（大会付帯事業）として実施されるイベント会場（西尾公園総合グラウンド）に初出展し、一般消費者に対し、セミナー形式（着座）による温かいお茶と水出し煎茶の呈茶を実施するとともに日本茶の美味しい淹れ方講座を実施するなど、日本茶文化の啓発を行った。

また、日本茶の需要と消費志向動向等に関するアンケート調査を実施した。

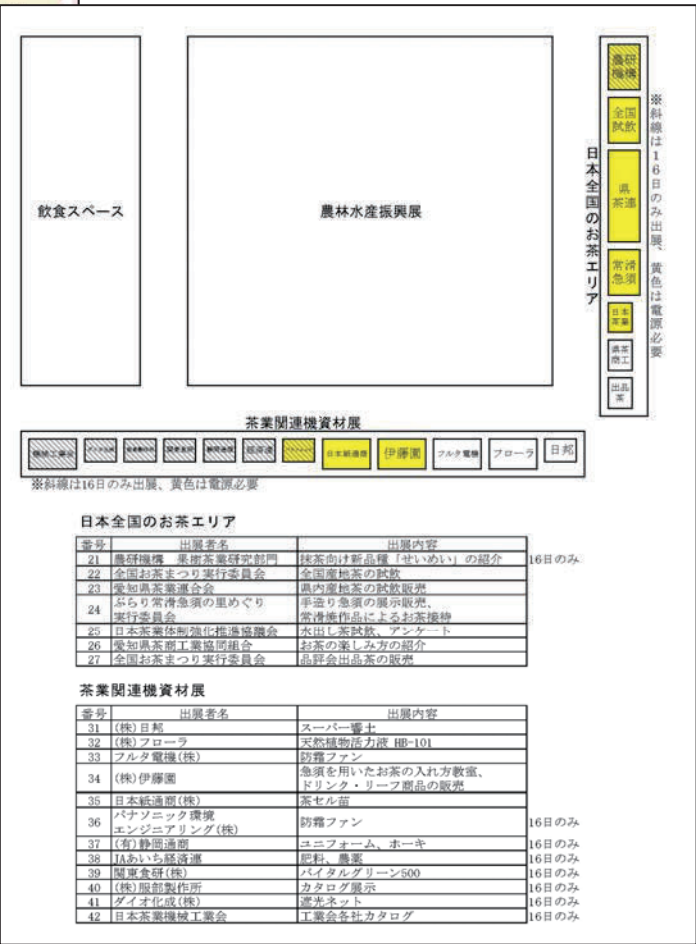
来場者数：イベント全体 40,000名程度、ブース来場者 450名程度
アンケート回収 150枚

【所感】

二日間とも晴天に恵まれ、イベント会場には、延べ4万人が来場するなど賑わった。日本茶業体制強化推進協議会ブースにおいても、両日ともに午前10時の開場から夕方まで、絶え間なく多数の来場者があり、呈茶の対応が追い付かないほどであった。西尾茶の産地という土地柄もあり、日本茶への関心の高さが窺えた。



【ブース出店場所】



■ブース運営マニュアル

1.日時・ブース(テント)の場所

- (1) イベント開催日時: 令和元年11月16日(土)～17日(日)10時～16時
- (2) イベント開催場所: 西尾公園総合グラウンド(会場配置図: 別添資料のとおり)
(〒445-0877 愛知県西尾市山下町泡原70)

2.開催スケジュールと作業分担

(1)出展者荷物の搬入

- ①11月15日(金)13:00～17:00 車両搬入可
- ②11月16日(土)7:00～8:00 車両搬入可 8:00～9:30 手運び搬入可

(2)展示開催期間<11月16日(土)～17日(日)>

- ①協議会スタッフ及びインストラクターの集合時間
(9時00分に協議会ブース(テント)に集合し、開催準備作業を開始)
- ②展示等活動時間:10時～16時
※昼食は、12時～14時の間に交代で摂取
- ③荷物の片づけ、撤去・搬出
・11月16日(土)16時から片付け、終了後17時解散
・11月17日(日)16時から片付け(撤去・搬出)終了後17時解散

3.出展ブース対応スタッフ等

- (1)インストラクター(2名×2日)
- (2)日本茶業体制強化推進協議会スタッフ

4.ブース出展の目的とインストラクターの活動内容

(1)目 的

- ①日本茶の需要拡大に向け、日本茶の理解の増進と文化の普及
- ②具体的には、水出し煎茶等の試飲の提供、パンフレットの説明等を通じて、日本茶の美味しい淹れ方等について、理解の増進を図る。

(2)インストラクターの活動内容

- ① 日本茶の嗜好等に関するアンケート調査の実施(回収目標100枚～150枚程度)
※アンケートの協力者には、1煎パックを提供する
- ②来場者へのお茶の試飲活動(呈茶)とパンフレットを利用した説明

5.当日の持ち物

- (1)出展者バッジ(不要)
- (2)協会オリジナルエプロン(レンタル)
※原則として、白い襟のあるカッターシャツ・黒系のボトムスを着用
- (3)筆記用具(黒ボールペン)
- (4)ふきん2枚(名前等を記入)

6.緊急連絡先

(公社)日本茶業中央会 電話 03-3434-2001

7.ブース活動の留意点(注意事項)

- (1)スタッフ同士は積極的に声掛けし、協力し合い、水出し茶の準備や試飲活動等を行う。
- (2)ブース内は、整理整頓に心掛ける(茶殻などのゴミは、会場ルールに従い処理する)
- (3)ブースで出たゴミは、用意したゴミ袋を使用し、会場ルールに従って処分する。
- (4)当日の持ち物は、必要最小限にして、盗難には十分注意してください。
- (5)手荷物は、テーブルの下等に整理し、貴重品は身に付けてください。
- (6)活動に当たっては、一個人ではなく、常に日本茶業体制強化推進協議会会長「大森 正司」の看板を背負っていることを意識して行動してください。
- (7)受け取った名刺は来場者の名刺として保管し、協議会スタッフに渡してください
- (8)来場者数、配布資料数、アンケート数の把握(協議会スタッフが対応)
- (9)呈茶数については、プラコップの残量等により把握する

8.備品リスト(呈茶関連機材はインストラクター協会東海ブロックで準備)

【案内チラシ】



【会場の様子】



【会場の様子】



2.需要・消費動向等調査の実施

(1)関東地区イベント会場での実態調査

①第7回 CAFERES JAPAN(業者及び一般消費者)

日本茶文化・茶の需要拡大に資するイベントへの参画として、3会場で需要拡大にむけた取組を実施した。それぞれの地区において本事業として単独でイベントを実施することは、効果が小さいとの判断から、各地区で実施が予定されている各種イベントの中から、本事業主旨に合致しているイベントへの出展による取組みとした。

1.調査概要

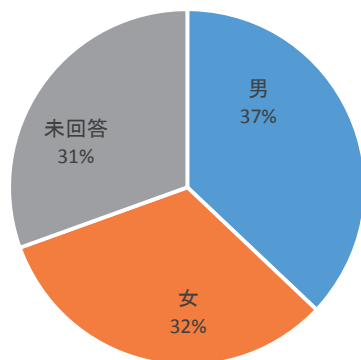
項目	内 容
調査日程	2019年7月3日(木)～7月5日(金)
調査会場	第7回 CAFERES JAPAN (パシフィコ横浜・出展ブース)
調査対象者	イベント会場へ来場した業者及び消費者
調査方法	無記名によるアンケート調査票への記入を行う
回収数	259件

1. 回答者属性

(1) 性別

項目	回答数
男性	96
女性	84
無回答	79

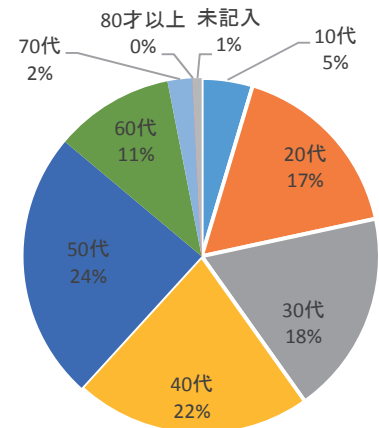
N = 259



(2) 年齢

項目	回答数
10代	12
20代	44
30代	48
40代	56
50代	63
60代	28
70代	6
80才以上	0
未記入	2

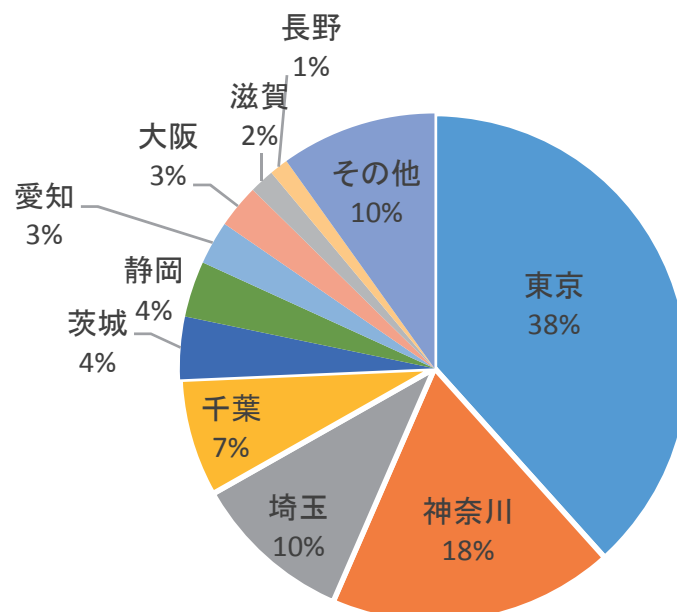
N = 259



(3) 住所

府県(国)	回答数
東京	97
神奈川	46
埼玉	26
千葉	19
茨城	10
静岡	9
愛知	7
大阪	7
滋賀	4
長野	3
その他	25

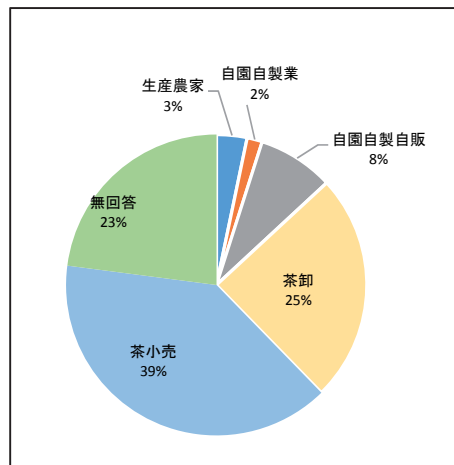
N = 253



(4) 職 業

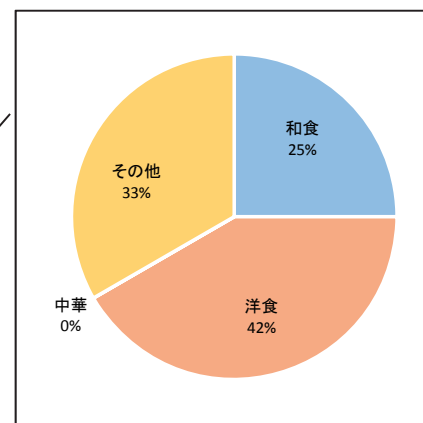
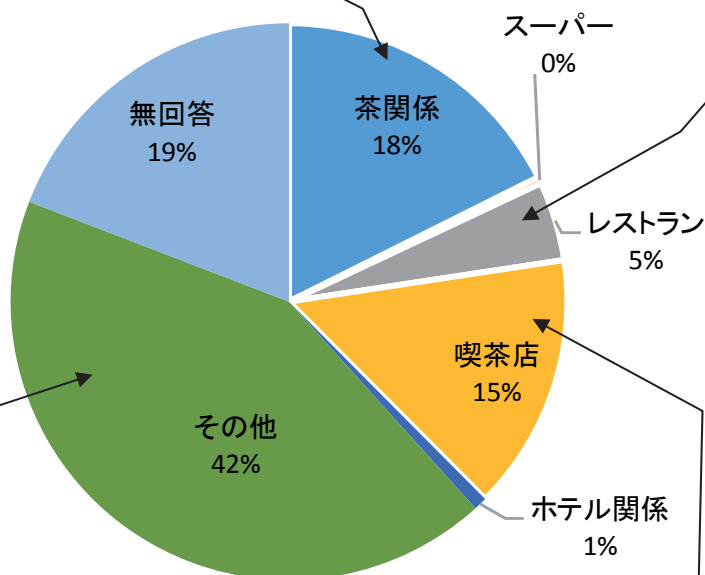
項目	回答数
茶関係	46
スーパー	1
レストラン	12
喫茶店	39
ホテル関係	2
その他	111
無回答	50

N = 261



項目	回答数
生産農家	2
自園自製業	1
自園自製自販	5
茶卸	15
茶小売	24
無回答	14

N = 46

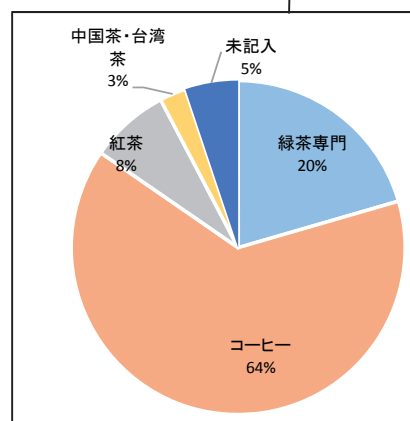


項目	回答数
和食	3
洋食	5
中華	0
その他	4

N = 12

<その他>

- ・ お米屋
- ・ 卸、問屋
- ・ 開業準備中
- ・ カフェ
- ・ 紙加工
- ・ 企画
- ・ 機器メーカー
- ・ 既製服製造
- ・ 健康食品原料
- ・ 広告代理店
- ・ 公務員
- ・ 香料
- ・ パッケージメーカー
- ・ コーヒー
- ・ 小麦店
- ・ コンサルタント
- ・ 自営
- ・ 商社
- ・ 情報サービス
- ・ 食品卸
- ・ 食品開発
- ・ 食品包材
- ・ 食品メーカー
- ・ スイーツ、パン
- ・ 葬式
- ・ 宅配
- ・ 種菌研究所
- ・ 茶道具卸
- ・ ティーバックフィルター製造
- ・ デザイナー
- ・ 美容院
- ・ 物流
- ・ 米菓小売
- ・ 包材
- ・ マーケティング
- ・ 洋菓子



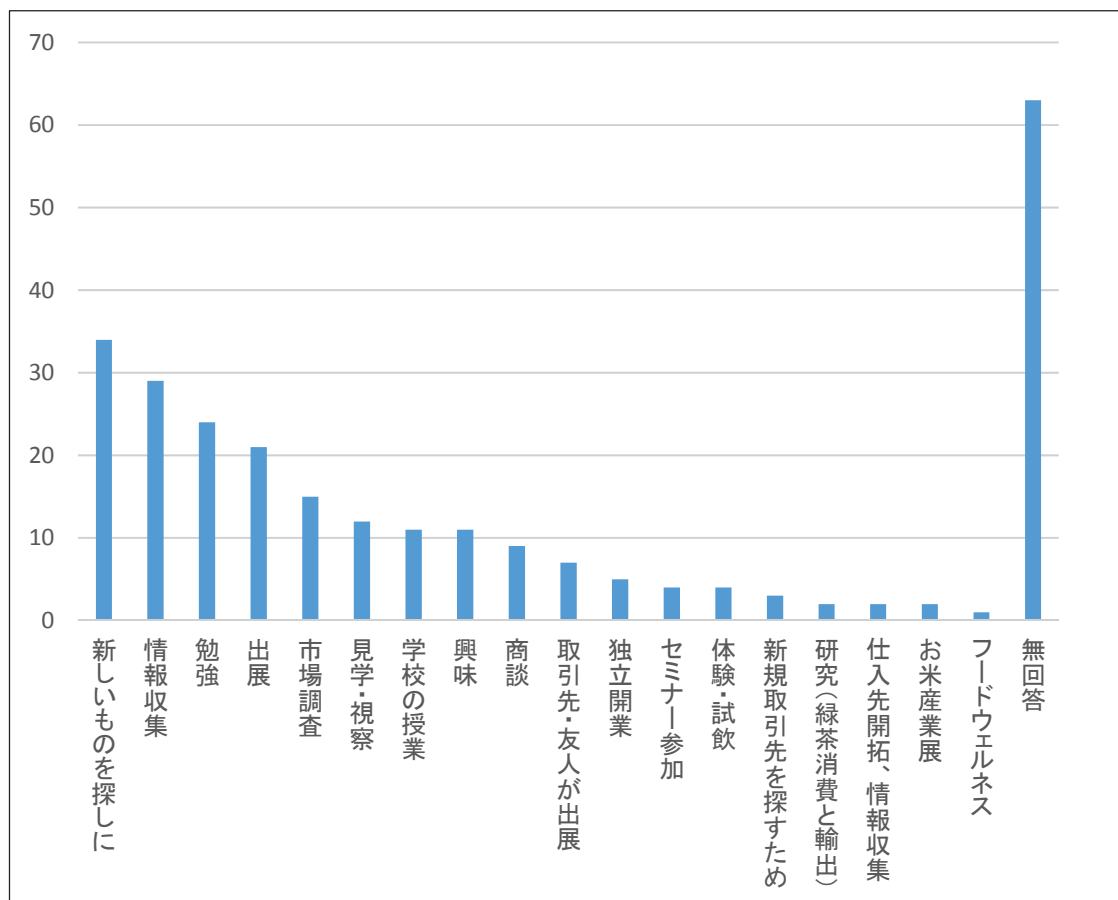
項目	回答数
緑茶専門	8
コーヒー	25
紅茶	3
中国茶・台湾茶	1
未記入	2
	39

N = 46

(5) 来場目的

来場目的	回答数
新しいものを探しに	34
情報収集	29
勉強	24
出展	21
市場調査	15
見学・視察	12
学校の授業	11
興味	11
商談	9
取引先・友人が出展	7
独立開業	5
セミナー参加	4
体験・試飲	4
新規取引先を探すため	3
研究(緑茶消費と輸出)	2
仕入先開拓、情報収集	2
お米産業展	2
フードウェルネス	1
無回答	63

N=259

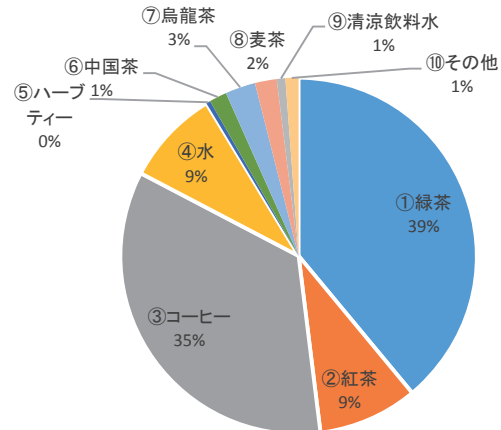


2.次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

一番良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	99
②紅茶	23
③コーヒー	88
④水	22
⑤ハーブティー	1
⑥中国茶	4
⑦烏龍茶	7
⑧麦茶	5
⑨清涼飲料水	2
⑩その他	3

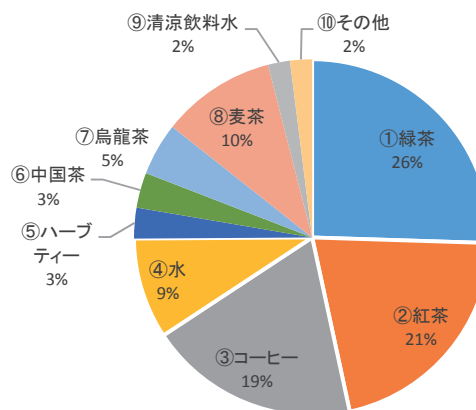
N = 254



二番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	64
②紅茶	53
③コーヒー	48
④水	23
⑤ハーブティー	7
⑥中国茶	8
⑦烏龍茶	12
⑧麦茶	26
⑨清涼飲料水	5
⑩その他	5

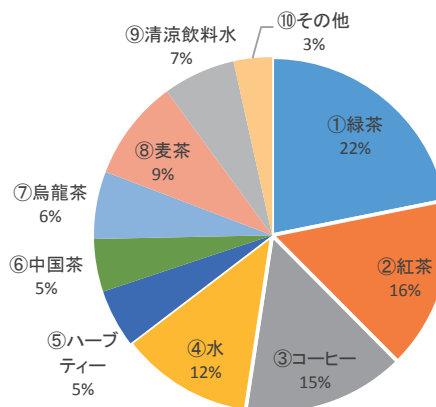
N = 251



三番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	50
②紅茶	36
③コーヒー	34
④水	28
⑤ハーブティー	12
⑥中国茶	11
⑦烏龍茶	14
⑧麦茶	21
⑨清涼飲料水	15
⑩その他	8

N = 229

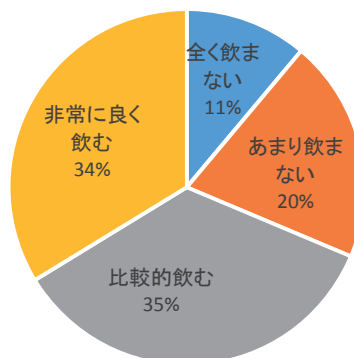


3.緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

(1) 急須で淹れて飲む

項目	回答数
全く飲まない	28
あまり飲まない	51
比較的飲む	88
非常に良く飲む	85

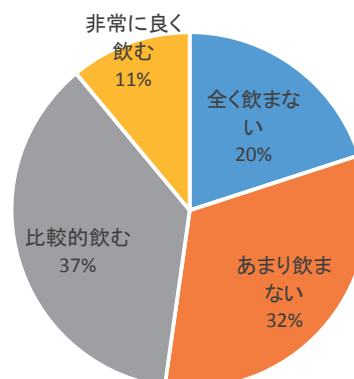
N = 252



(2) ティーバッグで飲む

項目	回答数
全く飲まない	49
あまり飲まない	79
比較的飲む	90
非常に良く飲む	27

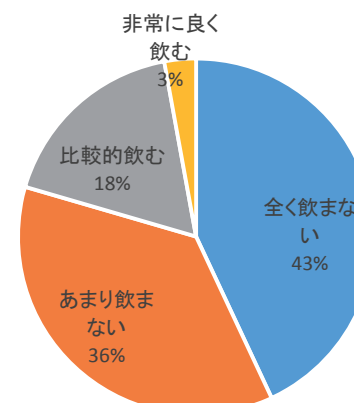
N = 245



(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む

項目	回答数
全く飲まない	105
あまり飲まない	89
比較的飲む	43
非常に良く飲む	7

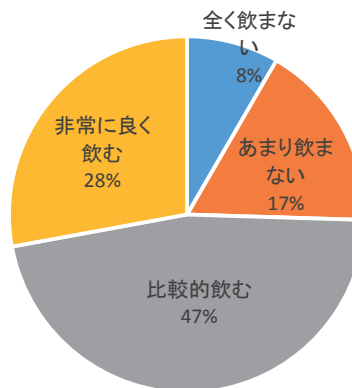
N = 244



(4) ペットボトルで飲む

項目	回答数
全く飲まない	21
あまり飲まない	43
比較的飲む	117
非常に良く飲む	70

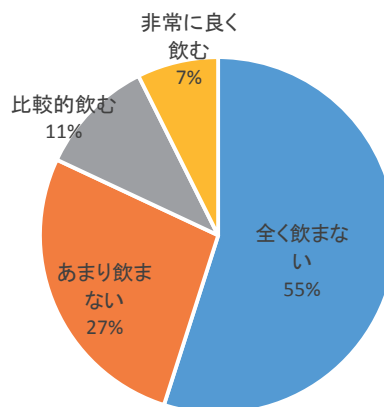
N = 251



(5) ドリップ式で飲む

項目	回答数
全く飲まない	134
あまり飲まない	66
比較的飲む	26
非常に良く飲む	18

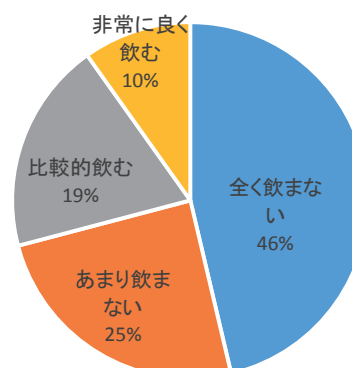
N = 244



(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む

項目	回答数
全く飲まない	113
あまり飲まない	60
比較的飲む	47
非常に良く飲む	24

N = 244

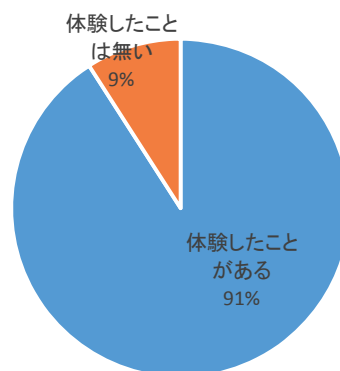


4.日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。

水出しのお茶

項目	回答数
体験したことがある	220
体験したことは無い	22

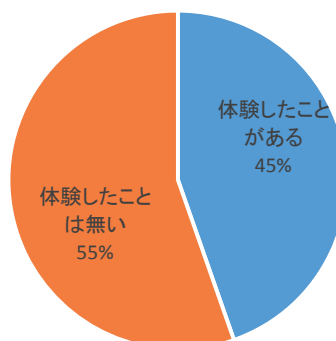
N = 242



氷だしのお茶

項目	回答数
体験したことがある	104
体験したことは無い	129

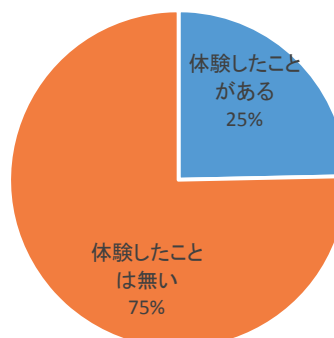
N = 233



しずく茶（すすり茶、つゆ茶）

項目	回答数
体験したことがある	56
体験したことは無い	171

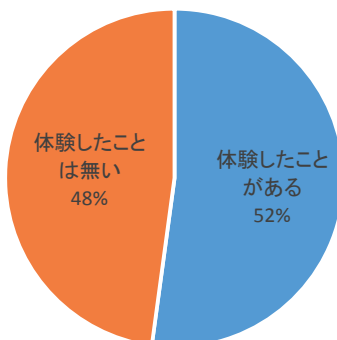
N = 227



お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り

項目	回答数
体験したことがある	121
体験したことは無い	111

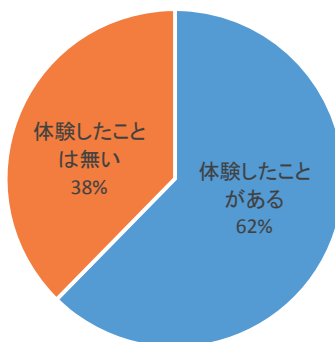
N = 232



お茶のアルコール、炭酸水割り

項目	回答数
体験したことがある	144
体験したことは無い	87

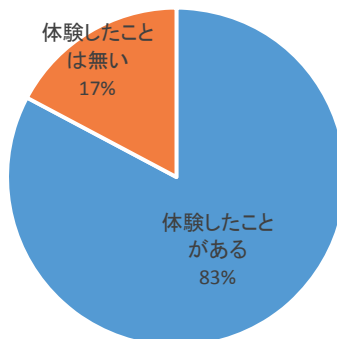
N = 231



菓子類、スイーツへのお茶等の利用

項目	回答数
体験したことがある	197
体験したことは無い	41

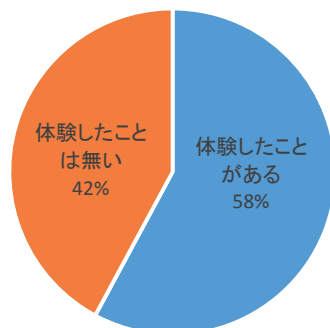
N = 238



料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用

項目	回答数
体験したことがある	136
体験したことは無い	99

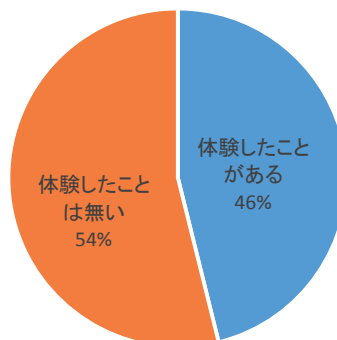
N = 235



お茶の飲食以外(消臭剤等)への利用

項目	回答数
体験したことがある	107
体験したことは無い	125

N = 232

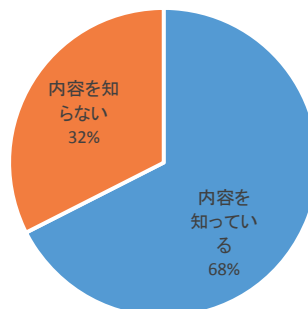


5.日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
内容を知っている、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

茶道

項目	回答数
内容を知っている	160
内容を知らない	77

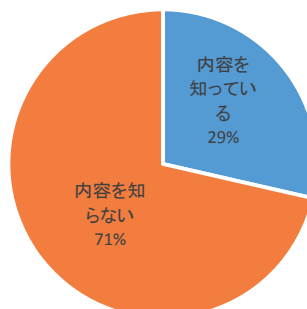
N = 237



煎茶道

項目	回答数
内容を知っている	66
内容を知らない	165

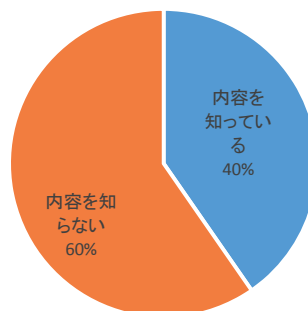
N = 231



茶摘み体験・茶産地観光

項目	回答数
内容を知っている	94
内容を知らない	139

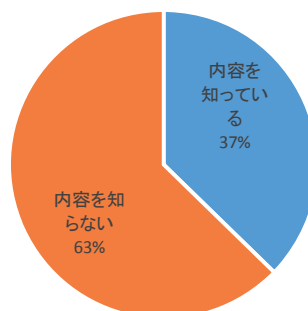
N = 233



手もみ茶体験・工場見学

項目	回答数
内容を知っている	88
内容知らない	148

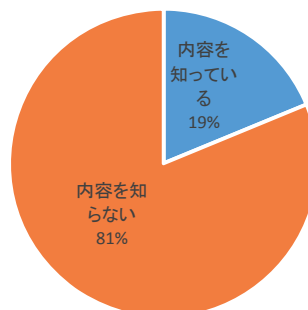
N = 236



栄西と喫茶養生記の関係

項目	回答数
内容を知っている	43
内容知らない	186

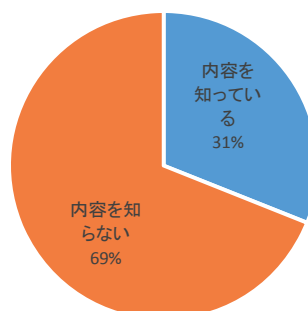
N = 229



千利休とわび茶の関係

項目	回答数
内容を知っている	72
内容知らない	160

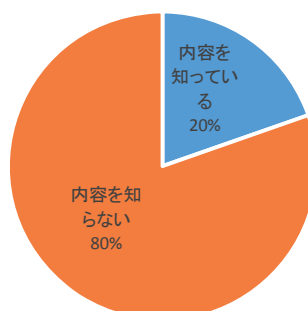
N = 232



永谷宗円と煎茶の関係

項目	回答数
内容を知っている	45
内容知らない	184

N = 229



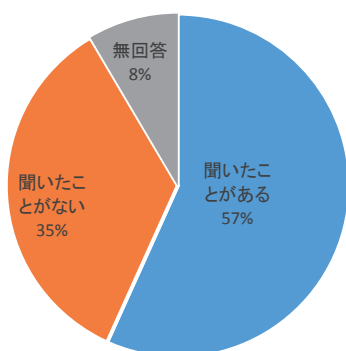
6.日本茶(緑茶)の機能性の認知度についてお聞きします。
聞いた事の有無、体験の有無について該当する項目に○を記入
してください。

抗アレルギー作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	147
聞いたことがない	90
無回答	22

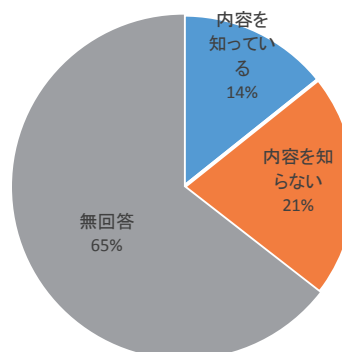
N = 259



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	37
内容を知らない	55
無回答	167

N = 259

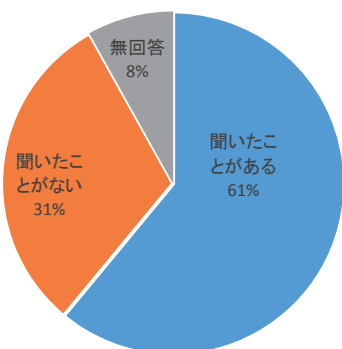


コレステロール低減作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	158
聞いたことがない	80
無回答	21

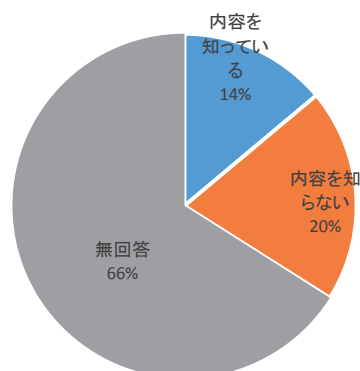
N = 238



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	36
内容を知らない	52
無回答	171

N = 259

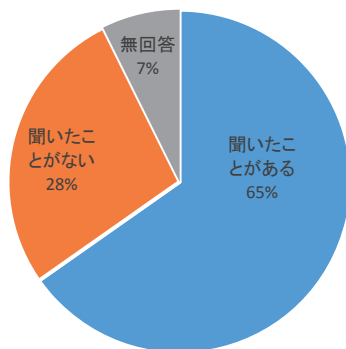


血糖上昇抑制作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	169
聞いたことがない	71
無回答	19

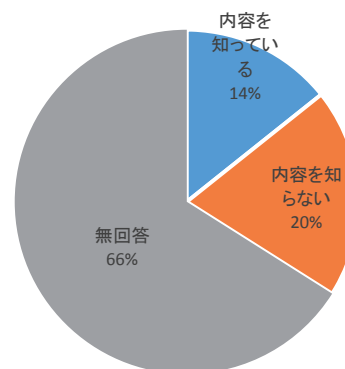
N = 259



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	37
内容を知らない	51
無回答	171

N = 259



7.今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的だと思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

- ・ 海外に視野を広げる。
- ・ 海外に向けてさらに日本茶と他の茶の違いをアピールして欲しい。
- ・ 海外への紹介。
- ・ SNSへの情報発信。
- ・ 子どもたちへの茶育強化。
- ・ 暑い夏に冷茶。
- ・ ペットボトル系の味わいが一般化し、回転寿司の粉緑茶も一般化し、魅力的な緑茶が身近でなくなっている。趣味にしてみよう方法を考える時かと。
- ・ お茶×フルーツ。
- ・ ニーズに合った小ポーション商品、加工品等、碗パック式。
- ・ 展示会を増やす。
- ・ 手軽さと飲みやすさ。
- ・ 若者へのお茶のリデザインが必要だと思っています。
- ・ 日常生活にとり入れ易くするための工夫。
- ・ Webの日本茶プラットフォームを確立すること。
- ・ 体験、試飲。
- ・ お茶の本来のうまみをもってPRできたら。
- ・ 茶器を使わず簡単にお茶を飲む。
- ・ シングルオリジンが流行しているので、生産者さんごとにも買えると嬉しい。
- ・ お茶だけでなくお米とのコラボ。
- ・ 茶葉体験は必要。大手とのコラボ。
- ・ 学校の体験授業をする。
- ・ 茶道を広めること。
- ・ 給食等で活用。
- ・ ティーハウスをもっと作って欲しい。
- ・ ヘルシーな内容での売り方より、味を重視したPRが良いのでは。
- ・ 子どもたちへのアプローチ。
- ・ 長寿に良い。
- ・ 呈茶イベントやセミナーなどでPRする。
- ・ 日本食や日本の家庭料理とのティーペアリングが体験してみたいです。
- ・ カクテル、ノンアルコールカクテル等。
- ・ 飲食店での使用、多くの方に知ってもらう。
- ・ たくさん飲んでもらうチャンスをつくる。
- ・ オリンピックに向けて何か呈茶みたいな事をできたらと思います。
- ・ 飲食以外での活用。
- ・ 日本茶の良さ、産地紹介。
- ・ 飲んでもらう。
- ・ 現状に満足。
- ・ 新しい飲み方、組み合わせ。
- ・ 美味しいお茶を淹れて海外で試飲。
- ・ 機能性の認知度向上、料理との組み合わせ方など。
- ・ 食事とお茶の組み合わせ。
- ・ 味の数値化。
- ・ 好みに合わせた茶や、使用例の提案、クロスMDも。
- ・ 今回のような大勢人が集まるような所での急須を使う体験とか大いに良いと思います。

- 他国の飲み物をペアリング。
- 給茶機の開発。
- 世界の茶の一つとして拡大していく。
- 日本茶の旨味を知らない方が多いとき感じるのでペットボトルとは違った本当に美味しい茶を飲む機会を増やす。
- 産地、農園ブランドの確立。
- 新しい淹れ方や品種などお茶に対する見方を変える。
- 農業リスト、宣伝充実、トレーサビリティ。
- 日本文化として広める。
- テレビでがんがん日本茶を伝えること。
- 急須のお茶とペットボトルのお茶の違いを飲み比べてもらう。
- 消費だけでなく生産からも紹介して頂けると興味を持って日本茶に触れられると思う。
- 水出しを広める。
- 若い人に飲んでもらいたいののでアレンジしてみたい。
- もっとメディアで取り上げてもらうと良いかなと思います。
- ペアリング。
- 他商品とのコラボ。
- 「自宅でも簡単！」と水出し煎茶のコマーシャルを是非！
- 学校給食。
- 茶殻処理の簡素化。
- スペシャルティコーヒーのような農園ごとの特徴を売る。
- 「国際オーガニックが」と聞くのでその拡大。
- 粉末で美味しいお茶が欲しい。
- 簡単な茶葉の使用方法。
- 料理やお菓子に利用すると興味を引きやすいと思う。
- 品種によって味が全く異なるので、もっと品種—味わい—機能のつながりを宣伝し、おしゃれなものとして普及してもらいたい。もっと緑茶の美味しさにふれる機会を増やしてほしい。

アンケート調査票

お茶に関するアンケート調査

Q 1

あなた自身のことをお聞かせください。

性別	男女	年齢	○で囲む					お住まい	都道府県	市区町村
			10代	20代	30代	40代	50代			
			60代	70代	80才以上					
海外の方は 国名										
職業	会社経営		会社員	主婦	職種	・茶関係 (生産農家、自園自製業、自園自製自販、茶卸、茶小売)				
	学 生 ()					・スーパー ・レストラン(和 洋 中 他)				
	その他 ()					・喫茶店(緑茶専門店)、喫茶店(主な飲料)				
						・ホテル関係、 ・その他 ()				
飲料に関する資格をお持ちの方は 具体的な資格名を全てお聞かせください。										

Q 2

このイベントに来場した目的をお聞かせください。

Q 3

次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

【選択肢】

①緑茶 ②紅茶 ③コーヒー ④水 ⑤ハーブティー ⑥中国茶 ⑦烏龍茶 ⑧麦茶 ⑨清涼飲料水 ⑩その他

一番よく飲む		二番目によく飲む		三番目によく飲む	
--------	--	----------	--	----------	--

Q 4

緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

(1) 急須で淹れて飲む	全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
(2) ティーバッグで飲む	全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む	全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
(4) ペットボトルで飲む	全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
(5) ドリップ式で飲む	全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む	全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む

Q 5

日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。
体験(実践を含む)の有無について、該当する項目に○を記入してください。

項 目	体験(実践)した事	
	ある	ない
水出しのお茶		
氷だしのお茶		
しずく茶(すすり茶、つゆ茶)		
お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り		
お茶のアルコール、炭酸水割り		
菓子類、スイーツへのお茶等の利用		
料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用		
お茶の飲食以外(消費剤等)への利用		

Q 6

日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
内容を知っている、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

項 目	内容を知っている又は体験した事がある	
	内容を知っている 体験した事がある	内容を知らない 体験した事はない
茶道		
煎茶道		
茶摘み体験・茶産地観光		
手もみ茶体験・工場見学		
茶西と喫茶養生記の関係		
千利休とわび茶の関係		
永谷宗円と煎茶の関係		

Q 7

日本茶(緑茶)の機能性の認知度についてお聞きします。
聞いた事の有無、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

項 目	聞いたことがある		内容を知っている又は体験した事がある	
	ある	ない	内容を知っている 体験した事がある	内容を知らない 体験した事はない
抗アレルギー作用				
コレステロール低減作用				
血糖上昇抑制作用				

Q 8

今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的であると思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

※ご協力ありがとうございました。ご回答いただきました貴重なご意見は、今後の日本茶の普及推進に活用させていただきます。

当日の様子



②第7回 CAFERES JAPAN(セミナー受講者)

日本茶文化・茶の需要拡大に資するイベントへの参画として、3会場で需要拡大にむけた取組を実施した。それぞれの地区において本事業として単独でイベントを実施することは、効果が小さいとの判断から、各地区で実施が予定されている各種イベントの中から、本事業主旨に合致しているイベントへの出展による取り組みとした。

1.調査概要

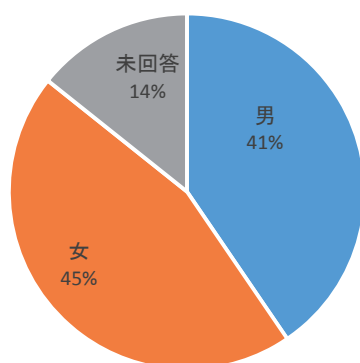
項目	内 容
調査日程	2019年7月3日(木)～7月5日(金)
調査会場	第7回 CAFERES JAPAN (パシフィコ横浜 ・ セミナー会場)
調査対象者	イベント会場で開催されたセミナーを受講した業者及び消費者
調査方法	無記名によるアンケート調査票への記入を行う
回収数	42件

1. 回答者属性

(1) 性別

項目	回答数
男性	17
女性	19
無回答	6

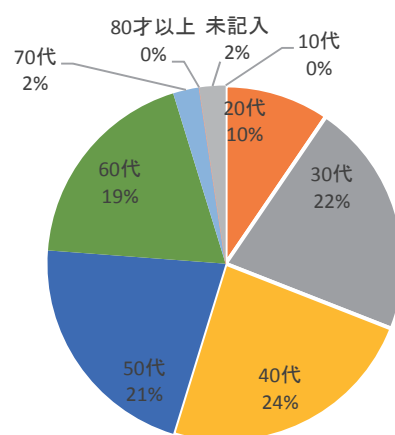
N = 42



(2) 年齢

項目	回答数
10代	0
20代	4
30代	9
40代	10
50代	9
60代	8
70代	1
80才以上	0
未記入	1

N = 42



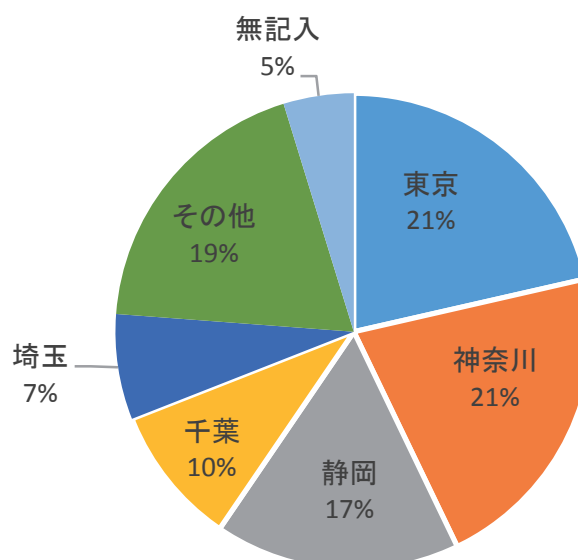
(3) 住所

府県(国)	回答数
東京	9
神奈川	9
静岡	7
千葉	4
埼玉	3
その他	8
無記入	2

N = 42

【その他】

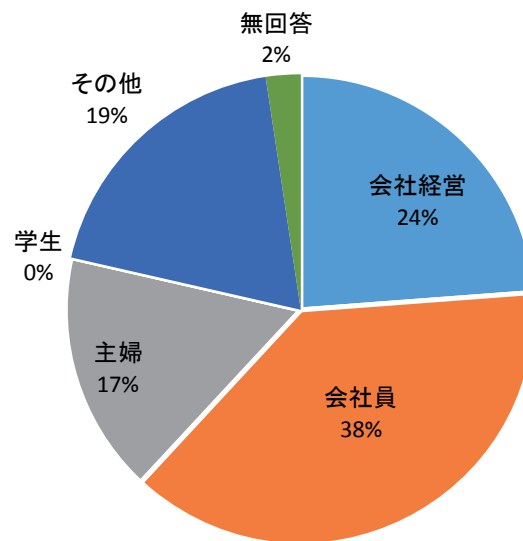
- ・愛知
- ・茨城
- ・岩手
- ・京都
- ・高知
- ・台湾
- ・福井
- ・三重



(4) 職 業

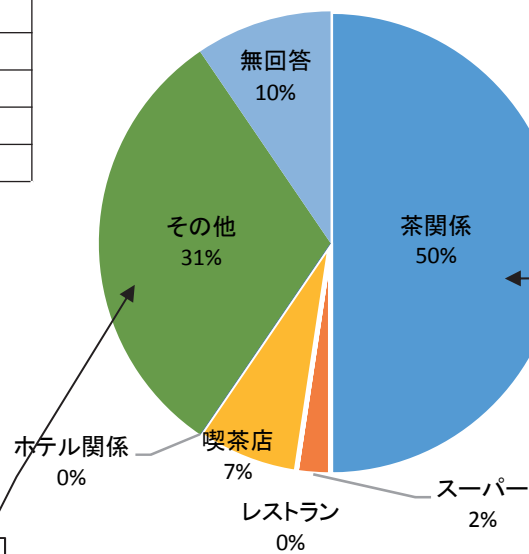
職業	回答数
会社経営	10
会社員	16
主婦	7
学生	0
その他	8
無回答	1

N = 42



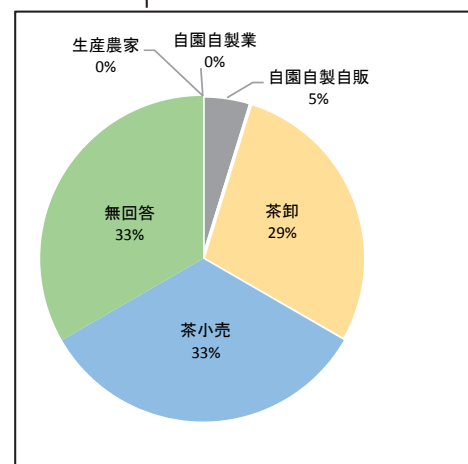
項目	回答数
茶関係	21
スーパー	1
レストラン	0
喫茶店	3
ホテル関係	0
その他	13
無回答	4

N = 42



項目	回答数
生産農家	0
自園自製業	0
自園自製自販	1
茶卸	6
茶小売	7
無回答	7

N = 21



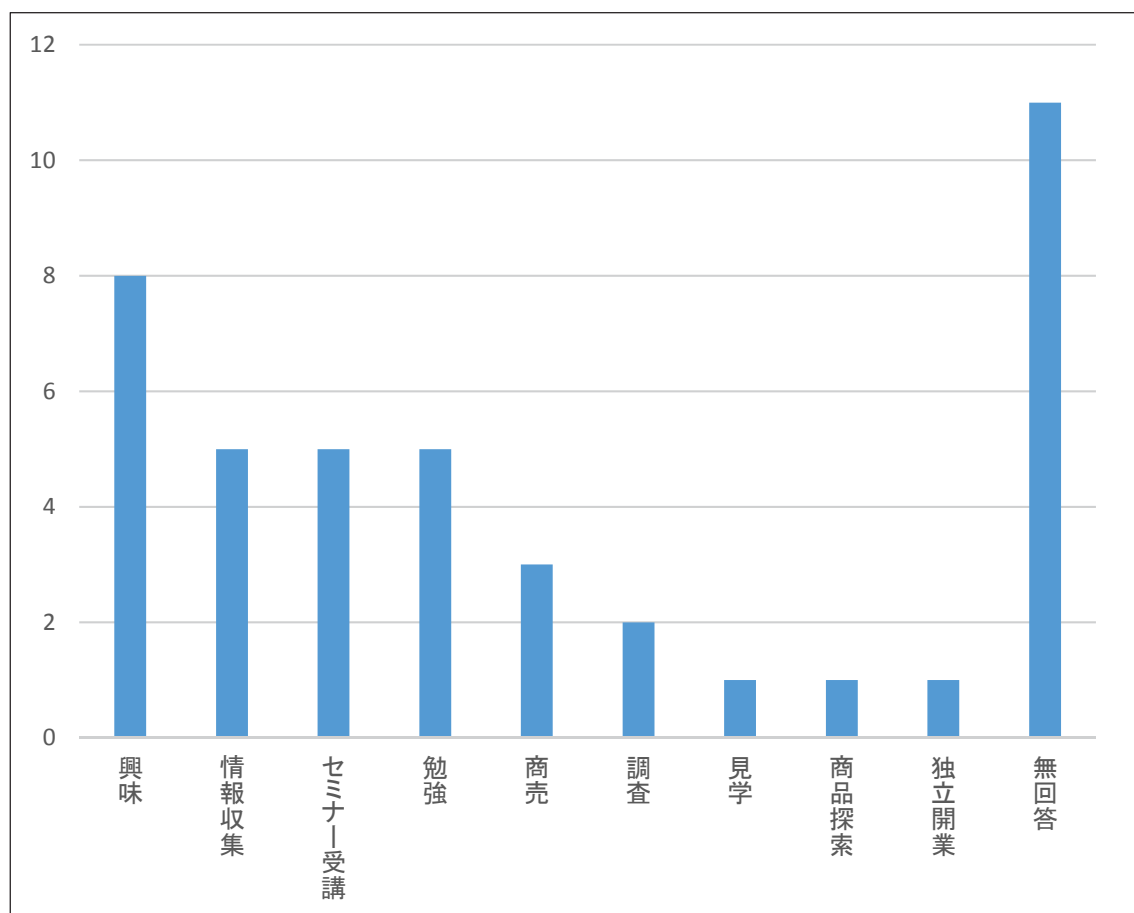
<その他>

- ・ 製造業
- ・ 食品製造
- ・ Tea School
- ・ 茶関係団体

(5) 来場目的

来場目的	回答数
興味	8
情報収集	5
セミナー受講	5
勉強	5
商売	3
調査	2
見学	1
商品探索	1
独立開業	1
無回答	11

N=42

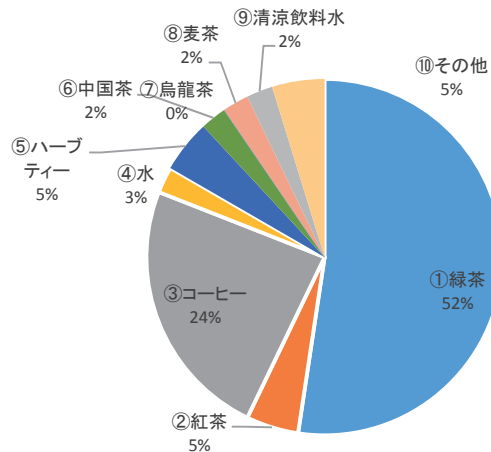


2.次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

一番良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	22
②紅茶	2
③コーヒー	10
④水	1
⑤ハーブティー	2
⑥中国茶	1
⑦烏龍茶	0
⑧麦茶	1
⑨清涼飲料水	1
⑩その他	2

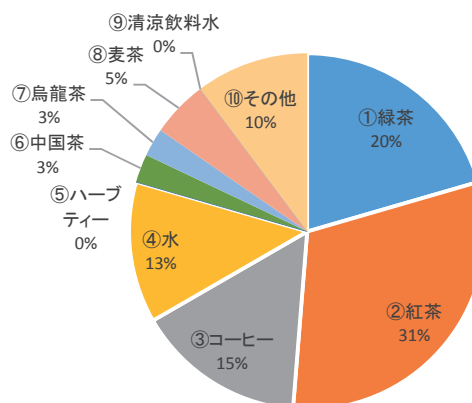
N = 42



二番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	8
②紅茶	12
③コーヒー	6
④水	5
⑤ハーブティー	0
⑥中国茶	1
⑦烏龍茶	1
⑧麦茶	2
⑨清涼飲料水	0
⑩その他	4

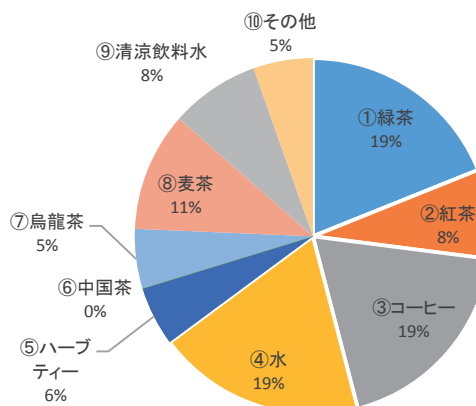
N = 39



三番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	7
②紅茶	3
③コーヒー	7
④水	7
⑤ハーブティー	2
⑥中国茶	0
⑦烏龍茶	2
⑧麦茶	4
⑨清涼飲料水	3
⑩その他	2

N = 37

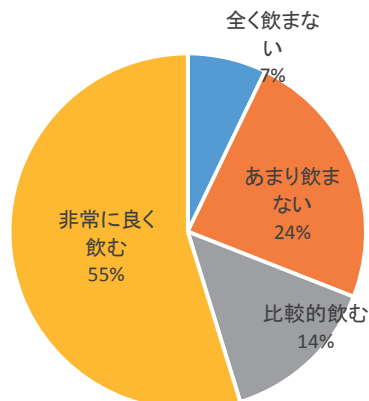


3.緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

(1) 急須で淹れて飲む

項目	回答数
全く飲まない	3
あまり飲まない	10
比較的飲む	6
非常に良く飲む	23

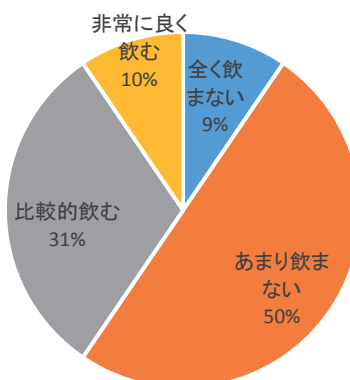
N = 42



(2) ティーバッグで飲む

項目	回答数
全く飲まない	4
あまり飲まない	21
比較的飲む	13
非常に良く飲む	4

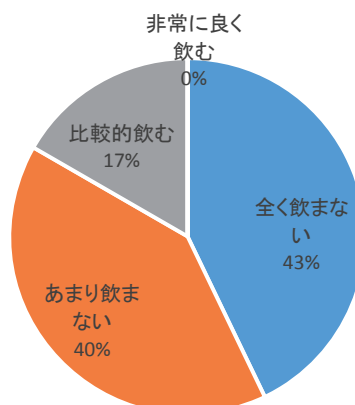
N = 42



(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む

項目	回答数
全く飲まない	18
あまり飲まない	17
比較的飲む	7
非常に良く飲む	0

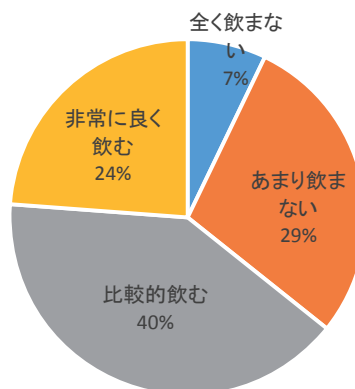
N = 42



(4) ペットボトルで飲む

項目	回答数
全く飲まない	3
あまり飲まない	12
比較的飲む	17
非常に良く飲む	10

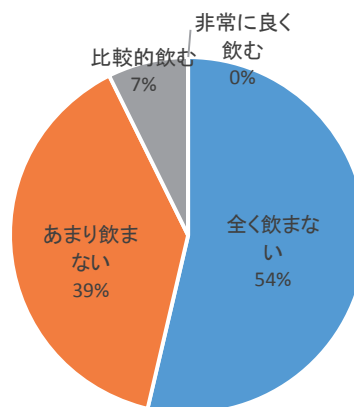
N = 42



(5) ドリップ式で飲む

項目	回答数
全く飲まない	22
あまり飲まない	16
比較的飲む	3
非常に良く飲む	0

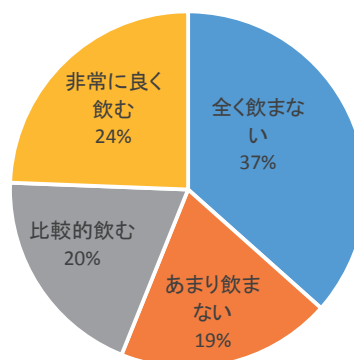
N = 41



(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む

項目	回答数
全く飲まない	15
あまり飲まない	8
比較的飲む	8
非常に良く飲む	10

N = 41

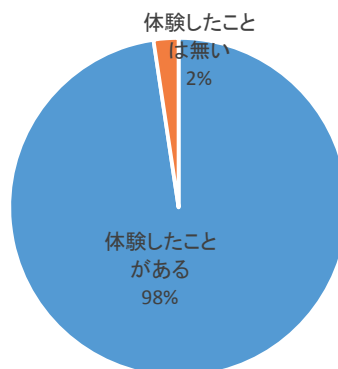


4.日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。

水出しのお茶

項目	回答数
体験したことがある	41
体験したことは無い	1

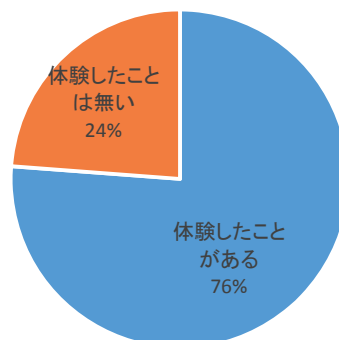
N = 42



氷だしのお茶

項目	回答数
体験したことがある	32
体験したことは無い	10

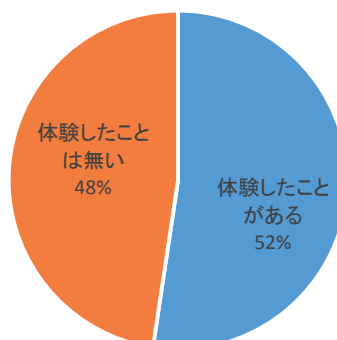
N = 42



しずく茶（すすり茶、つゆ茶）

項目	回答数
体験したことがある	22
体験したことは無い	20

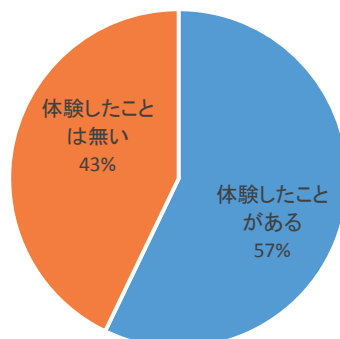
N = 42



お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り

項目	回答数
体験したことがある	24
体験したことは無い	18

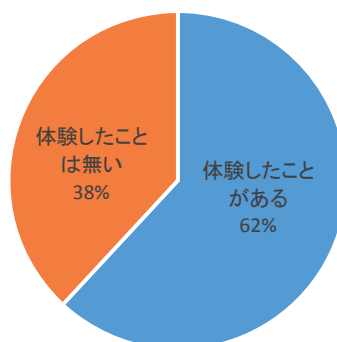
N = 42



お茶のアルコール、炭酸水割り

項目	回答数
体験したことがある	26
体験したことは無い	16

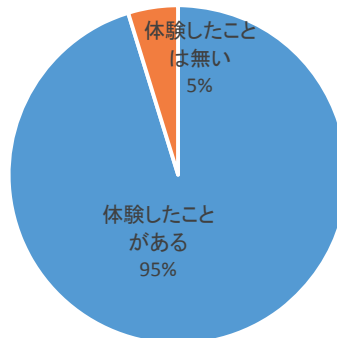
N = 42



菓子類、スイーツへのお茶等の利用

項目	回答数
体験したことがある	40
体験したことは無い	2

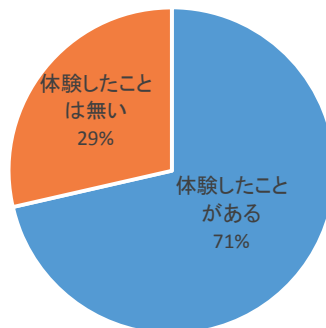
N = 42



料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用

項目	回答数
体験したことがある	30
体験したことは無い	12

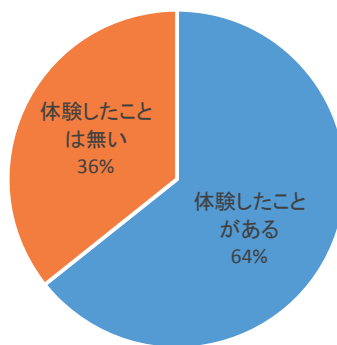
N = 42



お茶の飲食以外(消臭剤等)への利用

項目	回答数
体験したことがある	27
体験したことは無い	15

N = 42

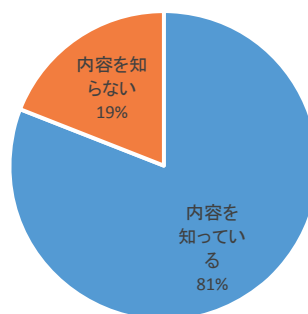


5.日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
内容を知っている、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

茶道

項目	回答数
内容を知っている	34
内容を知らない	8

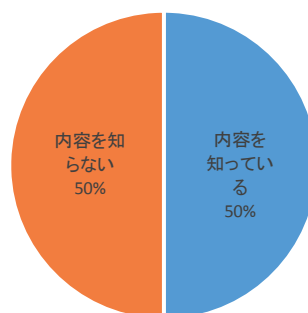
N = 42



煎茶道

項目	回答数
内容を知っている	21
内容を知らない	21

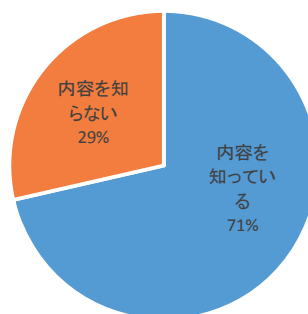
N = 42



茶摘み体験・茶産地観光

項目	回答数
内容を知っている	30
内容を知らない	12

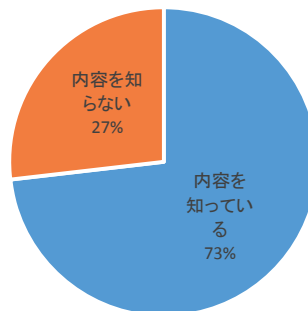
N = 42



手もみ茶体験・工場見学

項目	回答数
内容を知っている	30
内容を知らない	11

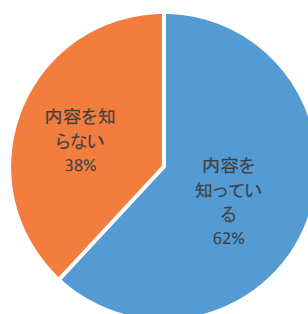
N = 41



栄西と喫茶養生記の関係

項目	回答数
内容を知っている	26
内容を知らない	16

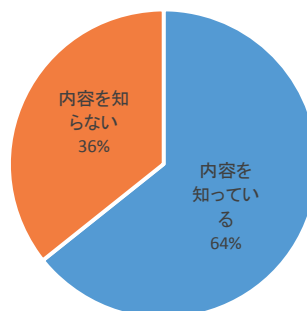
N = 42



千利休とわび茶の関係

項目	回答数
内容を知っている	27
内容を知らない	15

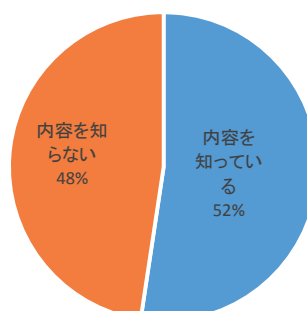
N = 42



永谷宗円と煎茶の関係

項目	回答数
内容を知っている	22
内容を知らない	20

N = 42

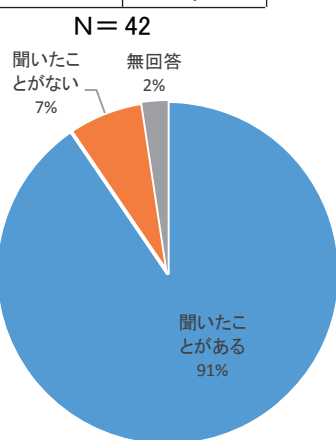


6. 日本茶(緑茶)の機能性の認知度についてお聞きします。
聞いた事の有無、体験の有無について該当する項目に○を記入
してください。

抗アレルギー作用

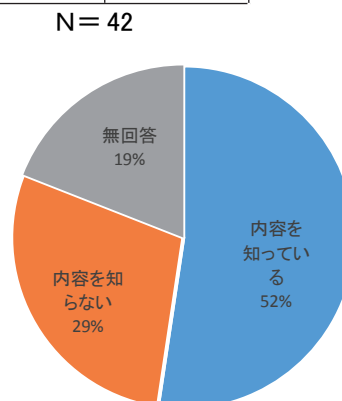
【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	38
聞いたことがない	3
無回答	1



【内容理解(体験した事)】

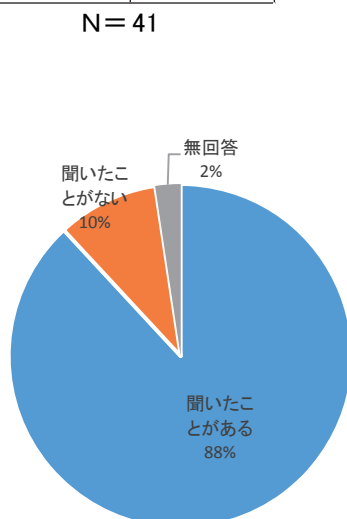
項目	回答数
内容を知っている	22
内容を知らない	12
無回答	8



コレステロール低減作用

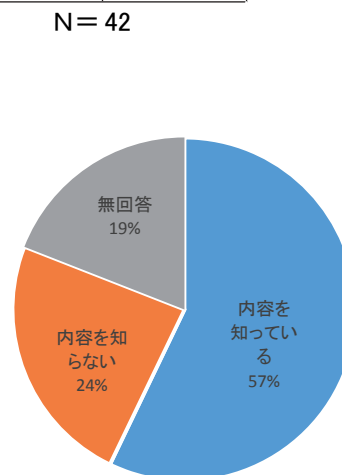
【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	37
聞いたことがない	4
無回答	1



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	24
内容を知らない	10
無回答	8

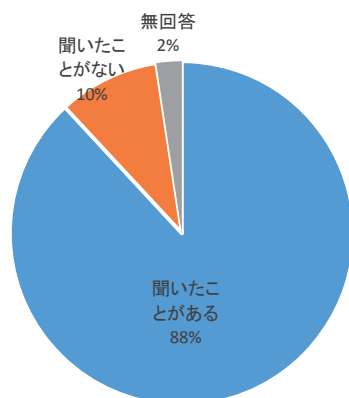


血糖上昇抑制作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	37
聞いたことがない	4
無回答	1

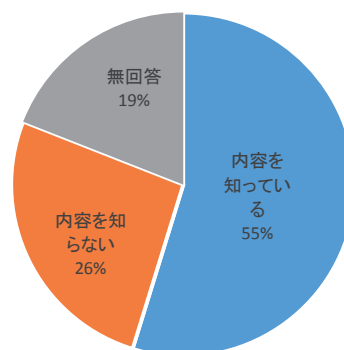
N = 42



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	23
内容を知らない	11
無回答	8

N = 42



7.今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的だと思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

- Office useを拡大する。
- 運動系のイベントとのコラボ。
- 健康成分についての情報普及、新しい飲み方。
- フェスティバル、イベント、異業種とのコラボイベント、SNS、セレブ有名人からのPR。
- テレビの情報番組。
- 専門家によるメディアへの出演、ゴールデンタイム。
- 茶種を増やす(釜炒茶の強化、フレーバーティーの取り組み)。
- ヨガ教室、美容業界とのコラボ、健康への意識の高い人へのアプローチ。
- 緑茶の効果効能のPR周知。
- 水出しの良さというものは近年注目されているものの、実際スーパーでそのような提案をしても実践している人は少ない印象です。(好きな人は常にお湯出し)そのためもう少し身近に感じていただける発信をしていってほしいです。
- 小売業が販売方法を見直す。健康機能をもっと強力に伝える。
- 産地にこだわった粉末茶やティーバック(持ち運び便利で、プロセスにこだわっているもの)、コンパクトな急須セット。
- いかに家庭で手軽にお茶を飲めるようにするか。透明でおしゃれな急須の普及、おしゃれな急須+ティーバックで女性に飲んでもらえるようにする。
- 急須で淹れるお茶を飲む習慣、ライフスタイルがカッコいい、健康的と思わせるように、SNSを使ってブランドを作る。

アンケート調査票

お茶に関するアンケート調査

Q 1 あなた自身のことをお聞かせください。

性別	男女	年齢	〇で囲む					お住まい	都道府県	市区町村
			10代	20代	30代	40代	50代			
			60代	70代	80才以上			海外の方は 国名		
職業	会社経営		会社員	主婦	職種	・茶関係 (生産農家、自園自製業、自園自製自販、茶卸、茶小売)				
	学 生 ()			・スーパー ・レストラン(和 洋 中 他)						
	その他 ()			・喫茶店(緑茶専門店)、喫茶店(主な飲料)						
				・ホテル関係、 ・その他 ()						
飲料に関する資格をお持ちの方は 具体的な資格名を全てお聞かせください。										

Q 2 このイベントに来場した目的をお聞かせください。

Q 3 次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

【選択肢】				
①緑茶 ②紅茶 ③コーヒー ④水 ⑤ハーブティー ⑥中国茶 ⑦烏龍茶 ⑧麦茶 ⑨清涼飲料水 ⑩その他				
一番 よく飲む		二番目に よく飲む		三番目に よく飲む

Q 4 緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに
〇を付けてください。

(1) 急須で淹れて飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	非常に よく飲む
(2) ティーバッグで飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	
(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	
(4) ペットボトルで飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	
(5) ドリップ式で飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	
(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	

Q 5 日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。
体験(実践を含む)の有無について、該当する項目に〇を記入してください。

項 目	体験(実践)した事	
	ある	ない
水出しのお茶		
氷だしのお茶		
しずく茶(すすり茶、つゆ茶)		
お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り		
お茶のアルコール、炭酸水割り		
菓子類、スイーツへのお茶等の利用		
料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用		
お茶の飲食以外(消費剤等)への利用		

Q 6 日本茶に関連する文化的側面についてお聞きします。
内容を知っている、体験の有無について該当する項目に〇を記入してください。

項 目	内容を知っている又は体験した事がある	
	内容を知っている 体験した事がある	内容を知らない 体験した事は無い
茶道		
煎茶道		
茶摘み体験・茶産地観光		
手もみ茶体験・工場見学		
茶西と喫茶養生記の関係		
千利休とわび茶の関係		
永谷宗円と煎茶の関係		

Q 7 日本茶(緑茶)の機能性の認知度についてお聞きします。
聞いた事の有無、体験の有無について該当する項目に〇を記入してください。

項 目	聞いたことがある		内容を知っている又は体験した事がある	
	ある	ない	内容を知っている 体験した事がある	内容を知らない 体験した事は無い
抗アレルギー作用				
コレステロール低減作用				
血糖上昇抑制作用				

Q 8 今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的
であると思われますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

※ご協力ありがとうございました。ご回答いただきました貴重なご意見は、今後の日本茶の普及推進に活用させていただきます。

当日の様子



③秋の和文化祭 2019

日本茶文化・茶の需要拡大に資するイベントへの参画として、3会場で需要拡大にむけた取組を実施した。それぞれの地区において本事業として単独でイベントを実施することは、効果が小さいとの判断から、各地区で実施が予定されている各種イベントの中から、本事業主旨に合致しているイベントへの出展による取り組みとした。

1.調査概要

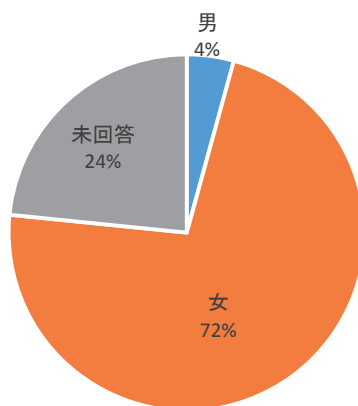
項目	内 容
調査日程	2019年9月25日(水)
調査会場	秋の和文化祭2019（日本橋江戸桜通り地下通路）
調査対象者	秋の和文化祭2019来場者の内、煎茶文化体験をした消費者
調査方法	無記名によるアンケート調査票への記入を行う
回収数	47件

1. 回答者属性

(1) 性別

項目	回答数
男性	2
女性	34
無回答	11

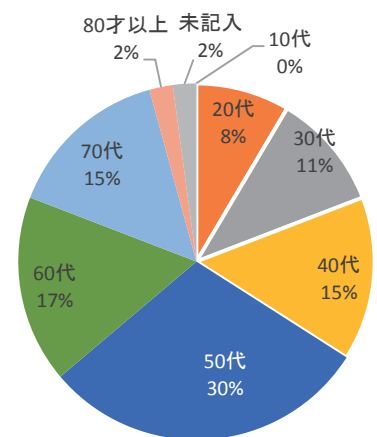
N = 47



(2) 年齢

項目	回答数
10代	0
20代	4
30代	5
40代	7
50代	14
60代	8
70代	7
80才以上	1
未記入	1

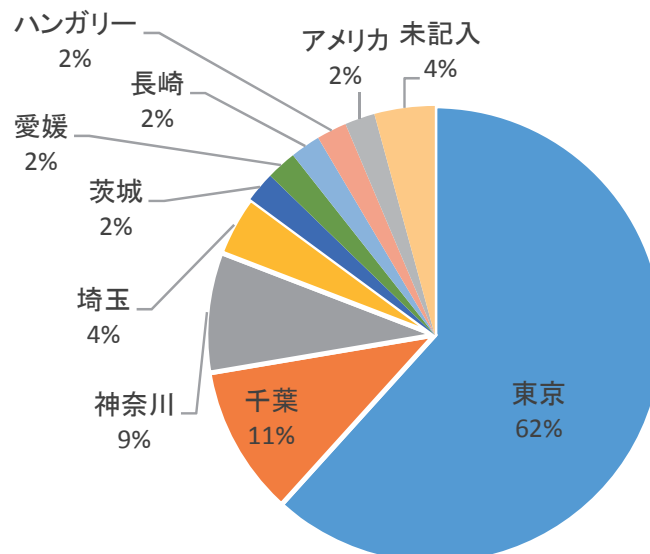
N = 47



(3) 住所

府県(国)	回答数
東京	29
千葉	5
神奈川	4
埼玉	2
茨城	1
愛媛	1
長崎	1
ハンガリー	1
アメリカ	1
未記入	2

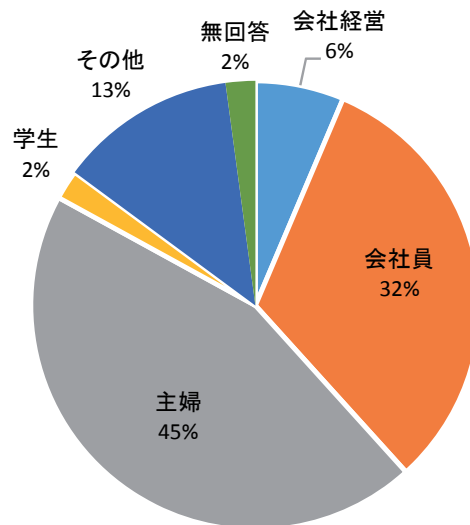
N = 47



(4) 職 業

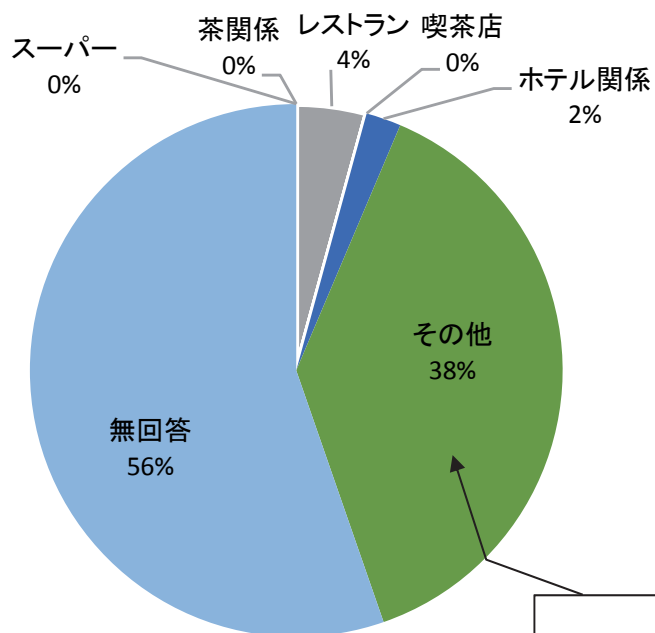
職業	回答数
会社経営	3
会社員	15
主婦	21
学生	1
その他	6
無回答	1

N = 47



項目	回答数
茶関係	0
スーパー	0
レストラン	2
喫茶店	0
ホテル関係	1
その他	18
無回答	26

N = 47

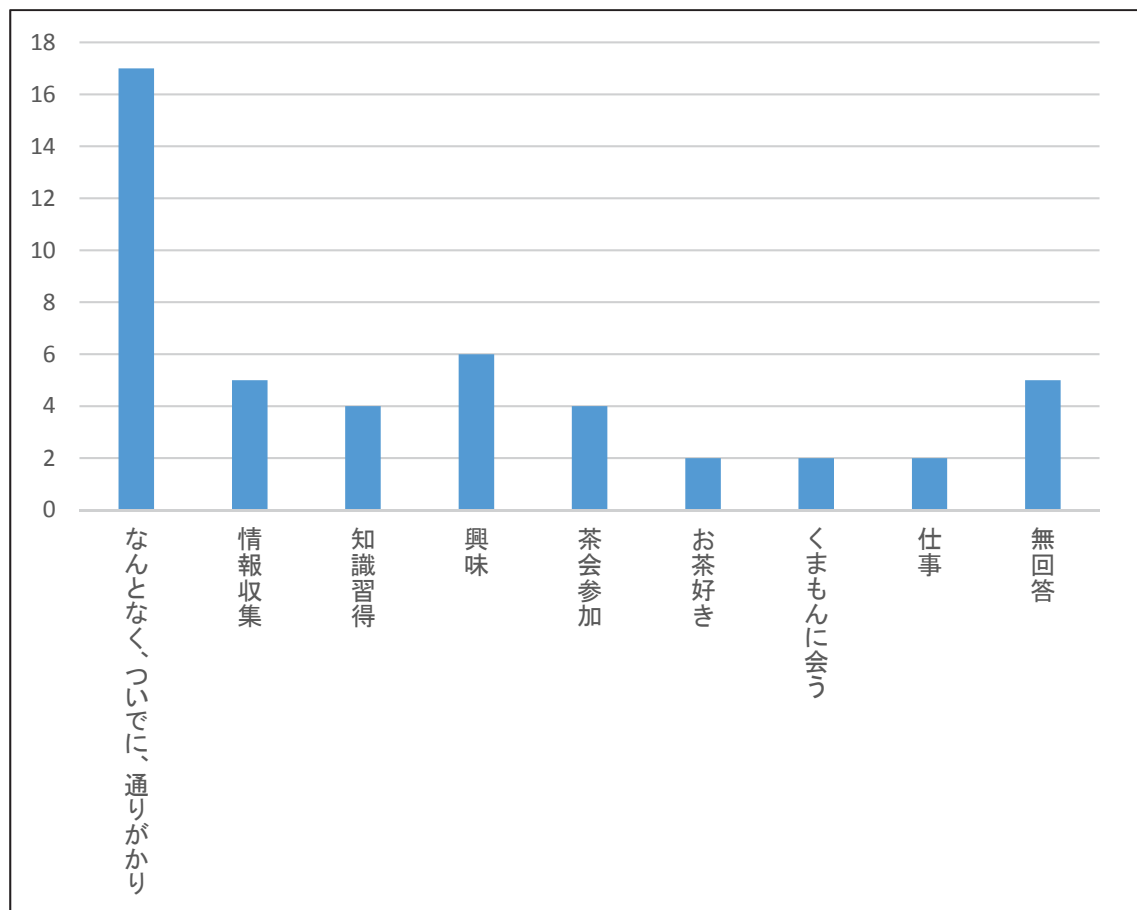


- <その他>
- ・ エンタメ
 - ・ 医薬品製造販売
 - ・ ツアーガイド
 - ・ 自営業
 - ・ 着物関係
 - ・ 団体店員
 - ・ 金融
 - ・ 講師
 - ・ 着物関係
 - ・ 建設業系
 - ・ 小売業

(5) 来場目的

来場目的	回答数
なんとなく、ついでに、通りがかり	17
情報収集	5
知識習得	4
興味	6
茶会参加	4
お茶好き	2
くまもんに会う	2
仕事	2
無回答	5

N=47

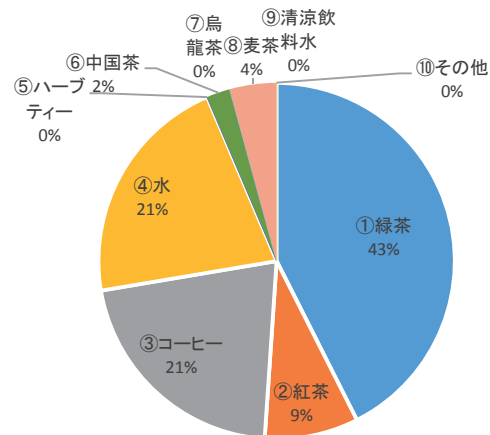


2.次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

一番良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	20
②紅茶	4
③コーヒー	10
④水	10
⑤ハーブティー	0
⑥中国茶	1
⑦烏龍茶	0
⑧麦茶	2
⑨清涼飲料水	0
⑩その他	0

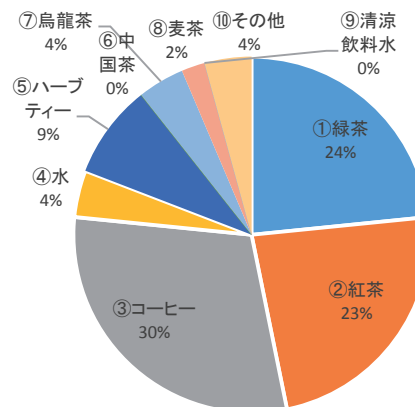
N = 47



二番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	11
②紅茶	11
③コーヒー	14
④水	2
⑤ハーブティー	4
⑥中国茶	0
⑦烏龍茶	2
⑧麦茶	1
⑨清涼飲料水	0
⑩その他	2

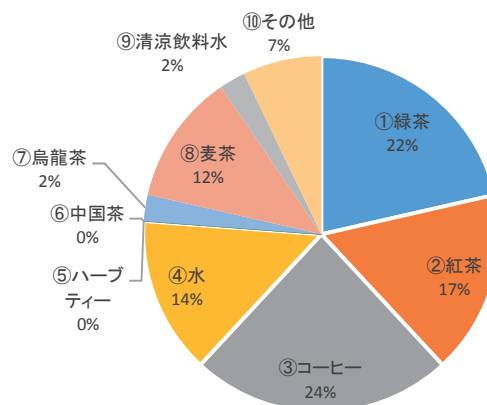
N = 47



三番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	9
②紅茶	7
③コーヒー	10
④水	6
⑤ハーブティー	0
⑥中国茶	0
⑦烏龍茶	1
⑧麦茶	5
⑨清涼飲料水	1
⑩その他	3

N = 42

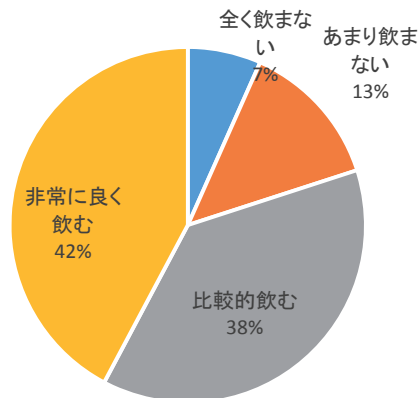


3.緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

(1) 急須で淹れて飲む

項目	回答数
全く飲まない	3
あまり飲まない	6
比較的飲む	17
非常に良く飲む	19

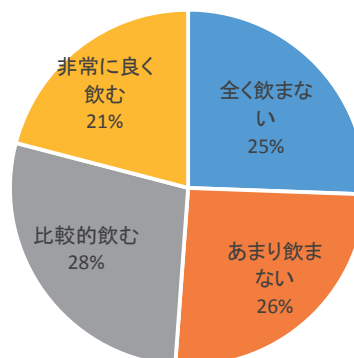
N = 45



(2) ティーバッグで飲む

項目	回答数
全く飲まない	11
あまり飲まない	11
比較的飲む	12
非常に良く飲む	9

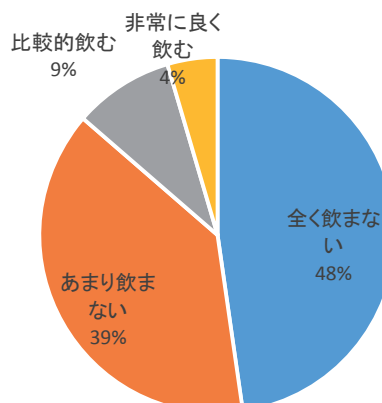
N = 43



(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む

項目	回答数
全く飲まない	21
あまり飲まない	17
比較的飲む	4
非常に良く飲む	2

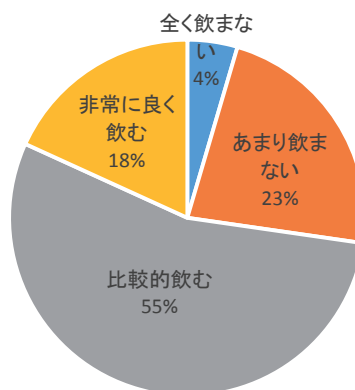
N = 44



(4) ペットボトルで飲む

項目	回答数
全く飲まない	2
あまり飲まない	10
比較的飲む	24
非常に良く飲む	8

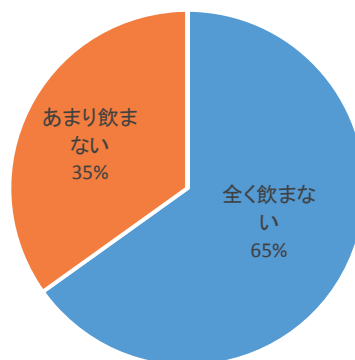
N = 44



(5) ドリップ式で飲む

項目	回答数
全く飲まない	28
あまり飲まない	15
比較的飲む	0
非常に良く飲む	0

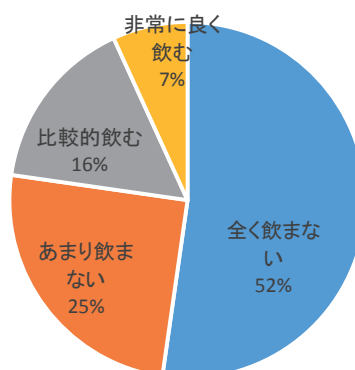
N = 43



(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む

項目	回答数
全く飲まない	23
あまり飲まない	11
比較的飲む	7
非常に良く飲む	3

N = 44

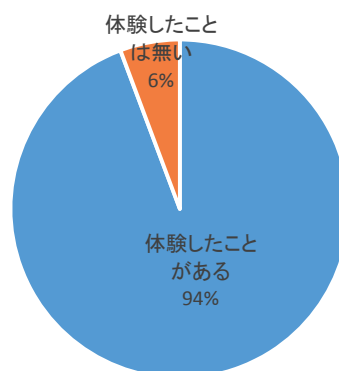


4.日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。

水出しのお茶

項目	回答数
体験したことがある	33
体験したことは無い	2

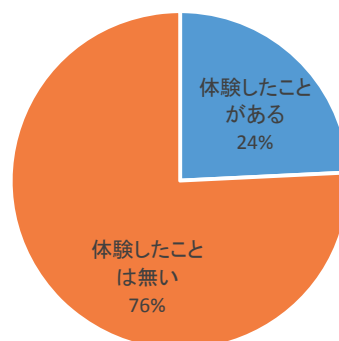
N = 35



氷だしのお茶

項目	回答数
体験したことがある	8
体験したことは無い	25

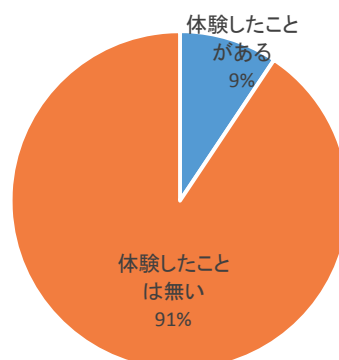
N = 33



しずく茶（すすり茶、つゆ茶）

項目	回答数
体験したことがある	3
体験したことは無い	29

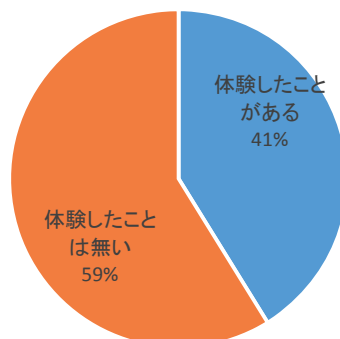
N = 32



お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り

項目	回答数
体験したことがある	14
体験したことは無い	20

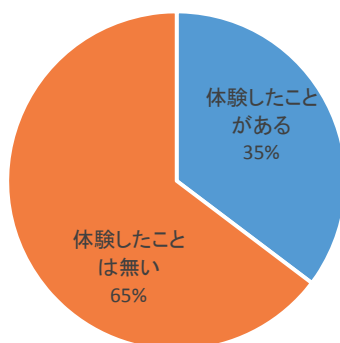
N = 34



お茶のアルコール、炭酸水割り

項目	回答数
体験したことがある	12
体験したことは無い	22

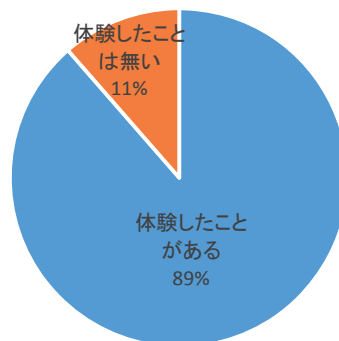
N = 34



菓子類、スイーツへのお茶等の利用

項目	回答数
体験したことがある	31
体験したことは無い	4

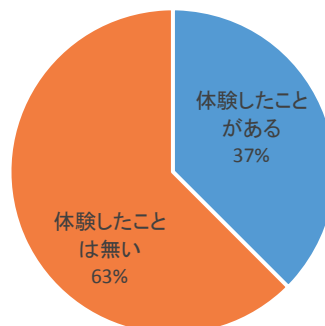
N = 35



料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用

項目	回答数
体験したことがある	12
体験したことは無い	20

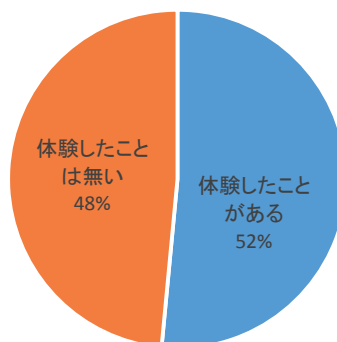
N = 32



お茶の飲食以外(消臭剤等)への利用

項目	回答数
体験したことがある	17
体験したことは無い	16

N = 33

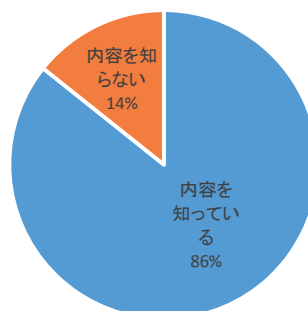


5.日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
内容を知っている、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

茶道

項目	回答数
内容を知っている	30
内容を知らない	5

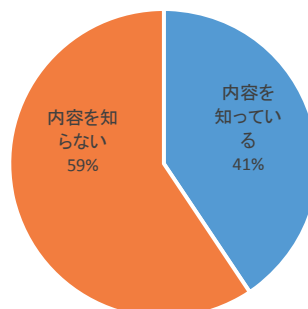
N = 35



煎茶道

項目	回答数
内容を知っている	13
内容を知らない	19

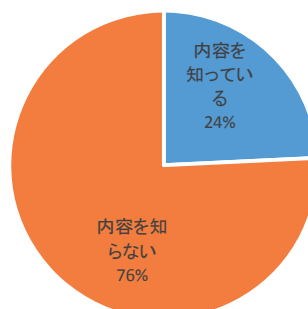
N = 32



茶摘み体験・茶産地観光

項目	回答数
内容を知っている	8
内容を知らない	25

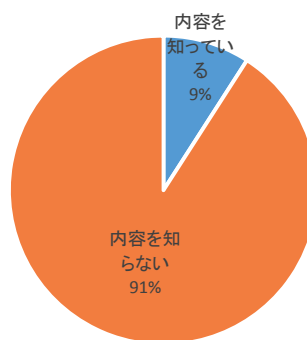
N = 33



手もみ茶体験・工場見学

項目	回答数
内容を知っている	3
内容を知らない	30

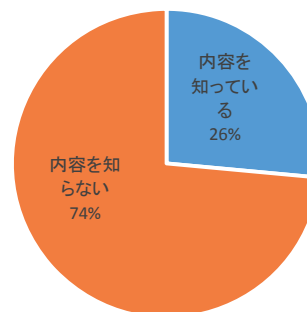
N = 33



栄西と喫茶養生記の関係

項目	回答数
内容を知っている	9
内容を知らない	25

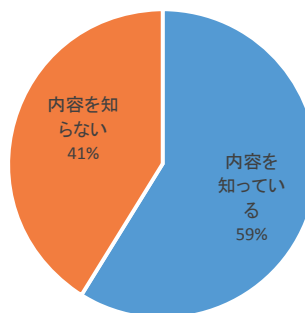
N = 34



千利休とわび茶の関係

項目	回答数
内容を知っている	20
内容を知らない	14

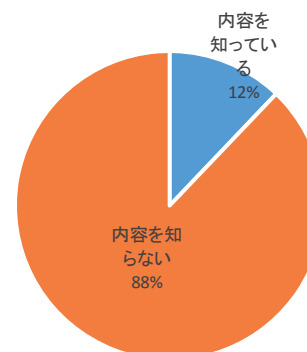
N = 34



永谷宗円と煎茶の関係

項目	回答数
内容を知っている	4
内容を知らない	29

N = 33



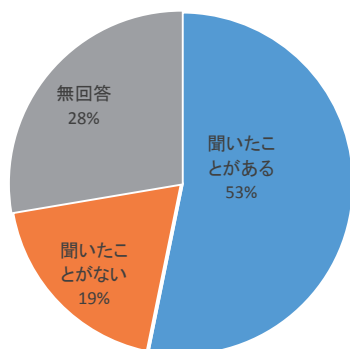
6. 日本茶(緑茶)の機能性の認知度についてお聞きします。
聞いた事の有無、体験の有無について該当する項目に○を記入
してください。

抗アレルギー作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	25
聞いたことがない	9
無回答	13

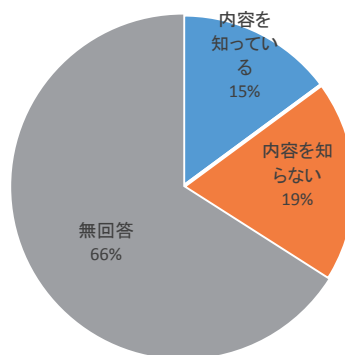
N = 47



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	7
内容を知らない	9
無回答	31

N = 47

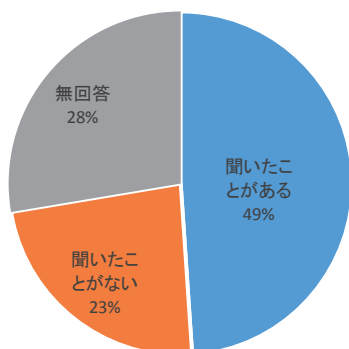


コレステロール低減作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	23
聞いたことがない	11
無回答	13

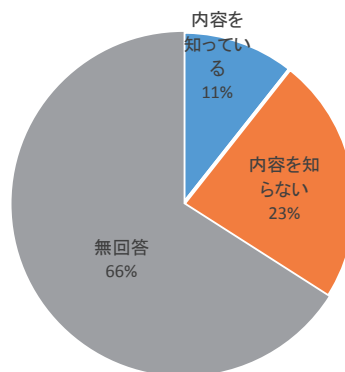
N = 34



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	5
内容を知らない	11
無回答	31

N = 47

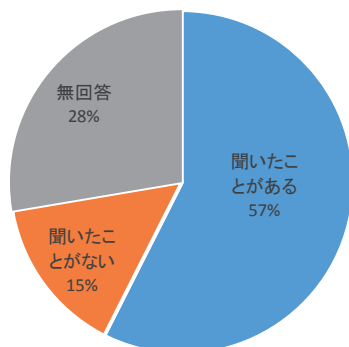


血糖上昇抑制作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	27
聞いたことがない	7
無回答	13

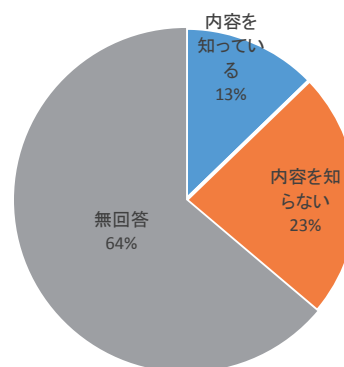
N = 47



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	6
内容を知らない	11
無回答	30

N = 47



7.今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的だと思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

- 最新テクノロジーとのコラボ。
- たくさんの日本人がゆっくり日常にお茶を飲む世の中になると良いと思う。
- 水出し茶を広める。(経済的にペットボトルと比較してデータの提示)
- 給食に取り入れて子どもの頃から親しむ。
- 試飲、お茶の淹れ方の体験が、お茶を美味しくいただけることを知る機会になると思います。
- コーヒーのようにオシャレにする。
- 今回のように実演を多くして下さると良いと思います。
- お茶の日のイベントを新茶以外に通年で実施する。日本橋のように掲示してほしい。宿泊施設に置かれるお茶のサービス向上。
- サンプルング。
- お茶の効能を広げる。
- 海外展開、日本茶の種類・効能PR、ブランド化。
- こういったイベントはすごく良いと思います。
- 今回のようなイベントはとても楽しく良いと思います。ありがとうございました。急須で淹れる美味しさの体験があれば良いと思います。また、もっと簡単な美味しい淹れ方があれば嬉しいです。
- 日本茶は、良いものはとても高いので手が出せない。それなのでもっとこういう飲み方や知識のレクチャーがあれば、高い茶も買ってみたいと思う。
- お茶にハマっています。以前はペットボトルのお茶をよく買っていましたが、今は茶葉から淹れています。子どももジュースは飲まず、必ず「お茶ちょうだい」と言います。(特に玄米茶が好き)今回の体験をぜひ色々なところで行ってほしいです。ありがとうございました。

アンケート調査票

お茶に関するアンケート調査

Q 1 あなた自身のことをお聞かせください。

性別	男女	年齢	○で囲む					お住まい	都道府県	市区町村	
			10代	20代	30代	40代	50代				
			60代	70代	80才以上			海外の方は 国名			
職業	会社経営 会社員 主婦		職種	・茶関係 (生産農家、自園自製業、自園自製自販、茶卸、茶小売)							
	学 生 ()			・スーパー ・レストラン(和 洋 中 他)							
	その他 ()			・喫茶店(緑茶専門店)、喫茶店(主な飲料)							
				・ホテル関係、 ・その他 ()							
飲料に関する資格をお持ちの方は 具体的な資格名を全てお聞かせください。											

Q 2 このイベントに来場した目的をお聞かせください。

Q 3 次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

【選択肢】										
①緑茶 ②紅茶 ③コーヒー ④水 ⑤ハーブティー ⑥中国茶 ⑦烏龍茶 ⑧麦茶 ⑨清涼飲料水 ⑩その他										
一番よく飲む		二番目によく飲む		三番目によく飲む						

Q 4 緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

	全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
(1) 急須で淹れて飲む				
(2) ティーバッグで飲む				
(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む				
(4) ペットボトルで飲む				
(5) ドリップ式で飲む				
(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む				

Q 5 日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。体験(実践を含む)の有無について、該当する項目に○を記入してください。

項 目	体験(実践)した事	
	ある	ない
水出しのお茶		
氷だしのお茶		
しずく茶(すすり茶、つゆ茶)		
お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り		
お茶のアルコール、炭酸水割り		
菓子類、スイーツへのお茶等の利用		
料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用		
お茶の飲食以外(消費剤等)への利用		

Q 6 日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。内容を知っている、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

項 目	内容を知っている又は体験した事がある	
	内容を知っている 体験した事がある	内容を知らない 体験した事はない
茶道		
煎茶道		
茶摘み体験・茶産地観光		
手もみ茶体験・工場見学		
茶西と喫茶養生記の関係		
千利休とわび茶の関係		
永谷宗円と煎茶の関係		

Q 7 日本茶(緑茶)の機能性の認知度についてお聞きします。聞いた事の有無、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

項 目	聞いたことがある		内容を知っている又は体験した事がある	
	ある	ない	内容を知っている 体験した事がある	内容を知らない 体験した事はない
抗アレルギー作用				
コレステロール低減作用				
血糖上昇抑制作用				

Q 8 今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的であると思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

※ご協力ありがとうございました。ご回答いただきました貴重なご意見は、今後の日本茶の普及推進に活用させていただきます。

当日の様子



(2)九州地区イベント会場での実態調査

Food EXPO Kyushu2019(一般消費者)

日本茶文化・茶の需要拡大に資するイベントへの参画として、3会場で需要拡大にむけた取組を実施した。それぞれの地区において本事業として単独でイベントを実施することは、効果が小さいとの判断から、各地区で実施が予定されている各種イベントの中から、本事業主旨に合致しているイベントへの出展による取り組みとした。

1.調査概要

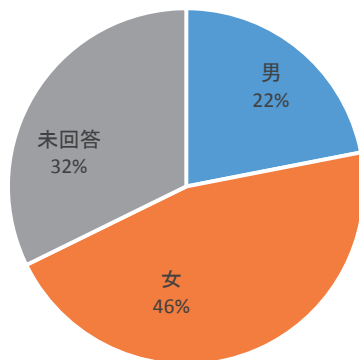
項目	内 容
調査日程	2019年10月9日(水)～10月10日(木)
調査会場	Food EXPO Kyushu2019 (福岡国際センター)
調査対象者	イベント会場へ来場した業者及び消費者
調査方法	無記名によるアンケート調査票への記入を行う
回収数	155件

1. 回答者属性

(1) 性別

項目	回答数
男性	34
女性	71
無回答	50

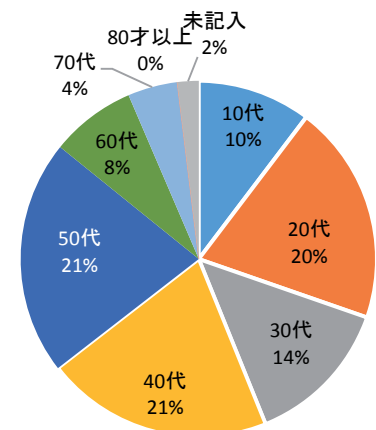
N = 155



(2) 年齢

項目	回答数
10代	16
20代	31
30代	21
40代	32
50代	33
60代	12
70代	7
80才以上	0
未記入	3

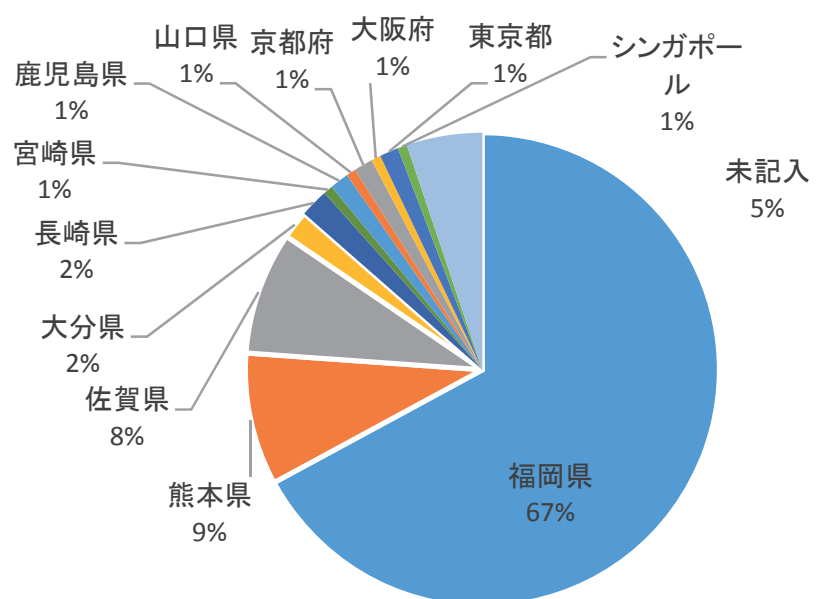
N = 155



(3) 住所

府県(国)	回答数
福岡県	104
熊本県	14
佐賀県	13
大分県	3
長崎県	3
宮崎県	1
鹿児島県	2
山口県	1
京都府	2
大阪府	1
東京都	2
シンガポール	1
未記入	8

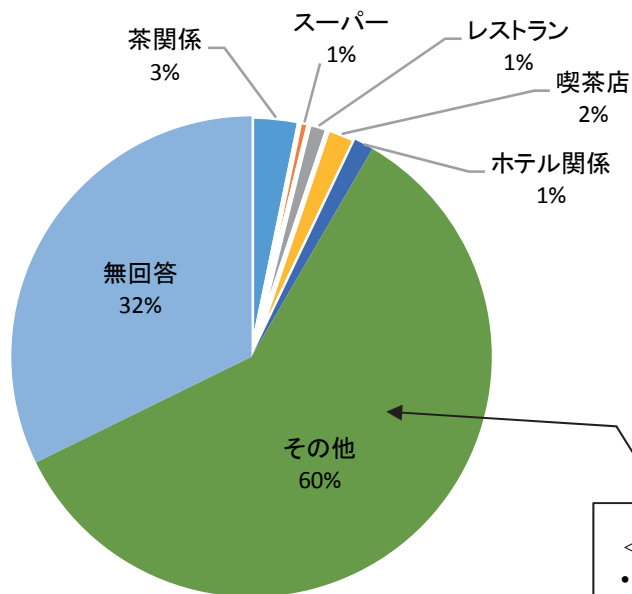
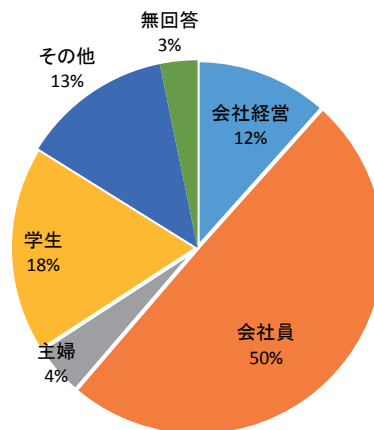
N = 155



(4) 職 業

項目	回答数
会社経営	18
会社員	77
主婦	7
学生	28
その他	20
無回答	5

N = 155



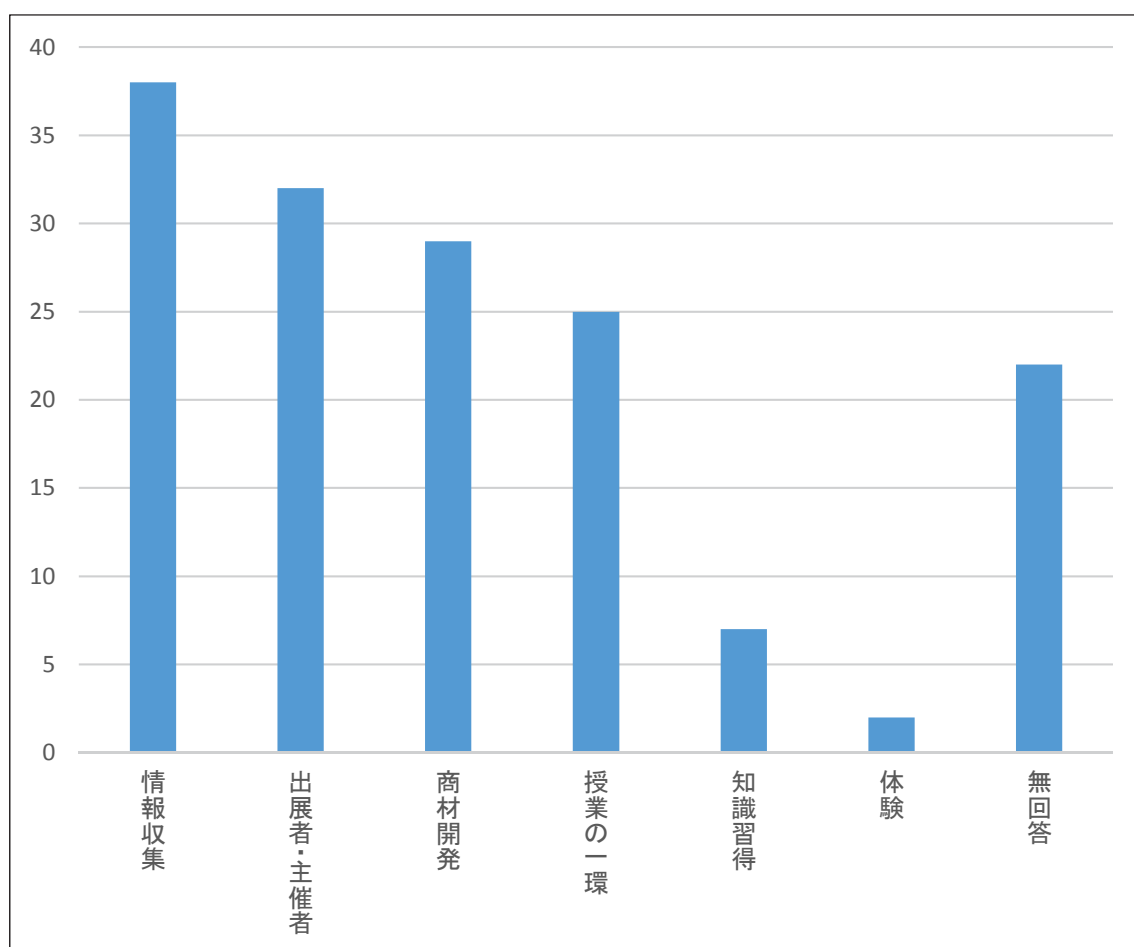
<その他>

- ・ 食品
- ・ 水産物加工業
- ・ 商品開発
- ・ コンサルタント
- ・ 旅行、外国語スクール
- ・ 有田焼販売企画
- ・ プロデュース
- ・ サービス業
- ・ 食品メーカー、小売
- ・ 百貨店
- ・ 輸出支援機関
- ・ 団体
- ・ 総合食品卸業
- ・ 食品卸
- ・ 農業大学
- ・ 食品卸
- ・ 食品製造
- ・ 商工会議所
- ・ 行政
- ・ 小売
- ・ 商工会
- ・ 製造業
- ・ 食品原料商社
- ・ 製造、小売、卸
- ・ 建設業
- ・ マスコミ
- ・ 商社
- ・ 商工会議所
- ・ フードコーディネーター
- ・ お菓子の製造販売
- ・ 開発
- ・ 道の駅
- ・ 菓子製販
- ・ 水産加工業
- ・ 商社
- ・ 商工会議所
- ・ マーケティング
- ・ FCVB
- ・ 食品
- ・ 農業大学
- ・ 食の多様性普及活動
- ・ 公務員
- ・ サービス
- ・ 団体職員

(5) 来場目的

来場目的	回答数
情報収集	38
出展者・主催者	32
商材開発	29
授業の一環	25
知識習得	7
体験	2
無回答	22

N= 155

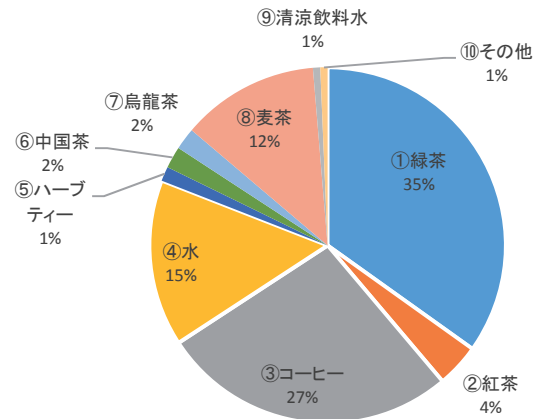


2.次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

一番良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	53
②紅茶	6
③コーヒー	41
④水	23
⑤ハーブティー	2
⑥中国茶	3
⑦烏龍茶	3
⑧麦茶	19
⑨清涼飲料水	1
⑩その他	1

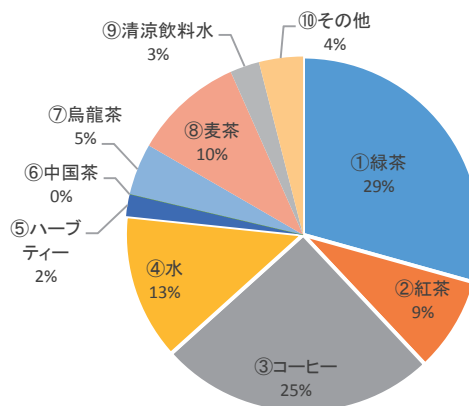
N = 152



二番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	44
②紅茶	13
③コーヒー	38
④水	20
⑤ハーブティー	3
⑥中国茶	0
⑦烏龍茶	7
⑧麦茶	15
⑨清涼飲料水	4
⑩その他	6

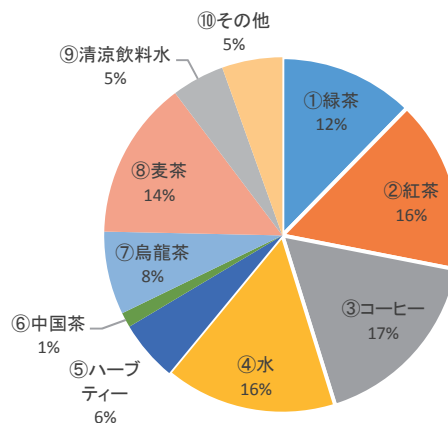
N = 150



三番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	18
②紅茶	23
③コーヒー	25
④水	23
⑤ハーブティー	8
⑥中国茶	2
⑦烏龍茶	11
⑧麦茶	21
⑨清涼飲料水	7
⑩その他	8

N = 146

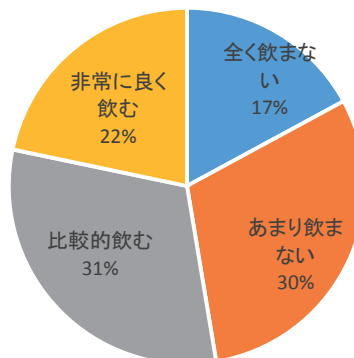


3.緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

(1) 急須で淹れて飲む

項目	回答数
全く飲まない	26
あまり飲まない	46
比較的飲む	47
非常に良く飲む	33

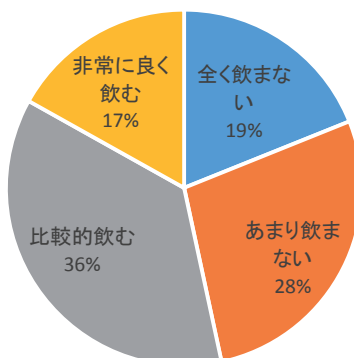
N = 152



(2) ティーバッグで飲む

項目	回答数
全く飲まない	28
あまり飲まない	41
比較的飲む	54
非常に良く飲む	25

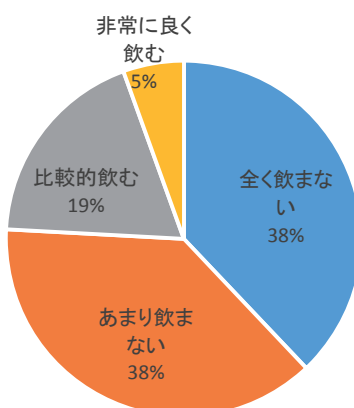
N = 148



(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む

項目	回答数
全く飲まない	55
あまり飲まない	55
比較的飲む	27
非常に良く飲む	8

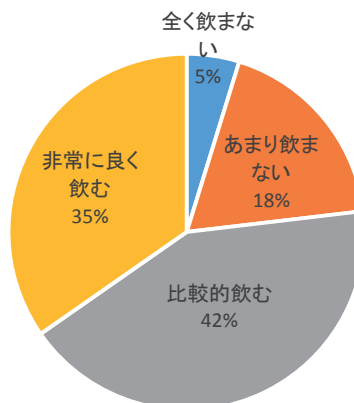
N = 145



(4) ペットボトルで飲む

項目	回答数
全く飲まない	7
あまり飲まない	27
比較的飲む	62
非常に良く飲む	51

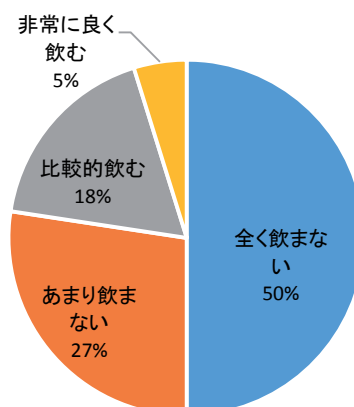
N = 147



(5) ドリップ式で飲む

項目	回答数
全く飲まない	73
あまり飲まない	40
比較的飲む	26
非常に良く飲む	7

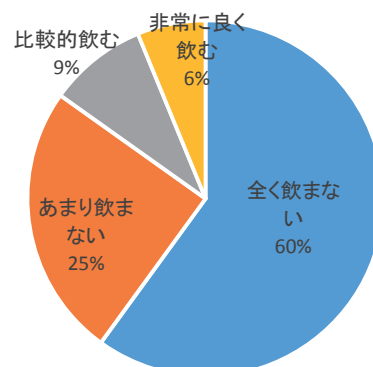
N = 146



(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む

項目	回答数
全く飲まない	87
あまり飲まない	36
比較的飲む	13
非常に良く飲む	9

N = 145

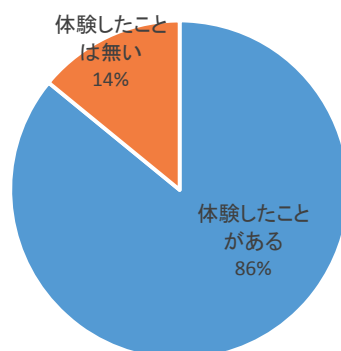


4.日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。

水出しのお茶

項目	回答数
体験したことがある	122
体験したことは無い	20

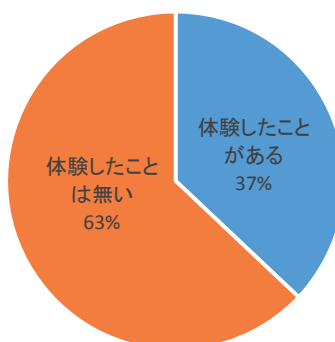
N = 142



氷だしのお茶

項目	回答数
体験したことがある	50
体験したことは無い	85

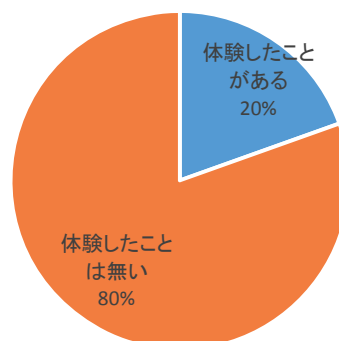
N = 135



しずく茶（すすり茶、つゆ茶）

項目	回答数
体験したことがある	26
体験したことは無い	107

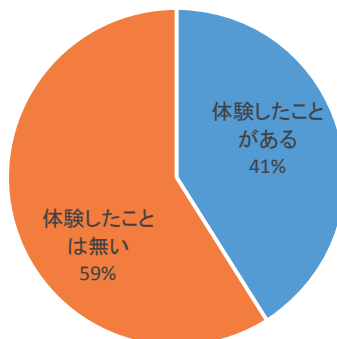
N = 133



お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り

項目	回答数
体験したことがある	55
体験したことは無い	79

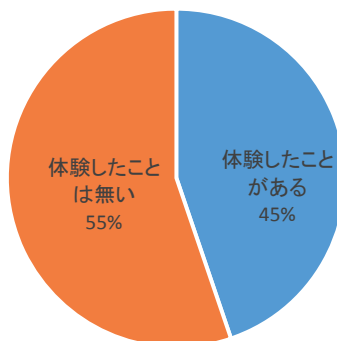
N = 134



お茶のアルコール、炭酸水割り

項目	回答数
体験したことがある	60
体験したことは無い	74

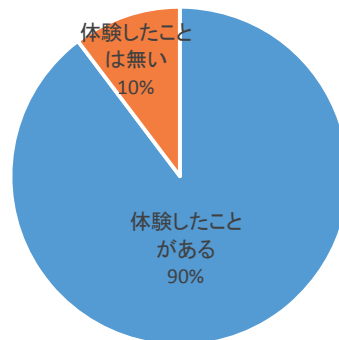
N = 134



菓子類、スイーツへのお茶等の利用

項目	回答数
体験したことがある	122
体験したことは無い	14

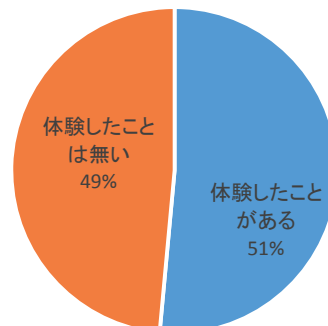
N = 136



料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用

項目	回答数
体験したことがある	70
体験したことは無い	66

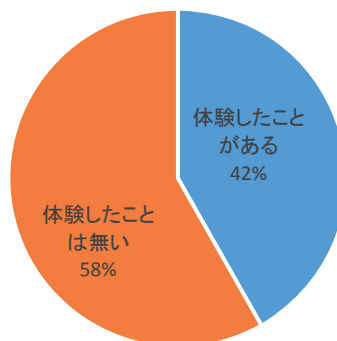
N = 136



お茶の飲食以外(消臭剤等)への利用

項目	回答数
体験したことがある	56
体験したことは無い	78

N = 134

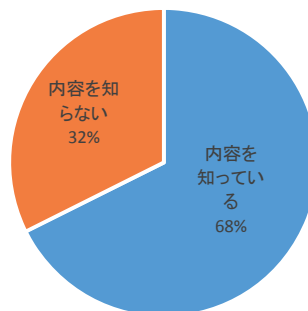


5.日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
内容を知っている、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

茶道

項目	回答数
内容を知っている	94
内容を知らない	45

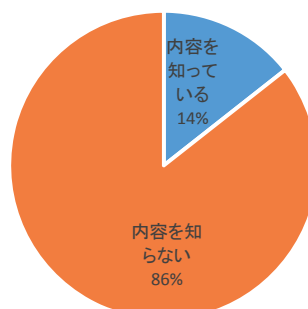
N = 139



煎茶道

項目	回答数
内容を知っている	19
内容を知らない	113

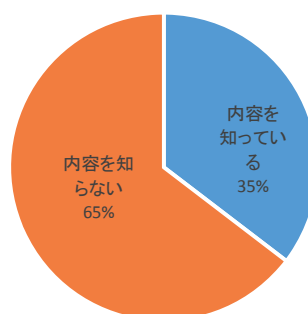
N = 132



茶摘み体験・茶産地観光

項目	回答数
内容を知っている	46
内容を知らない	84

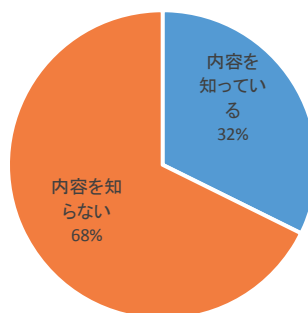
N = 130



手もみ茶体験・工場見学

項目	回答数
内容を知っている	42
内容知らない	88

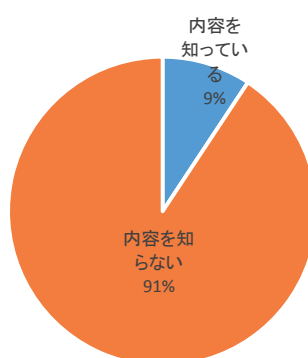
N = 130



栄西と喫茶養生記の関係

項目	回答数
内容を知っている	12
内容知らない	117

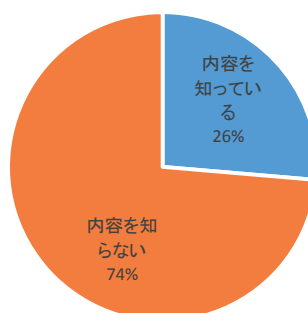
N = 129



千利休とわび茶の関係

項目	回答数
内容を知っている	34
内容知らない	95

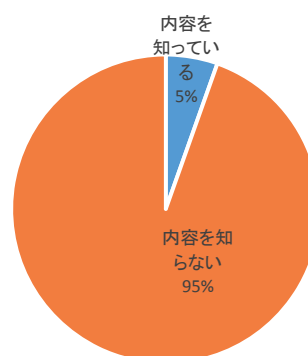
N = 129



永谷宗円と煎茶の関係

項目	回答数
内容を知っている	7
内容知らない	122

N = 129



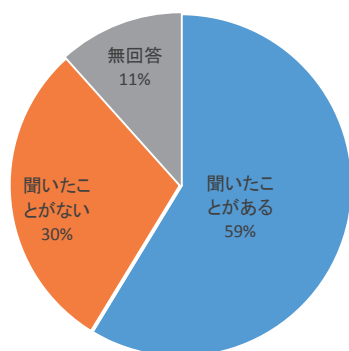
6. 日本茶(緑茶)の機能性の認知度についてお聞きします。
聞いた事の有無、体験の有無について該当する項目に○を記入
してください。

抗アレルギー作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	91
聞いたことがない	46
無回答	18

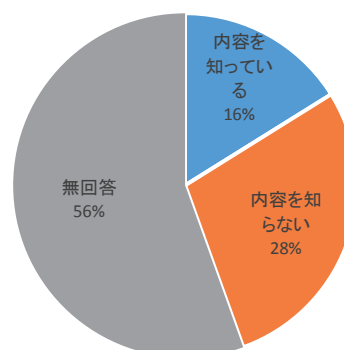
N = 155



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	25
内容を知らない	44
無回答	86

N = 155

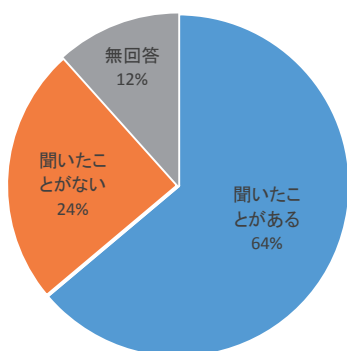


コレステロール低減作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	99
聞いたことがない	38
無回答	18

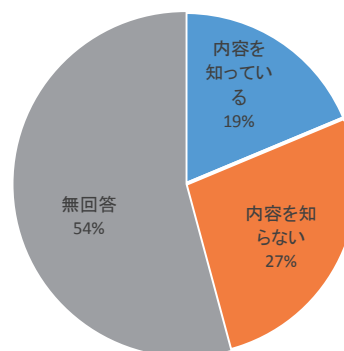
N = 137



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	29
内容を知らない	42
無回答	84

N = 155

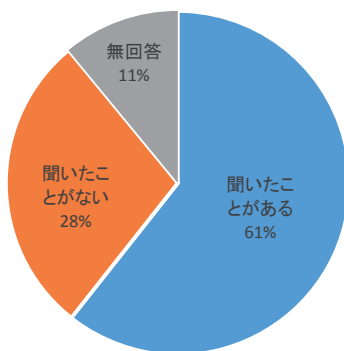


血糖上昇抑制作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	94
聞いたことがない	44
無回答	17

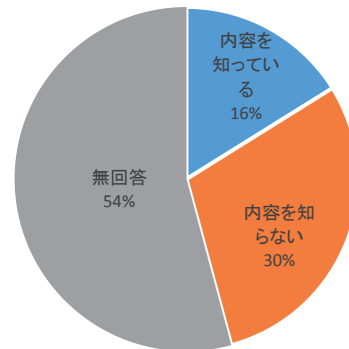
N = 155



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
内容を知っている	25
内容を知らない	46
無回答	84

N = 155



7.今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的だと思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

- 文化とのドッキングイベントにより地道な販売拡大と、大規模イベント(健康と茶)によるPRする。
- 機能性の具体的なアピールをする。
- イベントでの試飲、販売。
- 茶葉を食べる、料理に使う等の提案とPRする。
- 体験型イベントなどを開催していければと思います。
- 海外旅行客への積極的なPRする。
- 海外市場展開を行う。
- 本当に美味しい飲み方をきちんと伝えて紹介する。例えば冷茶で極限までうま味硬い緑茶など。
- タピオカミルクティーのように「トレンド」になるために見た目を工夫する。
- 茶香炉など香りを楽しむ。
- 味以外の効能の紹介、急須など従来の作法に依らない飲み方の紹介、マーケティング。
- 有機茶の海外販売の開拓。
- 家庭で簡単に飲めるようにする。急須で淹れる以外(特に若い人たちには)
- 健康に良い、美味しいをもっとアピールしていくと良いと思います。
- もっと日本茶の文化を体験できる場がほしい。
- 茶道の体験が出来る場などを増やす。
- 体験含めた文化としての発信。
- 和食とのコラボを国内外でPR、周知してください。
- 茶畑(外国人向けブドウ畑のイメージ)をPRする。
- 今回のティーペアリングは今まで経験したことが無かったので、このようなものを体験できる所がもっとあればいいなと思いました。
- 発信者として、他分野の方ともコラボレーションしながら、お茶の魅力を届けていきたいです。
- ケーキとコラボ、日本食とのコラボ。
- 価格の見直し。
- 日本人が茶を理解してよく飲むこと。
- カテキンやテアニンの素晴らしい効能を、よりもっと知ってもらう。アンチエイジングにも良い(お肌にも良い)など。
- インターネット、ツイッターでの拡散。
- コンビニでコーヒータンパーのようにお茶を飲む。ドリップ式で。
- 食品(菓子向け)に用途を広げる。(和、洋菓子問わず)
- 説明されていた方の、まぜるのがないのに日本人が外国に持っていくな、という精神が大事なことだと思います。
- 器とセットでのPRする。
- こういった飲み比べをいろんな人にしてもらう。
- 日本茶の淹れ方を普及させてほしいです。
- 海外への販売拡大をする。
- 野菜屋さん置く。
- 多言語翻訳して、海外の方にもっと知ってもらう。
- マスコミを活用する。
- お茶を知る(知識としてだけでなく)愉しむ。パーティーをファッションとコラボする様な催しを継続的にする。またお菓子屋さんとのコラボをイベントとして行う。
- 駅で販売する。
- 子どもの頃からの食育に力を入れる。
- SNS等、若い方が入りやすいメディアで効能等を宣伝する。

7.今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的だと思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

- 飲むだけではない消費の方法を生み出す。
- 産地茶の違いなどをPRする。
- 地元料理と合わせたPR(ワイン等を参考に)。
- もっと気軽に手軽に飲めるようにしてほしい。
- 海外展示会などへの出展及びPR。
- 低カフェイン商材の開発→妊婦さんやカフェインに弱い体質の方など(外国の方はカフェインに強いと聞いたことがあるので)。調味料などの活用(おにぎりに混ぜるなど)。
- お茶の良さをもっと世の中に広める。
- 今回のイベントなどにたくさん参加する。
- 小学校、幼稚園での昼食時に毎日出すようにしたら良いと思う。食後のうがい(静岡県ではやっているようです。)家庭→食種ない→ペットボトルになりがち、小さいうちからの「すり込み」大事ではないか。
- 美味しいことをもっと伝える。
- 効能をもっと一般がわかる様PRする。
- お試しセット(日本文化、日本茶)の販売とSNSインフルエンサーの活用。
- このように気軽に楽しめる体験や学べるミニ講座など。茶房営業。

アンケート調査票

お茶に関するアンケート調査

Q 1 あなた自身のことをお聞かせください。

性別	男女	年齢	○で囲む					お住まい	都道府県	市区町村
			10代	20代	30代	40代	50代			
			60代	70代	80才以上			海外の方は 国名		
職業	会社経営 会社員 主婦		職種	・茶関係 (生産農家、自園自製業、自園自製自販、茶卸、茶小売)						
	学 生 ()			・スーパー ・レストラン(和 洋 中 他)						
	その他 ()			・喫茶店(緑茶専門店)、喫茶店(主な飲料)						
				・ホテル関係、 ・その他 ()						
飲料に関する資格をお持ちの方は 具体的な資格名を全てお聞かせください。										

Q 2 このイベントに来場した目的をお聞かせください。

Q 3 次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

【選択肢】

①緑茶 ②紅茶 ③コーヒー ④水 ⑤ハーブティー ⑥中国茶 ⑦烏龍茶 ⑧麦茶 ⑨清涼飲料水 ⑩その他

一番

よく飲む

二番目に

よく飲む

三番目に

よく飲む

Q 4 緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

(1) 急須で淹れて飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	非常に よく飲む
(2) ティーバッグで飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	非常に よく飲む
(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	非常に よく飲む
(4) ペットボトルで飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	非常に よく飲む
(5) ドリップ式で飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	非常に よく飲む
(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む	全く 飲まない	あまり 飲まない	比較的 飲む	非常に よく飲む

Q 5 日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。
体験(実践を含む)の有無について、該当する項目に○を記入してください。

項 目	体験(実践)した事	
	ある	ない
水出しのお茶		
氷だしのお茶		
しずく茶(すすり茶、つゆ茶)		
お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り		
お茶のアルコール、炭酸水割り		
菓子類、スイーツへのお茶等の利用		
料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用		
お茶の飲食以外(消費剤等)への利用		

Q 6 日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
内容を知っている、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

項 目	内容を知っている又は体験した事がある	
	内容を知っている 体験した事がある	内容を知らない 体験した事はない
茶道		
煎茶道		
茶摘み体験・茶産地観光		
手もみ茶体験・工場見学		
茶西と喫茶養生記の関係		
千利休とわび茶の関係		
永谷宗円と煎茶の関係		

Q 7 日本茶(緑茶)の機能性の認知度についてお聞きします。
聞いた事の有無、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

項 目	聞いたことがある		内容を知っている又は体験した事がある	
	ある	ない	内容を知っている 体験した事がある	内容を知らない 体験した事はない
抗アレルギー作用				
コレステロール低減作用				
血糖上昇抑制作用				

Q 8 今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的
であると思われますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

※ご協力ありがとうございました。ご回答いただきました貴重なご意見は、今後の日本茶の普及推進に活用させていただきます。

当日の様子



(3)関西地区イベント会場での実態調査

①ツーリズムEXPO Japan 2019 関西(観光・旅行会社)

日本茶文化・茶の需要拡大に資するイベントへの参画として、3会場で需要拡大にむけた取組を実施した。それぞれの地区において本事業として単独でイベントを実施することは、効果が小さいとの判断から、各地区で実施が予定されている各種イベントの中から、本事業主旨に合致しているイベントへの出展による取り組みとした。

1.調査概要

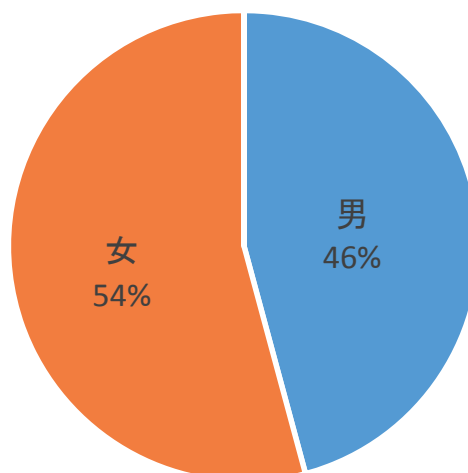
項目	内 容
調査日程	2019年10月24日(木)～10月25日(金) 観光・旅行会社公開 【開催期間:2019年10月24日(木)～10月27日(日)】
調査会場	ツーリズムEXPO Japan 2019 関西 (インテックス大阪 展示会場 6号館A)
調査対象者	イベント会場へ来場した観光・旅行会社の社員
調査方法	無記名によるアンケート調査票への記入を行う
回収数	131件

1. 回答者属性

(1) 性別

項目	回答数
男性	60
女性	71
無回答	0

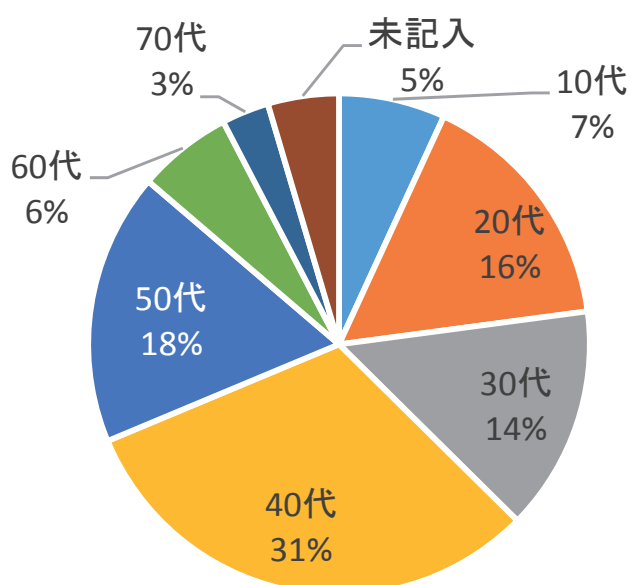
N = 131



(2) 年齢

項目	回答数
10代	9
20代	21
30代	19
40代	41
50代	23
60代	8
70代	4
80才以上	6
未記入	9

N = 131

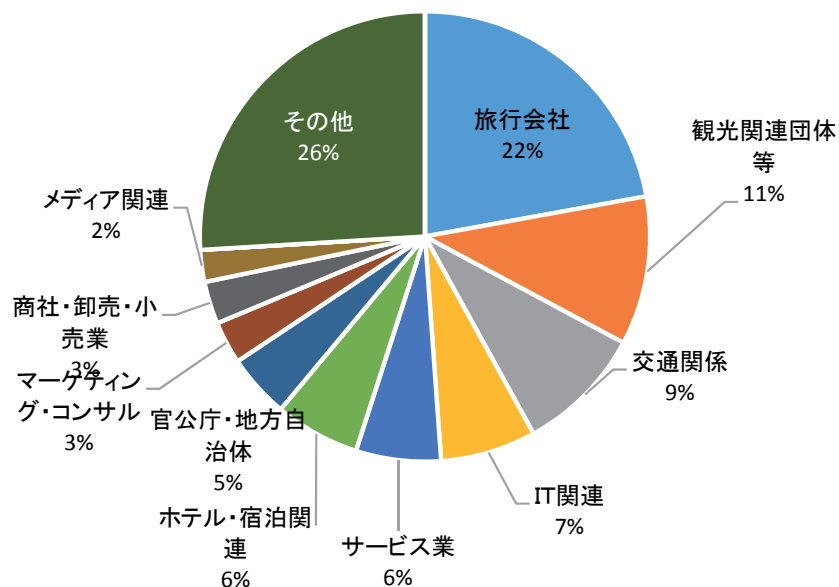


(3) 職 業

職種

項目	回答数
旅行会社	29
観光関連団体等	14
交通関係	12
IT関連	9
サービス業	8
ホテル・宿泊関連	8
官公庁・地方自治体	6
マーケティング・コンサル	4
商社・卸売・小売業	4
メディア関連	3
不動産・地域開発	0
その他	34
未記入	0

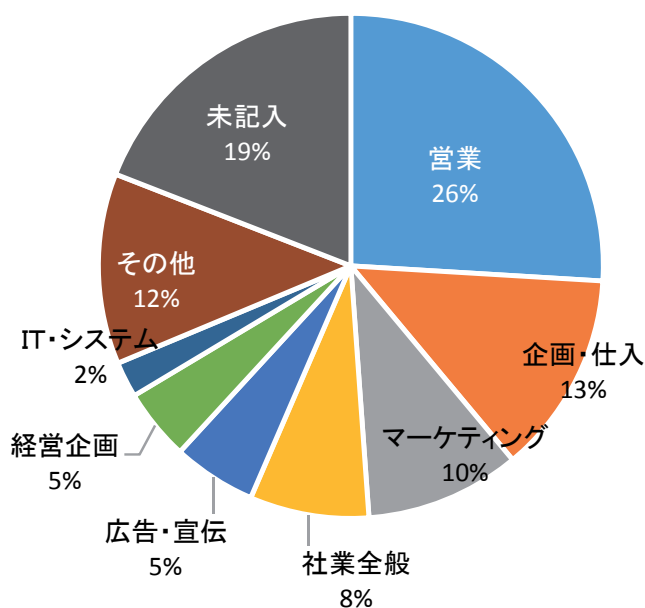
N = 131



業務内容

職種	回答数
営業	34
企画・仕入	17
マーケティング	13
社業全般	10
広告・宣伝	7
経営企画	6
IT・システム	3
その他	16
未記入	25

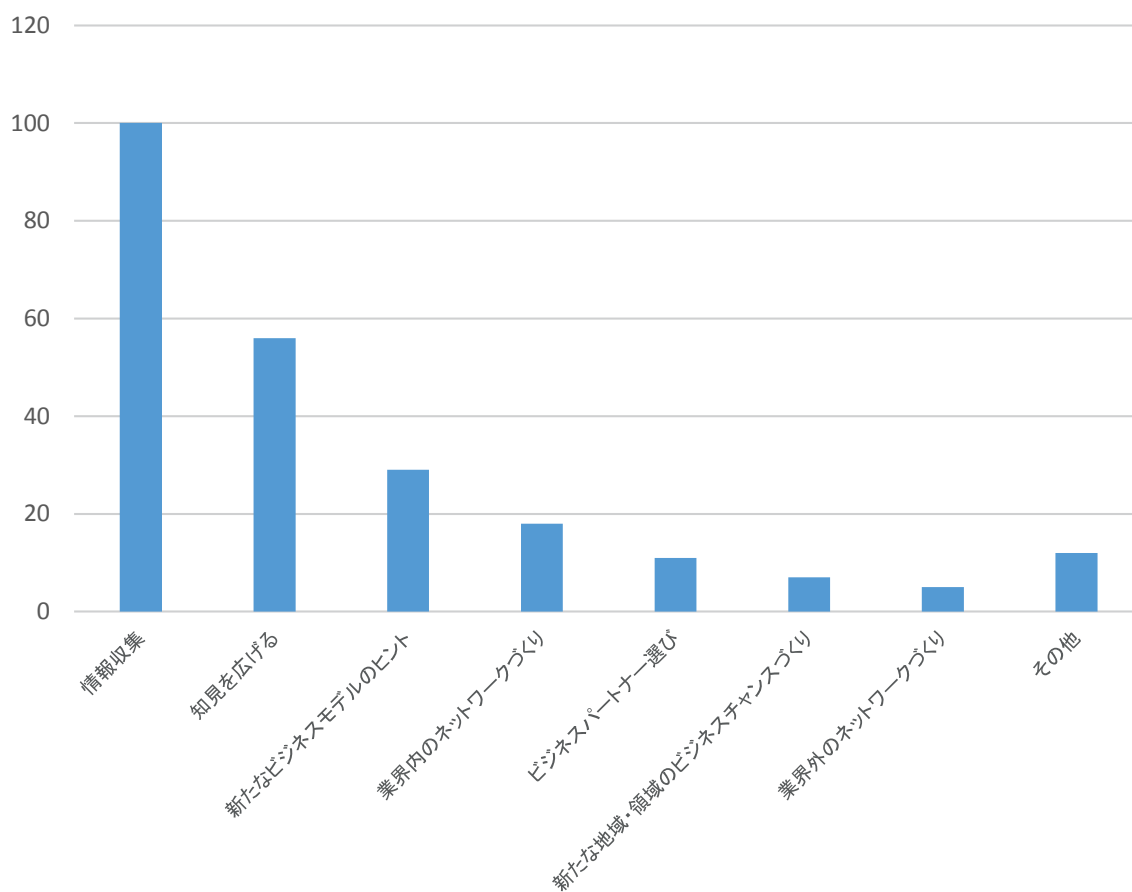
N = 131



2. 来場目的

来場目的	回答数
情報収集	100
知見を広げる	56
新たなビジネスモデルのヒント	29
業界内のネットワークづくり	18
ビジネスパートナー選び	11
新たな地域・領域のビジネスチャンスづくり	7
業界外のネットワークづくり	5
その他	12

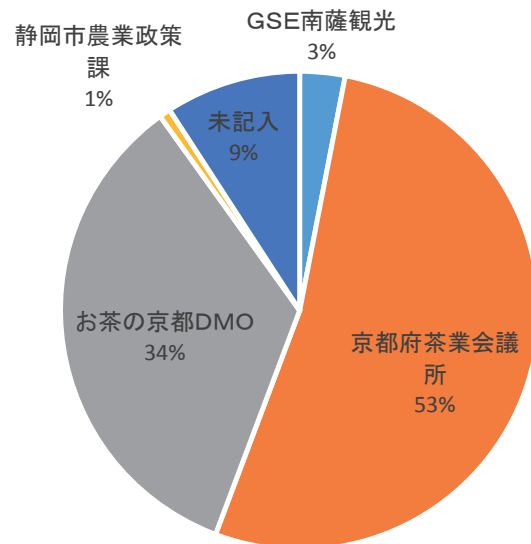
N= 131



3.ご覧いただきました各ブースについて、ご意見、ご感想をお聞かせください。興味・関心をお持ちになられたブースは、どちらのブースでしたか。その理由お聞かせください。

興味・関心を持ったブース	回答数
GSE南薩観光	4
京都府茶業会議所	69
お茶の京都DMO	45
静岡市農業政策課	1
未記入	12

N = 131



興味をもった理由

興味・関心をもったブース	理由
お茶の京都DMO	全国のDMOのモデルケースと思われるので
お茶の京都DMO	埼玉在住のため狭山茶い以外のお茶を飲む機会がない
お茶の京都DMO	全てまだ行っていません。これから行ってみます。
お茶の京都DMO	茶所が見たい
お茶の京都DMO	抹茶が美味しかった
お茶の京都DMO	ミャンマーにもお茶があるので興味を持っています
お茶の京都DMO	お茶が美味しいです
お茶の京都DMO	京都が好きだから
お茶の京都DMO	お茶とツーリズムの関係について興味があった
お茶の京都DMO	水出し玉露にひかれました
お茶の京都DMO	おいしかったから
お茶の京都DMO	茶所が見学したい
お茶の京都DMO	宇治茶に興味があり試飲しました
お茶の京都DMO	ビジネス拡大
お茶の京都DMO	お茶が好きだからです。抹茶も好きです。
お茶の京都DMO	お茶が美味しかったから
お茶の京都DMO	お茶が好き
お茶の京都DMO	日本茶はいい
お茶の京都DMO	玉露茶に関心
お茶の京都DMO	同じDMOとして
お茶の京都DMO	DMOとしてどのような取り組みをしているのか
お茶の京都DMO	京都のお茶は有名だと思います
お茶の京都DMO	新しいお茶の事を知りたいから
お茶の京都DMO	京都の茶園に知り合いがいるから
お茶の京都DMO	日本文化を少し垣間見れる
京都府茶業会議所	ポットに出されていたお茶の色が美味しそうだった
京都府茶業会議所	お茶が美味しかった
京都府茶業会議所	本来のお茶の味覚が体験出来た
京都府茶業会議所	抹茶が美味しかった
京都府茶業会議所	ご説明が丁寧でした
京都府茶業会議所	宇治茶が美味しかった
京都府茶業会議所	玉露の試飲

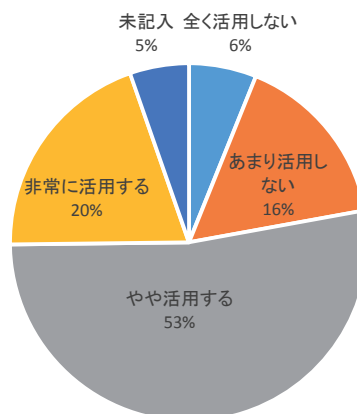
興味・関心をもったブース	理由
京都府茶業会議所	なかなか飲む機会がないので改めて美味しさに気がきました
京都府茶業会議所	宇治茶がとても美味しかった
京都府茶業会議所	試飲
京都府茶業会議所	日本茶が好きだから
京都府茶業会議所	お茶が美味しそうだったから
京都府茶業会議所	おいしかったです
京都府茶業会議所	きれいな色の茶葉が目についたので
京都府茶業会議所	試飲と石臼が目をひいたから
京都府茶業会議所	お茶がすっきりして美味しかった
京都府茶業会議所	お茶が美味しかったから
京都府茶業会議所	石臼が気に入りブースに立ち寄りきっかけになりました
京都府茶業会議所	以前飲んだ京都のお茶が美味しかったので
京都府茶業会議所	試飲ができてとても美味しかった
京都府茶業会議所	お茶が気になって
京都府茶業会議所	お茶がとても美味しかったです
京都府茶業会議所	北海道にはない茶
京都府茶業会議所	実家が宇治なので
京都府茶業会議所	美味だったから
京都府茶業会議所	お茶が美味しかった
京都府茶業会議所	玉露が大変美味しかった
京都府茶業会議所	お茶が好きなので
京都府茶業会議所	茶葉の実物展示と、抹茶の石臼が展示されていて、興味をひきました
京都府茶業会議所	お茶が好きだから
京都府茶業会議所	抹茶が好きだから
京都府茶業会議所	抹茶が好き。美味しかった。
京都府茶業会議所	宇治で抹茶体験したことがあります
静岡市農業政策課	静岡は取り組み方が面白かった。京都の水出し玉露が美味しかった。
GSE南薩観光	観光が大好き。お茶文化も好き。

4. 「お茶」をツーリズム等の商品開発に活用する場合の活用度合についてお聞きします。

① 茶畑等の景観

項目	回答数
全く活用しない	8
あまり活用しない	21
やや活用する	69
非常に活用する	26
未記入	7

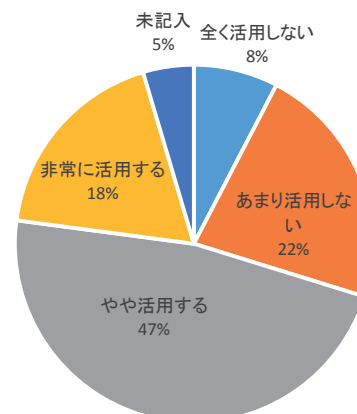
N= 131



② 茶関連史跡（文化施設等）の見学

項目	回答数
全く活用しない	10
あまり活用しない	29
やや活用する	62
非常に活用する	24
未記入	6

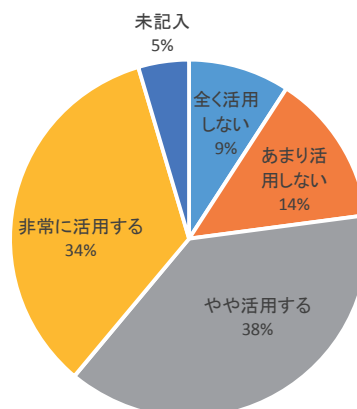
N= 131



③ 畑での茶摘み体験

項目	回答数
全く活用しない	12
あまり活用しない	18
やや活用する	50
非常に活用する	45
未記入	6

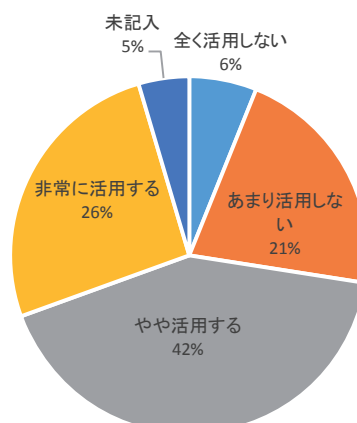
N= 131



④ 製茶工場の見学

項目	回答数
全く活用しない	8
あまり活用しない	28
やや活用する	55
非常に活用する	34
未記入	6

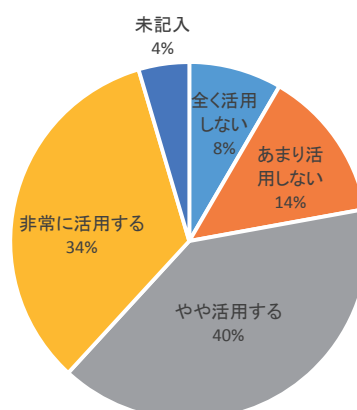
N= 131



⑤ 手もみ茶体験

項目	回答数
全く活用しない	11
あまり活用しない	18
やや活用する	52
非常に活用する	44
未記入	6

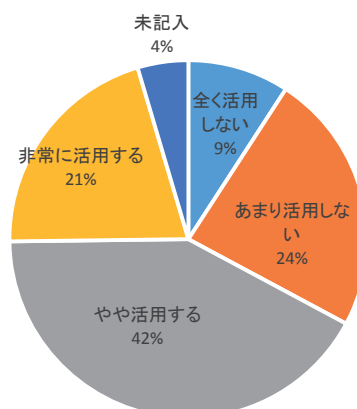
N= 131



⑥ ホットプレートを使った簡易的お茶づくり体験

項目	回答数
全く活用しない	12
あまり活用しない	31
やや活用する	55
非常に活用する	27
未記入	6

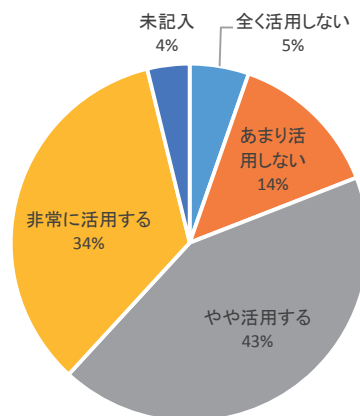
N= 131



⑦ お茶の美味しい淹れ方実習

項目	回答数
全く活用しない	7
あまり活用しない	18
やや活用する	56
非常に活用する	45
未記入	5

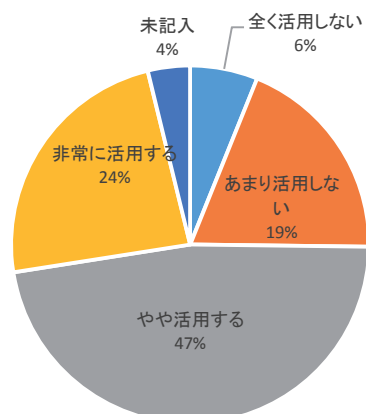
N= 131



⑧ お茶を活用したドリンク、料理実習

項目	回答数
全く活用しない	8
あまり活用しない	25
やや活用する	62
非常に活用する	31
未記入	5

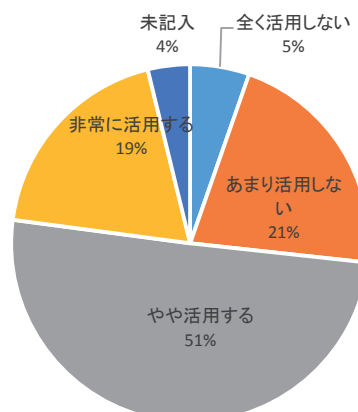
N= 131



⑨ お茶の効能・効果の勉強会

項目	回答数
全く活用しない	7
あまり活用しない	28
やや活用する	66
非常に活用する	25
未記入	5

N= 131

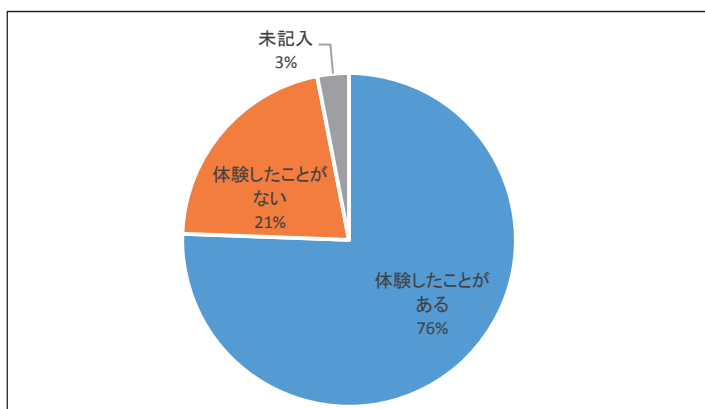


5.日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。体験（実践を含む）の有無について、該当する項目に○×を記入してください。

水出しのお茶

項目	回答数
体験したことがある	99
体験したことは無い	28
未記入	4

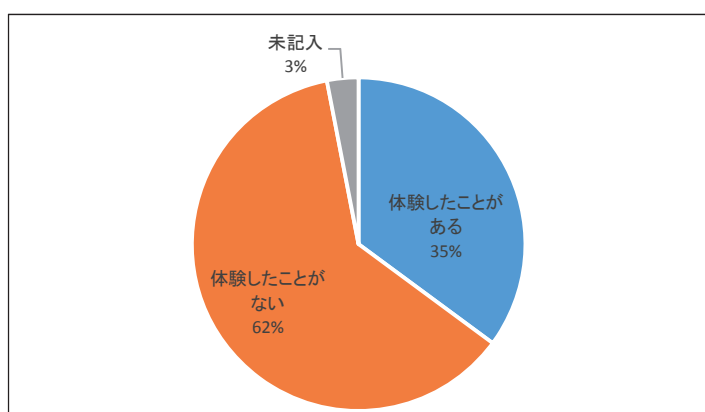
N = 131



氷だしのお茶

項目	回答数
体験したことがある	46
体験したことは無い	81
未記入	4

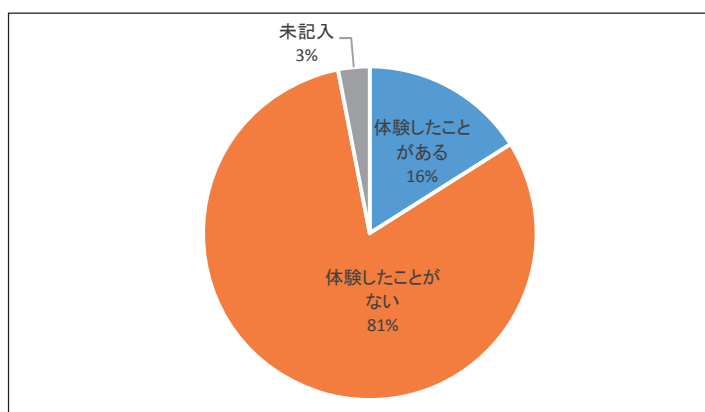
N = 131



しずく茶（すすり茶、つゆ茶）

項目	回答数
体験したことがある	21
体験したことは無い	106
未記入	4

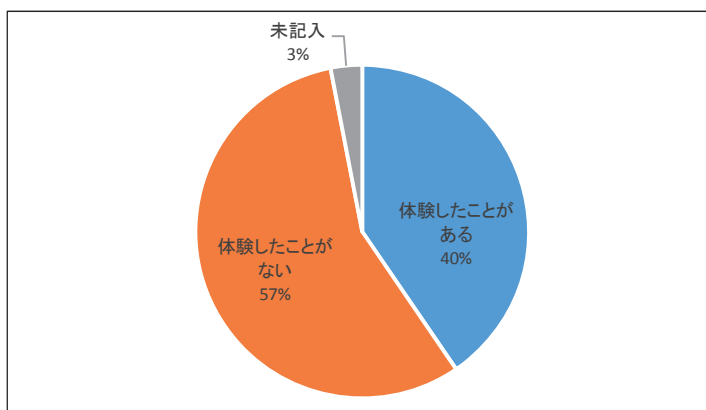
N = 131



お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り

項目	回答数
体験したことがある	53
体験したことは無い	74
未記入	4

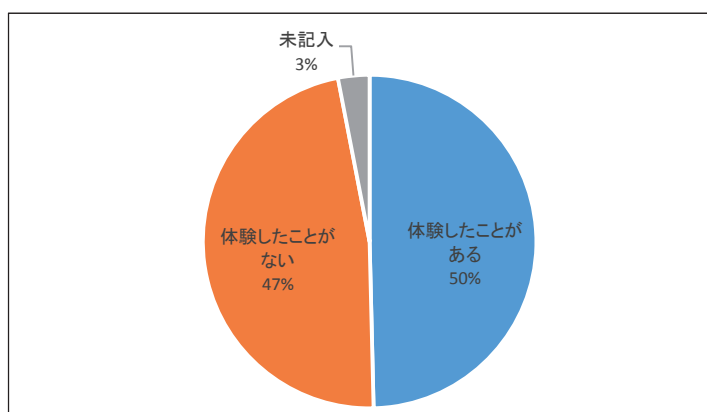
N = 131



お茶のアルコール、炭酸水割り

項目	回答数
体験したことがある	65
体験したことは無い	62
未記入	4

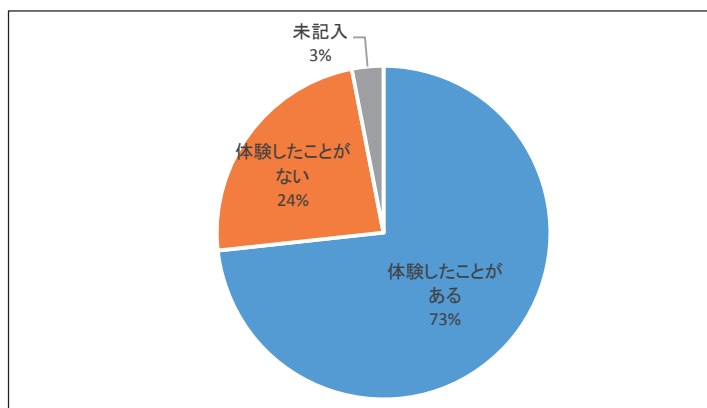
N = 131



菓子類、スイーツへのお茶等の利用

項目	回答数
体験したことがある	96
体験したことは無い	31
未記入	4

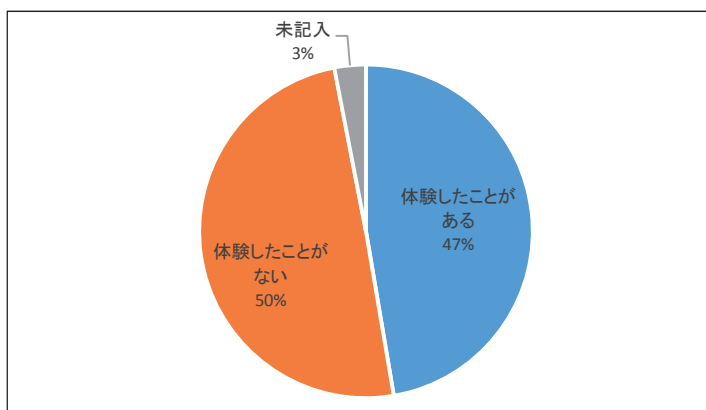
N = 131



料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用

項目	回答数
体験したことがある	62
体験したことは無い	65
未記入	4

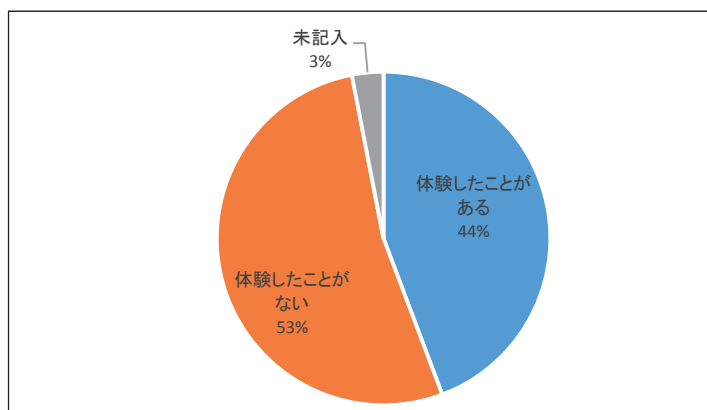
N = 131



お茶の飲食以外(消臭剤等)への利用

項目	回答数
体験したことがある	58
体験したことは無い	69
未記入	4

N = 131

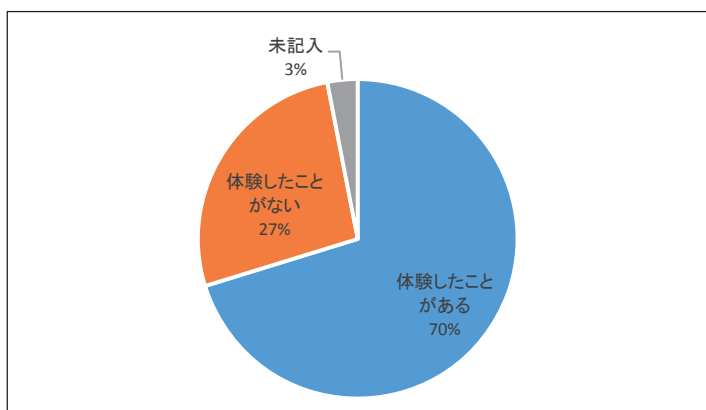


6.日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
「内容を知っている、体験したことがある」の有無について該当する項目に○×を記入してください。

茶道

項目	回答数
体験したことがある	92
体験したことは無い	35
未記入	4

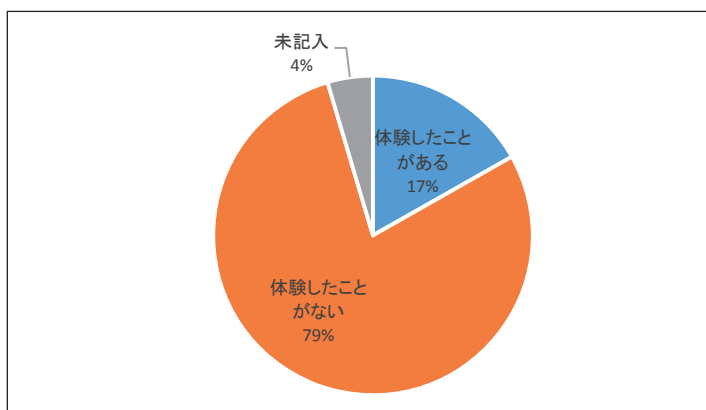
N = 131



煎茶道

項目	回答数
体験したことがある	22
体験したことは無い	103
未記入	6

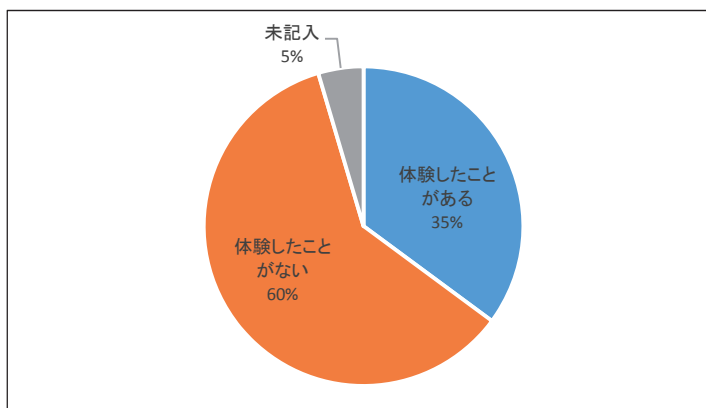
N = 131



茶摘み体験・茶産地観光

項目	回答数
体験したことがある	46
体験したことは無い	79
未記入	6

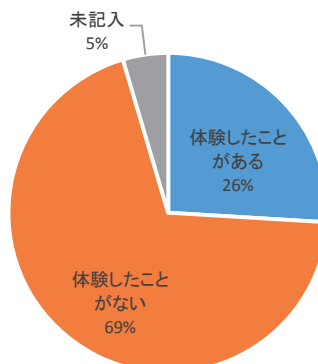
N = 131



手もみ茶体験・工場見学

項目	回答数
体験したことがある	34
体験したことは無い	91
未記入	6

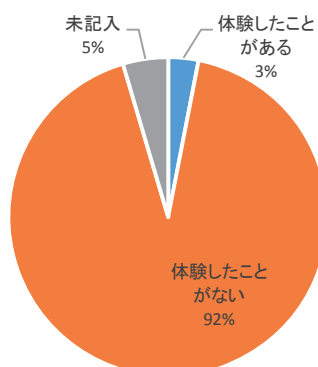
N = 131



栄西と喫茶養生記の関係

項目	回答数
体験したことがある	4
体験したことは無い	121
未記入	6

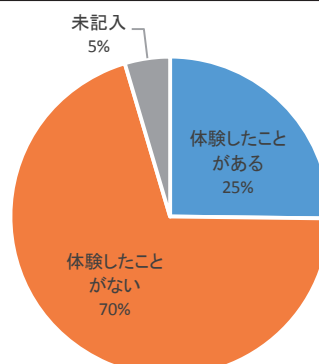
N = 131



千利休とわび茶の関係

項目	回答数
体験したことがある	33
体験したことは無い	92
未記入	6

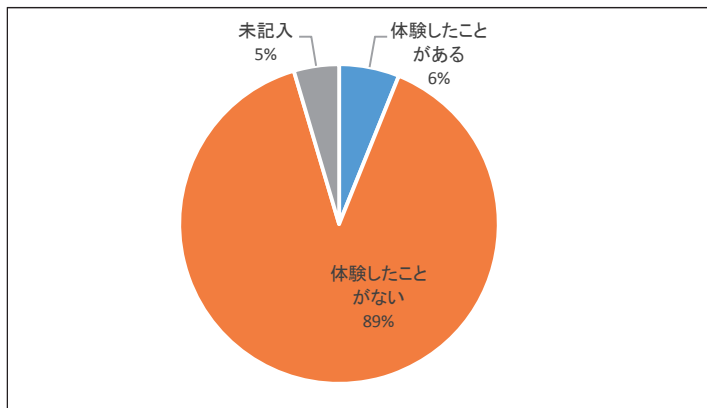
N = 131



永谷宗円と煎茶の関係

項目	回答数
体験したことがある	8
体験したことは無い	117
未記入	6

N = 131



7.日本茶の活用についてツーリズムを視点においた具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

- 実際に茶摘を体験するのは良いと思います。
- お茶と医療の関係。
- 外国人に体験を通じて知っていただく。
- コーヒーに入れたのを飲んだ。日本人はお茶が一番さっぱりして美味しい。
- インバウンドのお客様へ体験PRなど。
- 毎日、日本茶を飲みます。日本茶はよく買って、日本の茶道と手もみ茶体験、工場見学します。
- 抹茶ラテの上にタピオカをのせます。
- 日本茶はほとんどが緑茶です。品質、価格面は良いと思います。
- 家中のアクセントとして考えます。
- 日本茶は世界からも興味をもたれているので、アイデアとして、アイスのお茶も良いかなと思います。
- 日本文化を体験。ツーリズムを外国人たちは参加したいと思う。着物や茶道、手もみ茶体験するのは面白いと考える。
- 茶殻を冷やしてシラスとあえて。
- コーヒーが嫌いなのでお茶1本で済ませています。
- 茶畑を見る機会があまりないので景観に惹かれます。その中で体験が出来るのは嬉しいです。
- 外国人は日本のお茶の違いが分からないので、違いが分かるようにするとブランド確立できるのでは。
- 子供向け体験ツアーなど。
- 説明があると理解が深まるので、ツアー用に説明用プランがあると良いと思います。
- 景色がとても綺麗なイメージがあるので、その景観を活かしたい。
- 日本が世界に誘えるものなので今後自分からも広めていきたい。
- 茶畑を見に行くツアー。
- トータルを半日コースで。
- 宇治のお茶屋さんで玉露を細かい作法で淹れただいた事があるが、とても美味しかったので、そういったことを取り入れていたら良いと思う。
- すばらしい。5年に1度は大阪開催を希望します。
- お茶作法がありますが、もっと簡単に子どもにもお茶のお手前を勉強、学習すると良いと思う。
- インバウンド向けに有効だと思います。アイデアはないです。
- 外国人シェフとのコラボレーション。
- 学校の教育旅行での体験が基本になっているので、外国人向けの人員限定での学校メニューを提供してみてもいいかなと思います。
- 日本人でさえも日本茶の素晴らしさを全く知らないなので、まずは地元(京都)の人たちがお茶の事を深く知り、好きになるような機会を作るべきだと思います。
- 日本茶だけに興味を持つというのは難しい気がするので、日本茶に合う和菓子だったり、何かとコラボする。
- 知られざるお茶の効能。温泉など。

アンケート調査票

お茶の出展ブースに関するアンケート調査

2019.10.24-27
(大阪・BtoB)

Q 1 あなた自身のことをお聞かせください。

性別	男	女	年齢	
お仕事	職種	旅行会社 IT関連 マーケティング・コンサル 商社・卸売・小売業 サービス業 交通関係(航空・鉄道・船舶等) 観光関連団体等 ホテル・宿泊関連 メディア関連 官公庁・地方自治体 不動産・地域開発 その他()		
	業務内容	営業 マーケティング 企画・仕入 広告・宣伝 経営企画 IT・システム 社業全般 その他()		

Q 2 来場の目的をお聞かせください。(複数回答 可)

情報収集	知見を広げる	新たなビジネスモデルのヒント	業界内のネットワークづくり
	新たな地域・領域のビジネスチャンスづくり	ビジネスパートナー選び	業界外のネットワークづくり
	その他()		

Q 3 ご覧いただきました各ブースについて、ご意見、ご感想をお聞かせください。
興味・関心をお持ちになられたブースは、どちらのブースでしたか。その理由をお聞かせください。

興味・関心をもったブース (複数可)	GSE南薩観光 京都府茶業会議所 お茶の京都DMO 静岡市農業政策課
理由	

Q 4 「お茶」をツーリズム等の商品開発に活用する場合の活用度合についてお聞きします。

	全く活用しない	あまり活用しない	やや活用する	非常に活用する
① 茶畑等の景観				
② 茶関連史跡(文化施設等)の見学				
③ 茶畑での茶摘み体験				
④ 製茶工場の見学				
⑤ 手もみ茶体験				
⑥ ホットプレートを使った簡易のお茶づくり体験				
⑦ お茶の美味しい淹れ方実習				
⑧ お茶を活用したドリンク、料理実習				
⑨ お茶の効能・効果の勉強会				

Q 5 日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。
体験(実践を含む)の有無について、該当する項目に○×を記入してください。

項 目	体験(実践)の有無
水出しのお茶	
氷だしのお茶	
しずく茶(すすり茶、つゆ茶)	
お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り	
お茶のアルコール、炭酸水割り	
菓子類、スイーツへのお茶等の利用	
料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用	
お茶の飲食以外(消臭剤等)への利用	

Q 6 日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
「内容を知っている、体験したことがある」の有無について該当する項目に○×を記入してください。

項 目	内容・体験の有無
茶道	
煎茶道	
茶摘み体験・茶産地観光	
手もみ茶体験・工場見学	
茶西と喫茶養生記の関係	
千利休とわび茶の関係	
永谷宗円と煎茶の関係	

Q 7 日本茶の活用についてツーリズムを視点においた具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

※ご協力ありがとうございました。ご回答いただきました貴重なご意見は、今後の日本茶の普及推進に活用させていただきます。

当日の様子



②ツーリズムEXPO Japan 2019 関西(一般消費者)

日本茶文化・茶の需要拡大に資するイベントへの参画として、3会場で需要拡大にむけた取組を実施した。それぞれの地区において本事業として単独でイベントを実施することは、効果が小さいとの判断から、各地区で実施が予定されている各種イベントの中から、本事業主旨に合致しているイベントへの出展による取組みとした。

1.調査概要

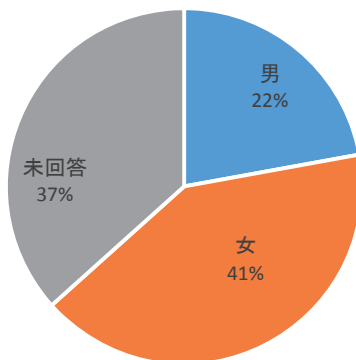
項目	内 容
調査日程	2019年10月26日(土)～10月27日(日) 一般消費者公開 【開催期間:2019年10月24日(木)～10月27日(日)】
調査会場	ツーリズムEXPO Japan 2019 関西 (インテックス大阪 展示会場 6号館A)
調査対象者	イベント会場へ来場した一般消費者
調査方法	無記名によるアンケート調査票への記入を行う
回収数	131件

1. 回答者属性

(1) 性別

項目	回答数
男性	29
女性	54
無回答	48

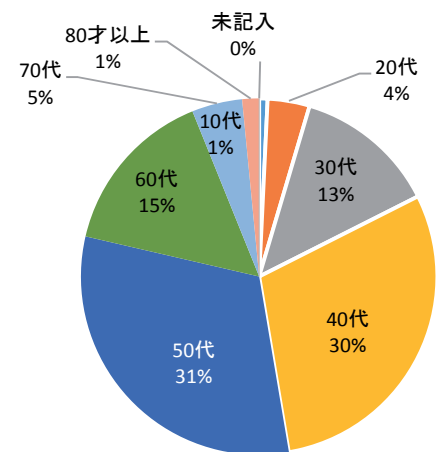
N = 131



(2) 年齢

項目	回答数
10代	1
20代	5
30代	17
40代	39
50代	41
60代	20
70代	6
80才以上	2
未記入	0

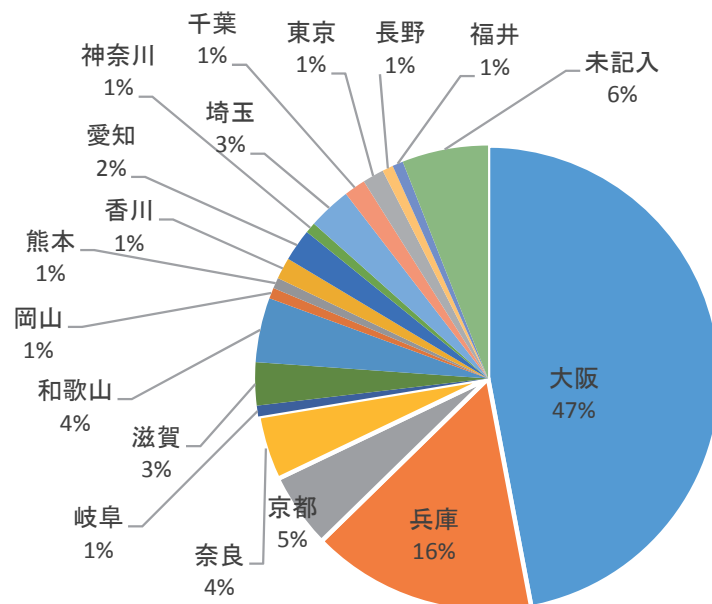
N = 131



(3) 住所

府県(国)	回答数
大阪	63
兵庫	21
京都	7
奈良	6
岐阜	1
滋賀	4
和歌山	6
岡山	1
熊本	1
香川	2
愛知	3
神奈川	1
埼玉	4
千葉	2
東京	2
長野	1
福井	1
未記入	8

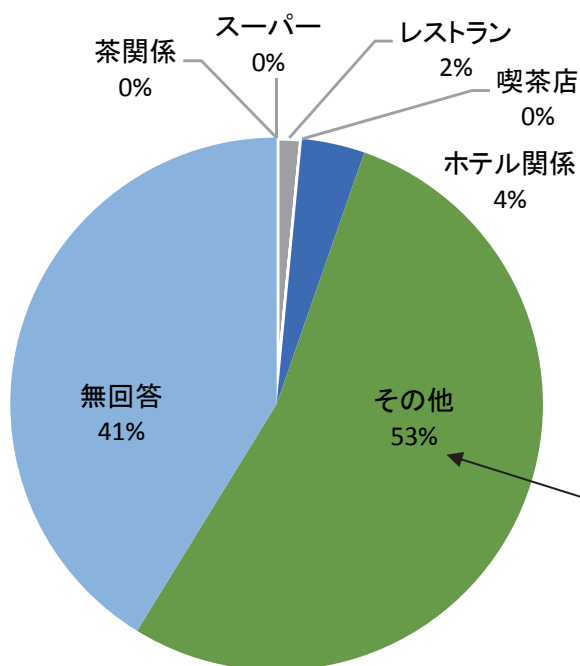
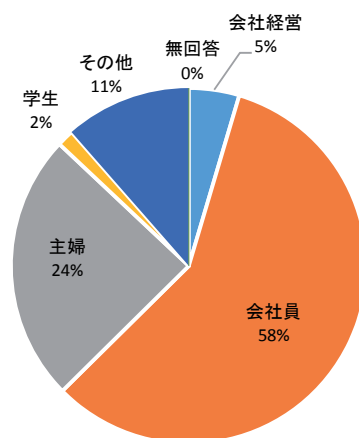
N = 134



(4) 職 業

項目	回答数
会社経営	6
会社員	76
主婦	32
学生	2
その他	15
無回答	0

N = 131



職種	回答数
茶関係	0
スーパー	0
レストラン	2
喫茶店	0
ホテル関係	5
その他	70
無回答	54

N = 131

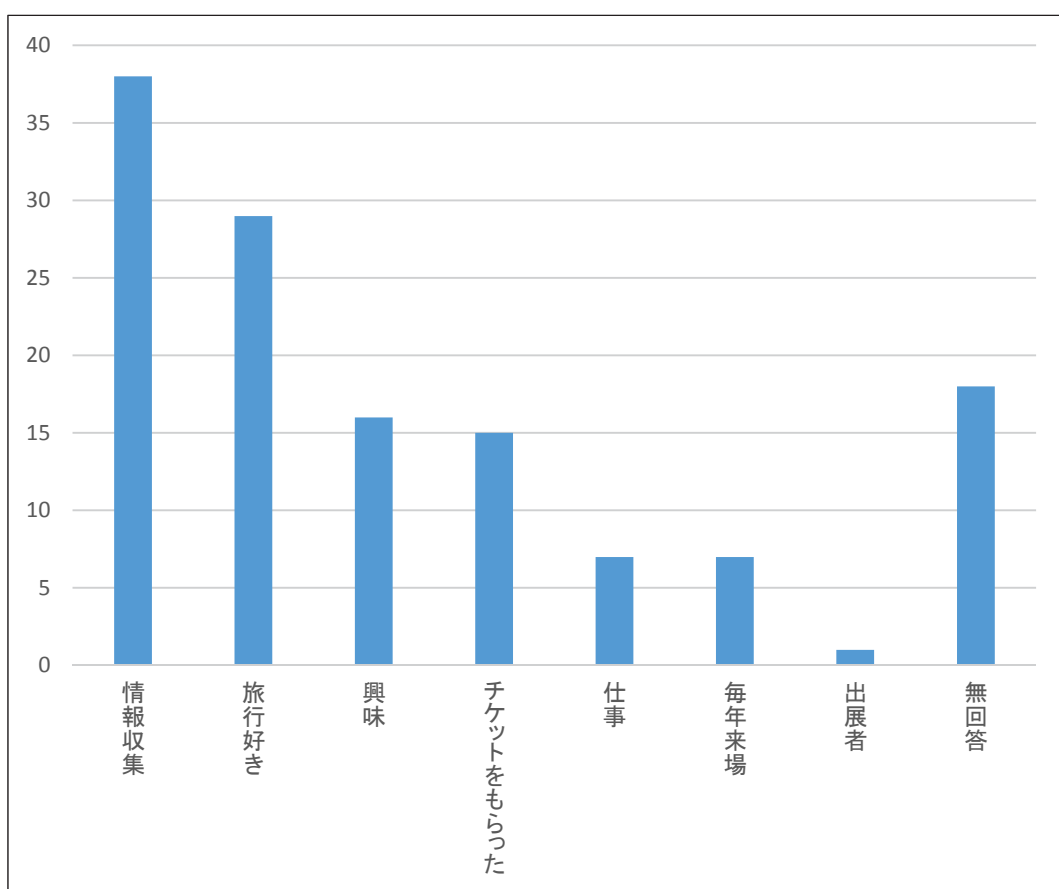
<その他>

- ・ 製造
- ・ 不動産
- ・ 臨床検査サービス
- ・ 公務員
- ・ 看護師
- ・ アパレル加工
- ・ 病院
- ・ 空港
- ・ まちづくり
- ・ 福祉
- ・ 自治体
- ・ 医療
- ・ 百貨店
- ・ 印刷
- ・ I T系
- ・ 通販
- ・ 大学教授
- ・ システム開発

(5) 来場目的

来場目的	回答数
情報収集	38
旅行好き	29
興味	16
チケットをもらった	15
仕事	7
毎年来場	7
出展者	1
無回答	18

N= 131

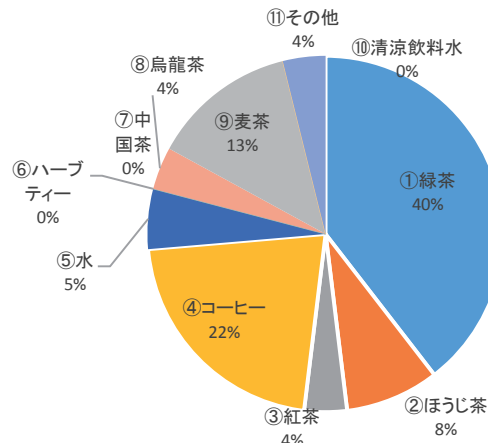


2.次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

一番良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	51
②ほうじ茶	11
③紅茶	5
④コーヒー	28
⑤水	7
⑥ハーブティー	0
⑦中国茶	0
⑧烏龍茶	5
⑨麦茶	17
⑩清涼飲料水	0
⑪その他	5

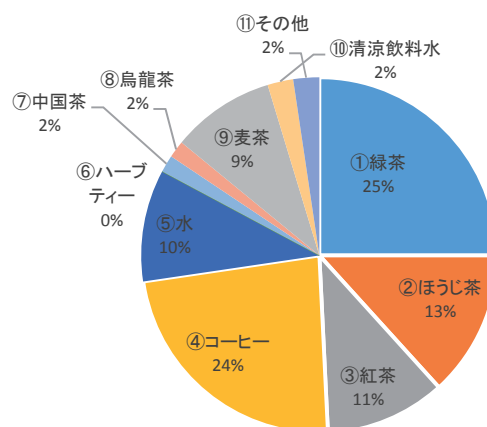
N = 129



二番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	32
②ほうじ茶	17
③紅茶	14
④コーヒー	30
⑤水	13
⑥ハーブティー	0
⑦中国茶	2
⑧烏龍茶	2
⑨麦茶	12
⑩清涼飲料水	3
⑪その他	3

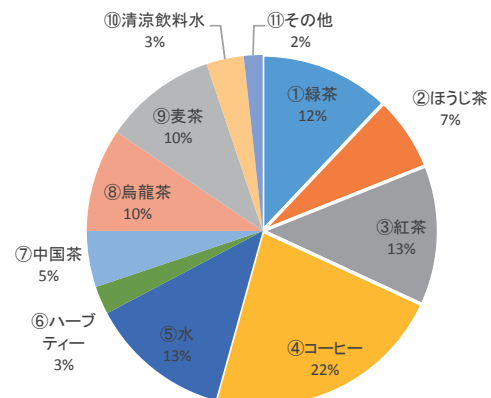
N = 128



三番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	14
②ほうじ茶	8
③紅茶	15
④コーヒー	26
⑤水	15
⑥ハーブティー	3
⑦中国茶	6
⑧烏龍茶	11
⑨麦茶	12
⑩清涼飲料水	4
⑪その他	2

N = 116

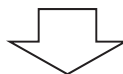
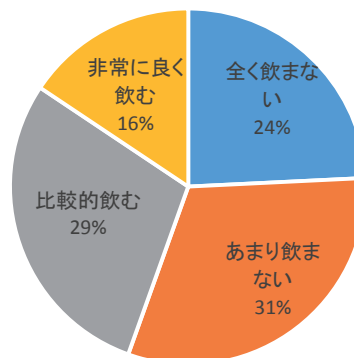


3.緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

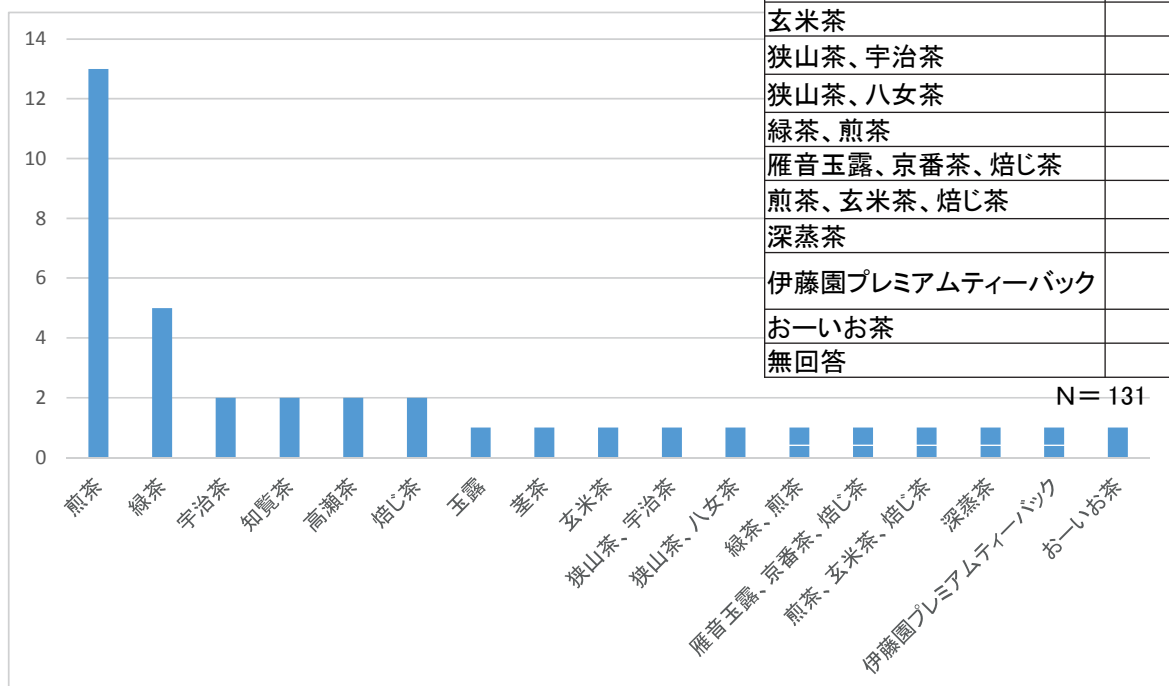
(1) 急須で淹れて飲む

項目	回答数
全く飲まない	31
あまり飲まない	40
比較的飲む	37
非常に良く飲む	20

N = 128



飲む緑茶の種類をお聞かせください。

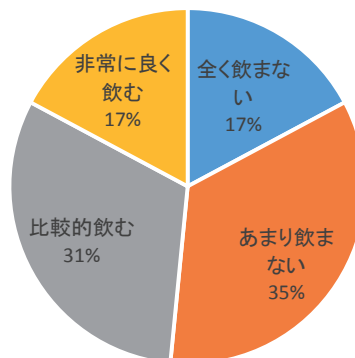


3.緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

(2) ティーバッグで飲む

項目	回答数
全く飲まない	22
あまり飲まない	44
比較的飲む	40
非常に良く飲む	22

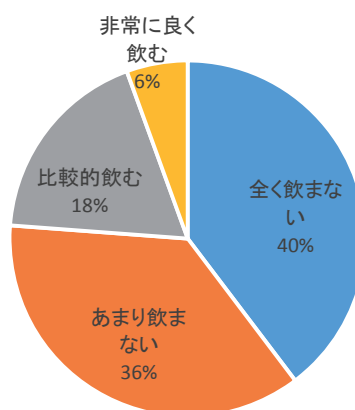
N = 128



(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む

項目	回答数
全く飲まない	50
あまり飲まない	46
比較的飲む	23
非常に良く飲む	7

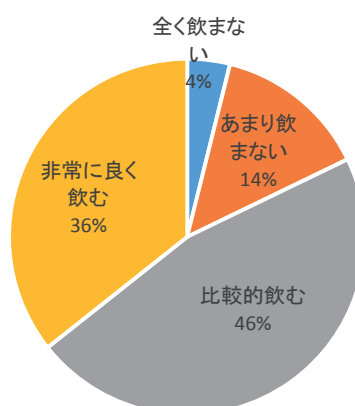
N = 126



(4) ペットボトルで飲む

項目	回答数
全く飲まない	5
あまり飲まない	18
比較的飲む	60
非常に良く飲む	46

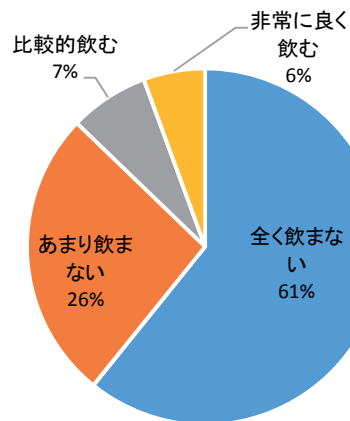
N = 129



(5) ドリップ式で飲む

項目	回答数
全く飲まない	76
あまり飲まない	33
比較的飲む	9
非常に良く飲む	7

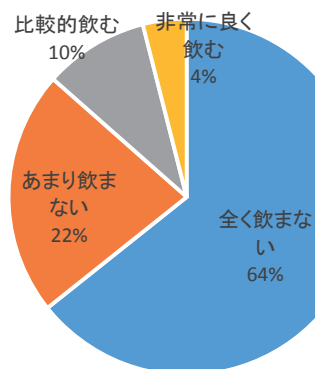
N = 125



(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む

項目	回答数
全く飲まない	81
あまり飲まない	28
比較的飲む	12
非常に良く飲む	5

N = 126

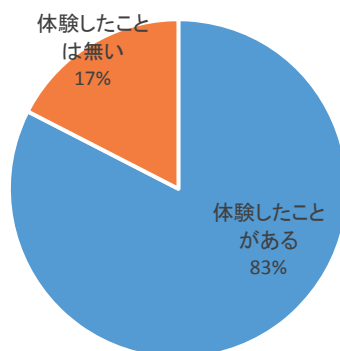


4.日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。

水出しのお茶

項目	回答数
体験したことがある	104
体験したことは無い	22

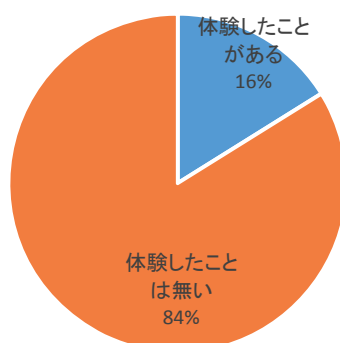
N = 126



氷だしのお茶

項目	回答数
体験したことがある	20
体験したことは無い	104

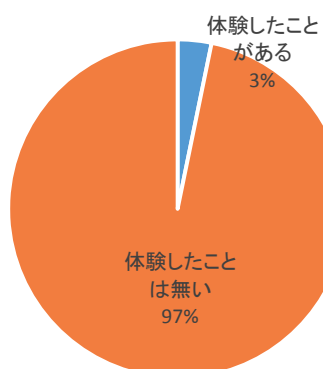
N = 124



しずく茶（すすり茶、つゆ茶）

項目	回答数
体験したことがある	4
体験したことは無い	120

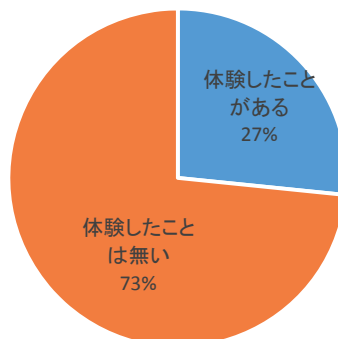
N = 124



お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り

項目	回答数
体験したことがある	33
体験したことは無い	91

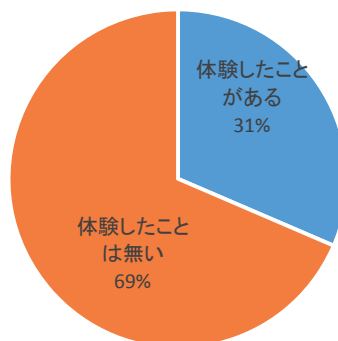
N = 124



お茶のアルコール、炭酸水割り

項目	回答数
体験したことがある	39
体験したことは無い	85

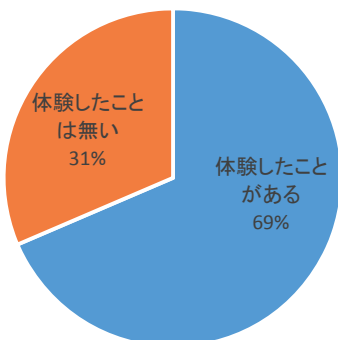
N = 124



菓子類、スイーツへのお茶等の利用

項目	回答数
体験したことがある	85
体験したことは無い	39

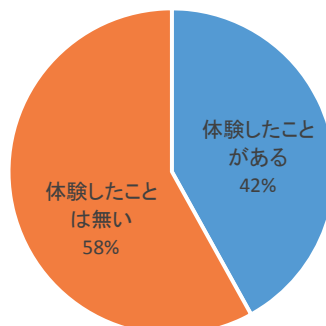
N = 124



料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用

項目	回答数
体験したことがある	52
体験したことは無い	72

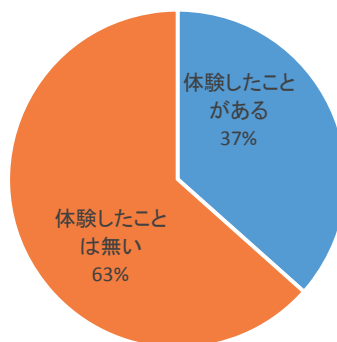
N = 124



お茶の飲食以外(消臭剤等)への利用

項目	回答数
体験したことがある	45
体験したことは無い	78

N = 123



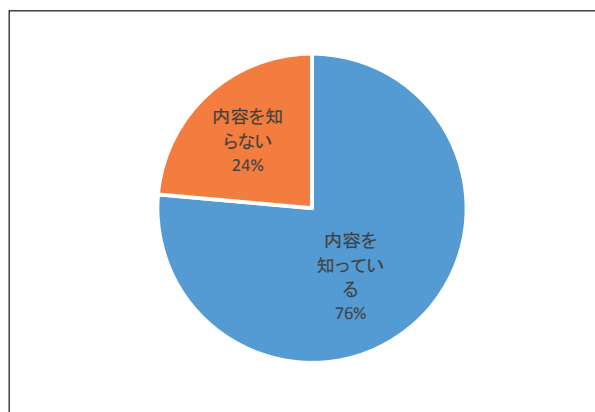
5.日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
内容を知っている、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

茶道

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	94
内容を知らない	29

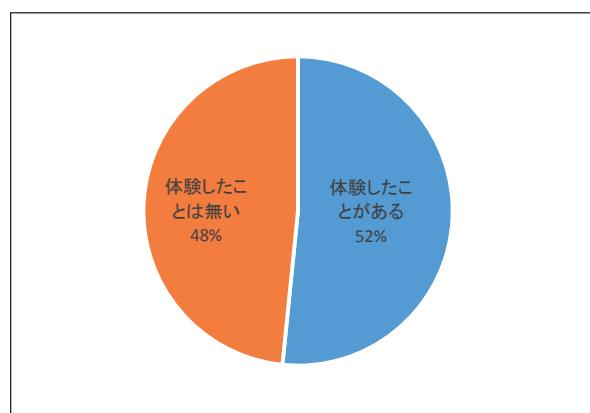
N = 123



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	64
体験したことは無い	60

N = 124

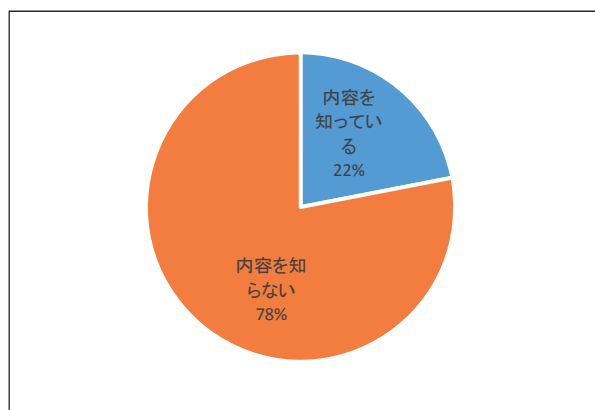


煎茶道

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	27
内容を知らない	96

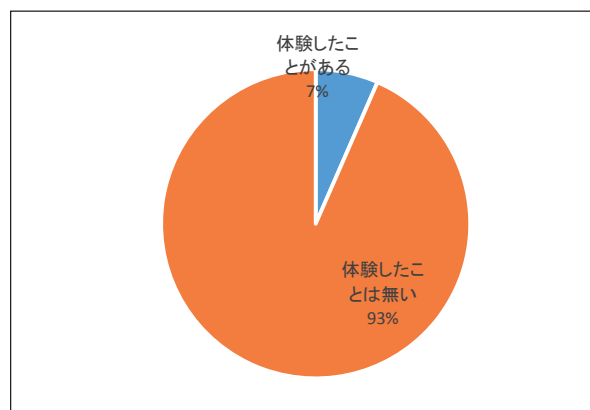
N = 123



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	8
体験したことは無い	114

N = 122

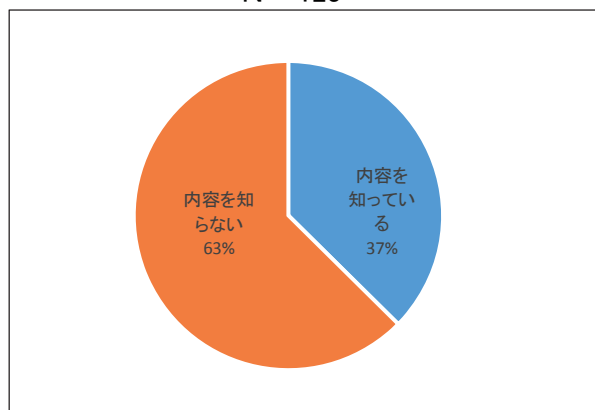


茶摘み体験・茶産地観光

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	46
内容知らない	77

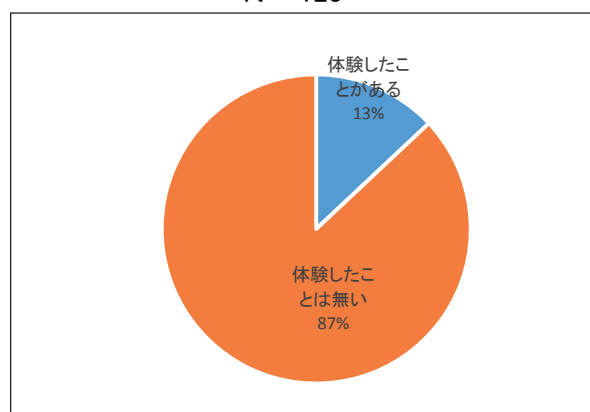
N = 123



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	16
体験したことは無い	107

N = 123

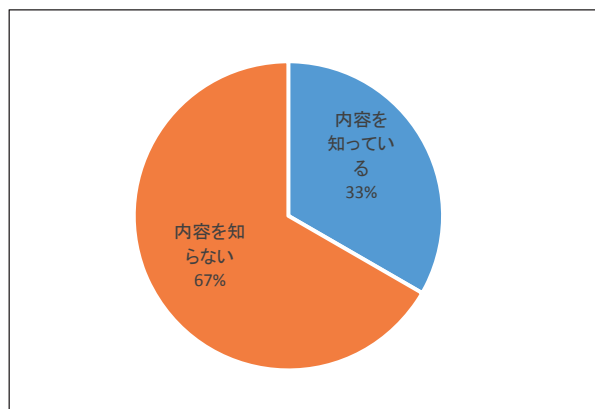


手もみ茶体験・工場見学

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	41
内容知らない	82

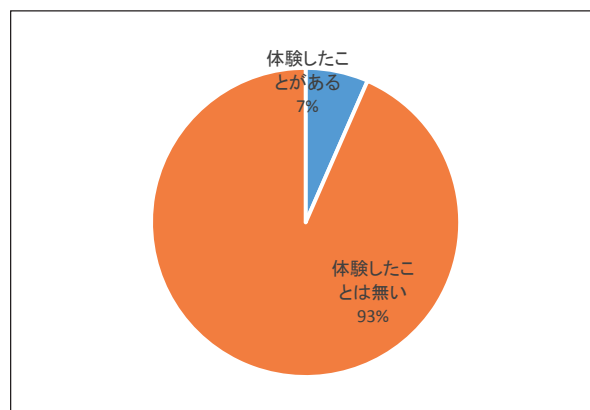
N = 123



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	8
体験したことは無い	114

N = 122

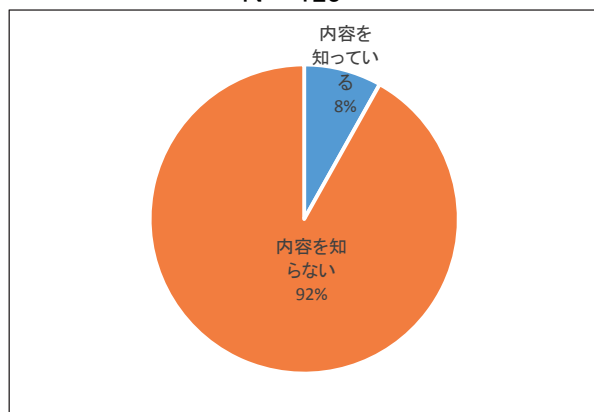


栄西と喫茶養生記の関係

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	10
内容を知らない	113

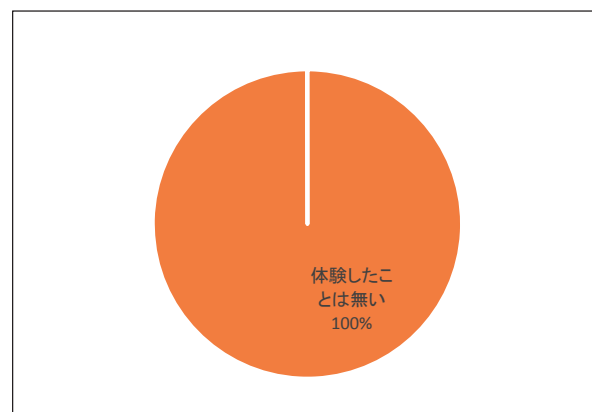
N = 123



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	0
体験したことは無い	122

N = 122

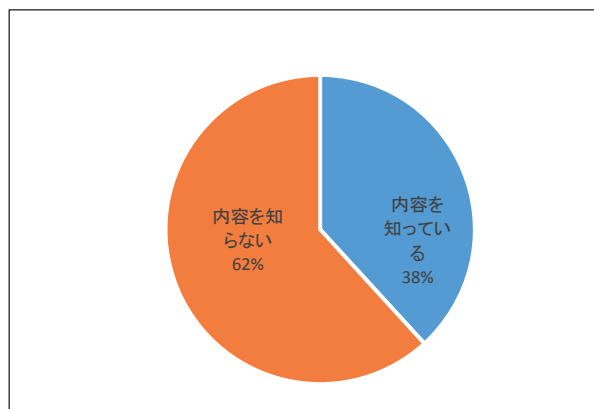


千利休とわび茶の関係

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	47
内容を知らない	76

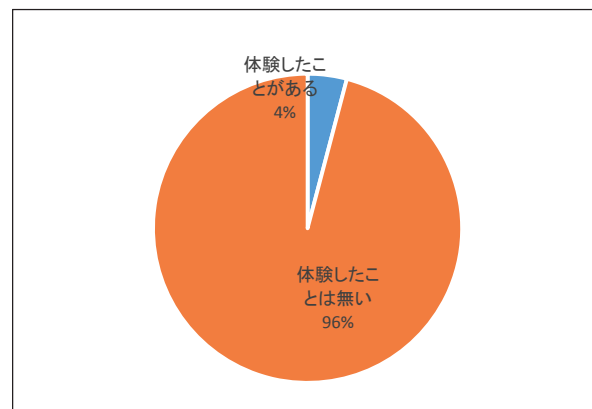
N = 123



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	5
体験したことは無い	117

N = 122

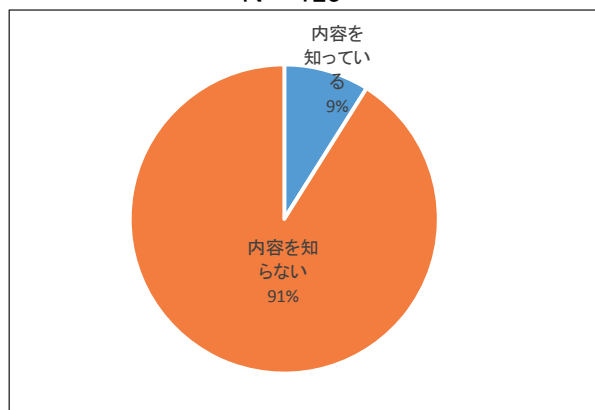


永谷宗円と煎茶の関係

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	11
内容を知らない	112

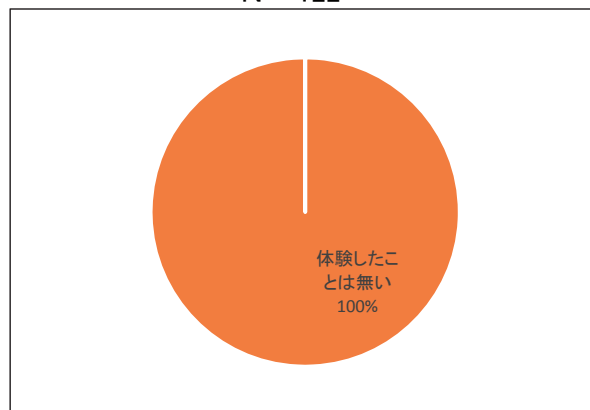
N = 123



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	0
体験したことは無い	122

N = 122



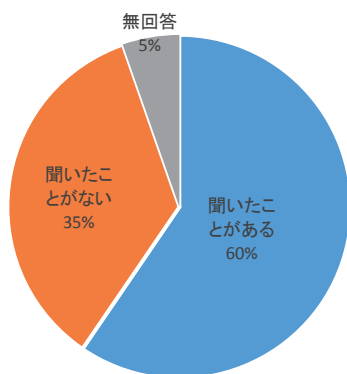
6.日本茶(緑茶)の機能性の認知度についてお聞きします。
聞いた事の有無、体験の有無について該当する項目に○を記入
してください。

抗アレルギー作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	78
聞いたことがない	46
無回答	7

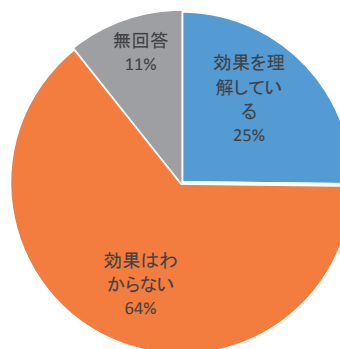
N = 131



【効果の理解】

項目	回答数
効果を理解している	33
効果はわからない	84
無回答	14

N = 131

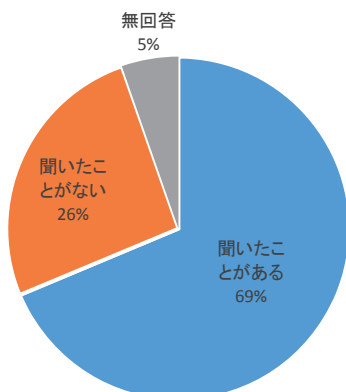


コレステロール低減作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	90
聞いたことがない	34
無回答	7

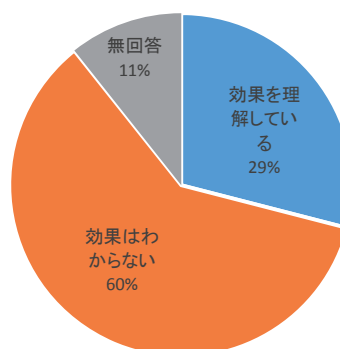
N = 124



【効果の理解】

項目	回答数
効果を理解している	38
効果はわからない	79
無回答	14

N = 131

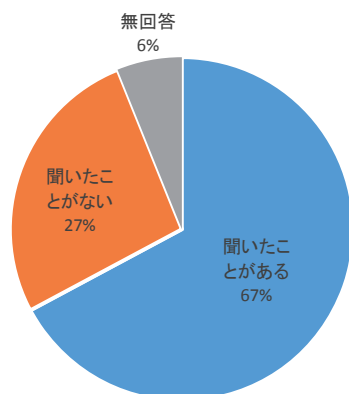


血糖上昇抑制作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	88
聞いたことがない	35
無回答	8

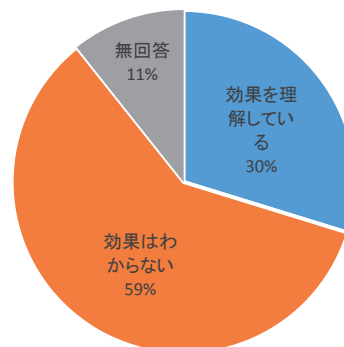
N = 131



【効果の理解】

項目	回答数
効果を理解している	39
効果はわからない	78
無回答	14

N = 131



7.今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的だと思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

- ・ 粉末茶を提供する。
- ・ 宣伝を積極的に実施する。
- ・ 各地イベントの回数を増やす。
- ・ 寒天に入れている、毎日。
- ・ 家で抹茶を飲みたいので、少量販売を希望します。
- ・ 日本茶の効用をもっとメディアを通じてアピールしたらよいと。
- ・ 体に良いので飲料にもっと活用していただけたらと思います。
- ・ 日本茶の良さをより多くの方にお知らせする。
- ・ 体験による普及活動。
- ・ 茶の酸化防止→すぐすっぱくなるので。
- ・ 食事の後に飲むと口の中がさっぱりするので、そういうところをアピールすればいいと思います。
- ・ 手軽に飲めたり、茶器が素敵だったらいいなと思います。海外でも美味しく飲む方法を教えて欲しい。(硬水)
- ・ 日本人はお茶は欠かせない関係にある。
- ・ 料理の中にお茶を使う。
- ・ お菓子など。
- ・ 昔茶道を10年近く習っていたので抹茶を飲みたいですが、簡単に飲めないのが簡単に飲めたらと思います。
- ・ 分かりません。でも茶道はなくならないで欲しい。
- ・ この様なイベントで知る機会が沢山あると良いと思いました。
- ・ 飲み方の普及。
- ・ 手軽な水出しペットボトル。
- ・ 外国人に向けての試飲会。メイドイン日本であることをもっとアピールすべき。
- ・ カフェのメニューでセットで加える。
- ・ お茶大好きです。今回の玉露の水出しがおいしくてびっくりしました。
- ・ 海外(ヨーロッパ)で売る。現地で高額。安く買えるようにする。
- ・ 飲む以外にも料理や消臭に使えることをもっとPRすると良いのでは。
- ・ 子どもにもお茶の淹れ方、おいしさを教えるように家庭でもやってみる。また、やってみたい。
- ・ 気軽に飲める機会を増やす。(お店に行ってもティーバッグが売ってなくて、購入をあきらめたことがあります)
- ・ 水筒様の300ml~500ml用のスティックタイプ。1Lは多いが会社へ持っていく水筒用が欲しい。
- ・ 簡単に飲めること。アジアは甘いと聞く。その地域にあった飲み方。
- ・ 健康の取り組み。特に海外。
- ・ 手軽さ、保存方法(個別パック)のもの。→簡単に作れる。お茶の良さ(特に健康やダイエット)にどのような効果があるのか。
- ・ ひたすらイベントをすること。
- ・ 効果をTVで宣伝すると良いのではないのでしょうか。
- ・ ウォーターサーバー会社とコラボして水出し茶の美味しさをアピールする。
- ・ メディアなどでもっと知っていただく。
- ・ お茶カフェ、インスタ映え。
- ・ お茶カフェ(日本茶オンリー)を増やす。
- ・ ペットボトル以外の楽しみ方(難しいが、プラスチックなので)。
- ・ 普及している国へPRする。

7.今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的だと思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

- 若い方はお茶を淹れて飲むまでの手間が面倒だということで、手軽に美味しいお茶が淹れられるようなものがあれば良いと思います。
- スタバみたいに街中で本当に美味しいお茶を気軽に飲めれば良いかなと思います。
- 海外の人に向けて、空港、駅に出店。
- 飲食以外での利用拡大。
- 健康増進に効果があることをさらにPR。
- 若い世代へアピール。CM、インスタ、SNSなどで。
- 日本茶の美味しさは心を潤わせてくれる。お菓子との組み合わせでゆっくりと味わえることが必要。
- たくさんの方になるべく知ってもらう為(味など)、人の多い場所で配布していくことが良いかと思います。
- 外国人に適応していること。

アンケート調査票

お茶に関するアンケート調査

2019.10.24-27
(大阪・BtoC)

Q 1 あなた自身のことをお聞かせください。

性別	男 女	年齢	○で囲む					住まい	都道府県	市区町村
			10代 60代	20代 70代	30代 80才以上	40代	50代			
職業	会社経営 会社員 主婦		職種	・茶関係(生産農家、自園自製業、自園自製自販、茶師、茶小売)						
	学 生 ()			・スーパー ・レストラン(和 洋 中 他)						
その他 ()				・喫茶店(緑茶専門店)、喫茶店(主な飲料)						
				・ホテル・宿泊関連、 ・その他 ()						
飲料に関する資格をお持ちの方は 具体的な資格名を全てお聞かせください。										

Q 2 このイベントに来場した目的をお聞かせください。

Q 3 次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

【選択肢】
①緑茶 ②ほうじ茶 ③紅茶 ④コーヒー ⑤水 ⑥ハーブティー ⑦中国茶
⑧烏龍茶 ⑨麦茶 ⑩清涼飲料水 ⑪その他

一番 よく飲む		二番目に よく飲む		三番目に よく飲む	
------------	--	--------------	--	--------------	--

Q 4 緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

(1) 急須で淹れて飲む -----

(2) ティーバッグで飲む -----

(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む -----

(4) ペットボトルで飲む -----

(5) ドリップ式で飲む -----

(6) フィルターインボトル方式
の水出しを飲む -----

○飲む緑茶の種類をお聞かせください。

Q 5 お茶を購入する時に産地を考慮しますか。考慮する割合をお聞かせください。

全く 考慮しない	あまり 考慮しない	比較的 考慮する	非常に 考慮する
-------------	--------------	-------------	-------------

Q 6 日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。
体験(実践を含む)の有無について、該当する項目に○×を記入してください。

項 目	体験(実践)した事
水出しのお茶	
氷だしのお茶	
しずく茶(すずり茶、つゆ茶)	
お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り	
お茶のアルコール、炭酸水割り	
菓子類、スイーツへのお茶等の利用	
料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用	
お茶の飲食以外(消臭剤等)への利用	

Q 7 日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
内容を知っている、体験の有無について該当する項目に○×を記入してください。

項 目	内容を知っている体験 した事がある	
	内容	体験
茶道		
煎茶道		
茶摘み体験・茶産地観光		
手もみ茶体験・工場見学		
茶西と喫茶養生記の関係		
千利休とわび茶の関係		
永谷宗円と煎茶の関係		

Q 8 日本茶(緑茶)には、さまざまな作用があります。それぞれの作用について認知度と効果の有無
についてお聞きします。該当する項目に○×を記入してください。

項 目	聞いたことの有無	効果の有無
抗アレルギー 作用		
コレステロール低減 作用		
血糖上昇抑制 作用		

Q 9 今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的である
と思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

※ご協力ありがとうございました。ご回答いただきました貴重なご意見は、今後の日本茶の普及推進に活用させていただきます。

当日の様子



(4) 東海地区イベント会場での実態調査

第73回 全国お茶まつり愛知大会（一般消費者）

日本茶文化・茶の需要拡大に資するイベントへの参画として、3会場で需要拡大にむけた取組を実施した。それぞれの地区において本事業として単独でイベントを実施することは、効果が小さいとの判断から、各地区で実施が予定されている各種イベントの中から、本事業主旨に合致しているイベントへの出展による取り組みとした。

1.調査概要

項目	内 容
調査日程	2019年11月16日(土)～11月17日(日)
調査会場	第73回 全国お茶まつり 愛知大会 (西尾公園総合グラウンド)
調査対象者	イベント会場へ来場した一般消費者
調査方法	無記名によるアンケート調査票への記入を行う
回収数	150件

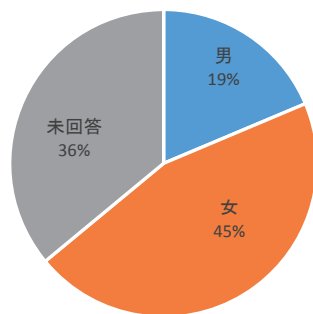


1. 回答者属性

(1) 性別

項目	回答数
男性	28
女性	68
無回答	54

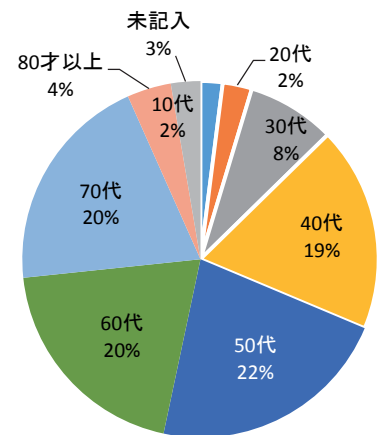
N = 150



(2) 年齢

項目	回答数
10代	3
20代	4
30代	12
40代	28
50代	33
60代	30
70代	30
80才以上	6
未記入	4

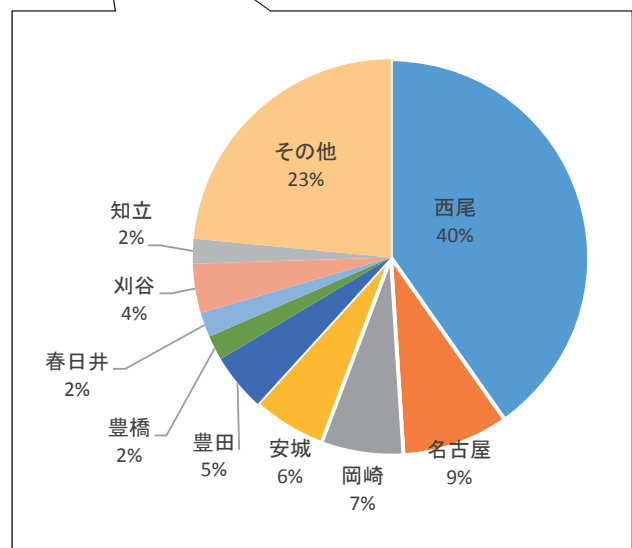
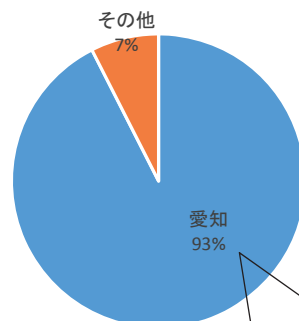
N = 150



(3) 住所

府県(国)	市区町村	回答数
愛知	西尾	60
	名古屋	13
	岡崎	10
	安城	9
	豊田	7
	豊橋	3
	春日井	3
	刈谷	6
	知立	3
	その他	35
その他		11

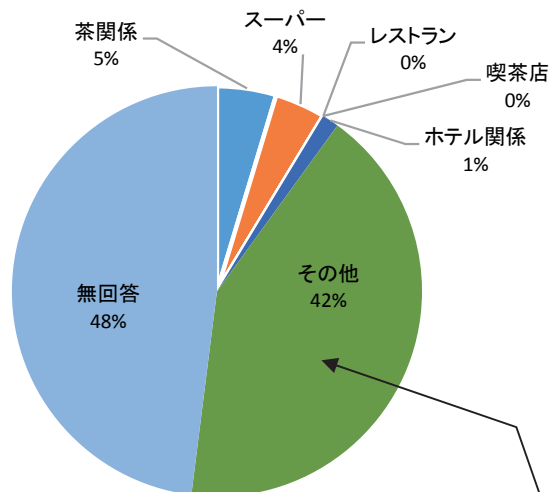
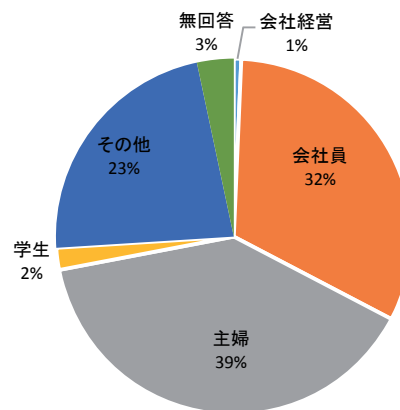
N = 150



(4) 職 業

項目	回答数
会社経営	1
会社員	48
主婦	59
学生	3
その他	34
無回答	5

N = 150



職種	回答数
茶関係	7
スーパー	6
レストラン	0
喫茶店	0
ホテル関係	2
その他	63
無回答	72

N = 150

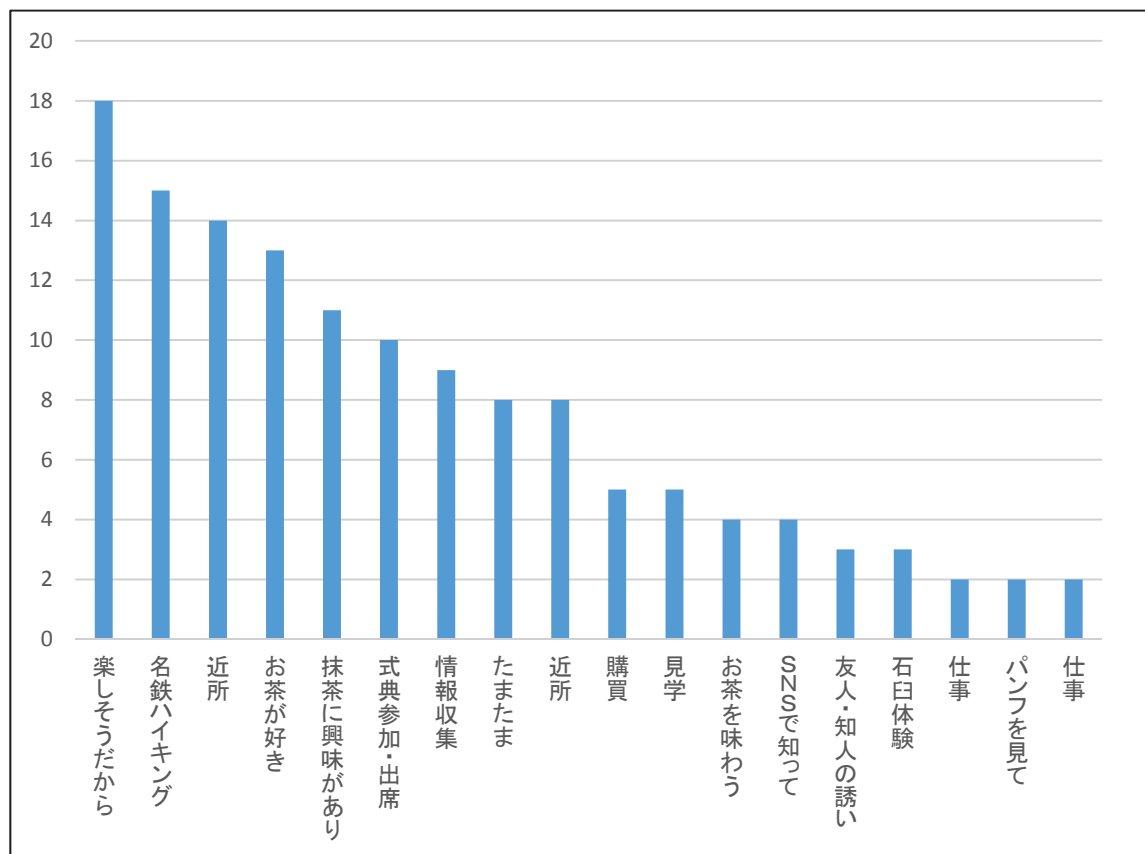
<その他>

- ・ 医療
- ・ 飲料
- ・ 介護
- ・ 会社員
- ・ 学校
- ・ 教育
- ・ 車部品製造
- ・ 公務員
- ・ コンビニ店員
- ・ サービス業
- ・ 自営
- ・ 施設
- ・ 自動車製造業
- ・ 製菓
- ・ 製造
- ・ 製造業
- ・ 団体職員
- ・ 茶小売
- ・ パート
- ・ 物流
- ・ 文具

(5) 来場目的

来場目的	回答数
楽しそうだから	18
名鉄ハイキング	15
近所	14
お茶が好き	13
抹茶に興味があり	11
式典参加・出席	10
情報収集	9
たまたま	8
近所	8
購買	5
見学	5
お茶を味わう	4
SNSで知って	4
友人・知人の誘い	3
石臼体験	3
仕事	2
パンフを見て	2
仕事	2

N=150

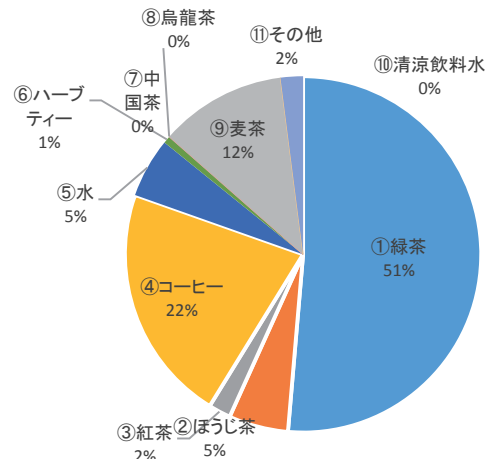


2.次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

一番良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	76
②ほうじ茶	8
③紅茶	3
④コーヒー	32
⑤水	8
⑥ハーブティー	1
⑦中国茶	0
⑧烏龍茶	0
⑨麦茶	17
⑩清涼飲料水	0
⑪その他	3

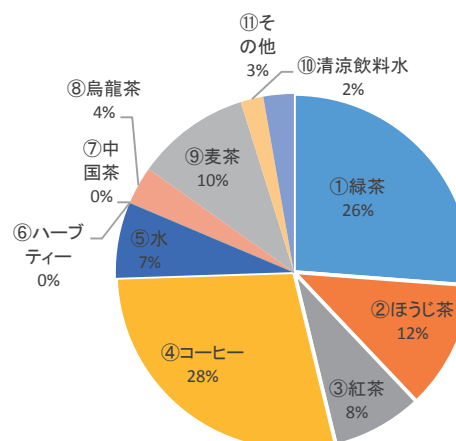
N = 148



二番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	38
②ほうじ茶	17
③紅茶	12
④コーヒー	41
⑤水	10
⑥ハーブティー	0
⑦中国茶	0
⑧烏龍茶	5
⑨麦茶	15
⑩清涼飲料水	3
⑪その他	4

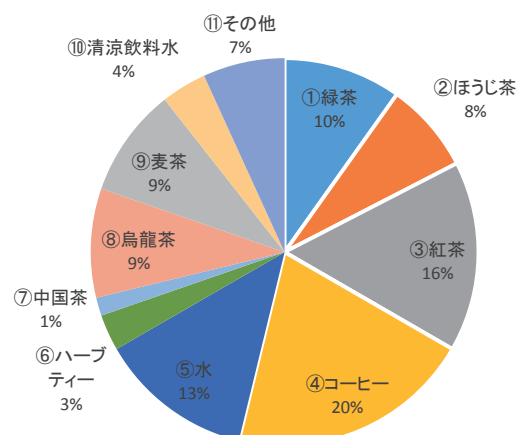
N = 145



三番目に良く飲むもの

飲み物の種類	回答数
①緑茶	13
②ほうじ茶	10
③紅茶	21
④コーヒー	27
⑤水	17
⑥ハーブティー	4
⑦中国茶	2
⑧烏龍茶	12
⑨麦茶	12
⑩清涼飲料水	5
⑪その他	9

N = 132

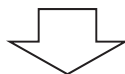
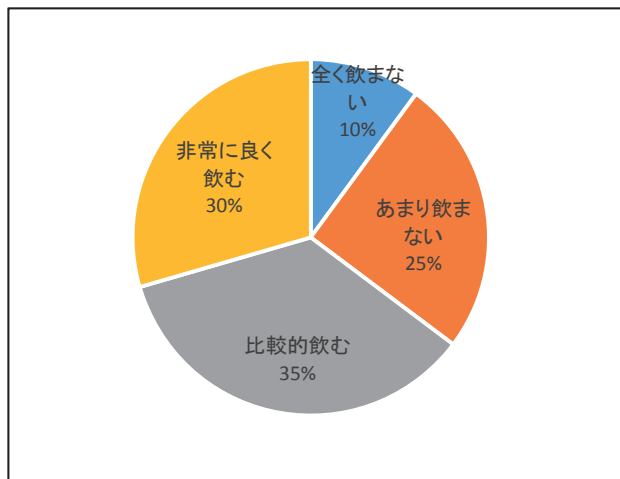


3.緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

(1) 急須で淹れて飲む

項目	回答数
全く飲まない	14
あまり飲まない	35
比較的飲む	49
非常に良く飲む	41

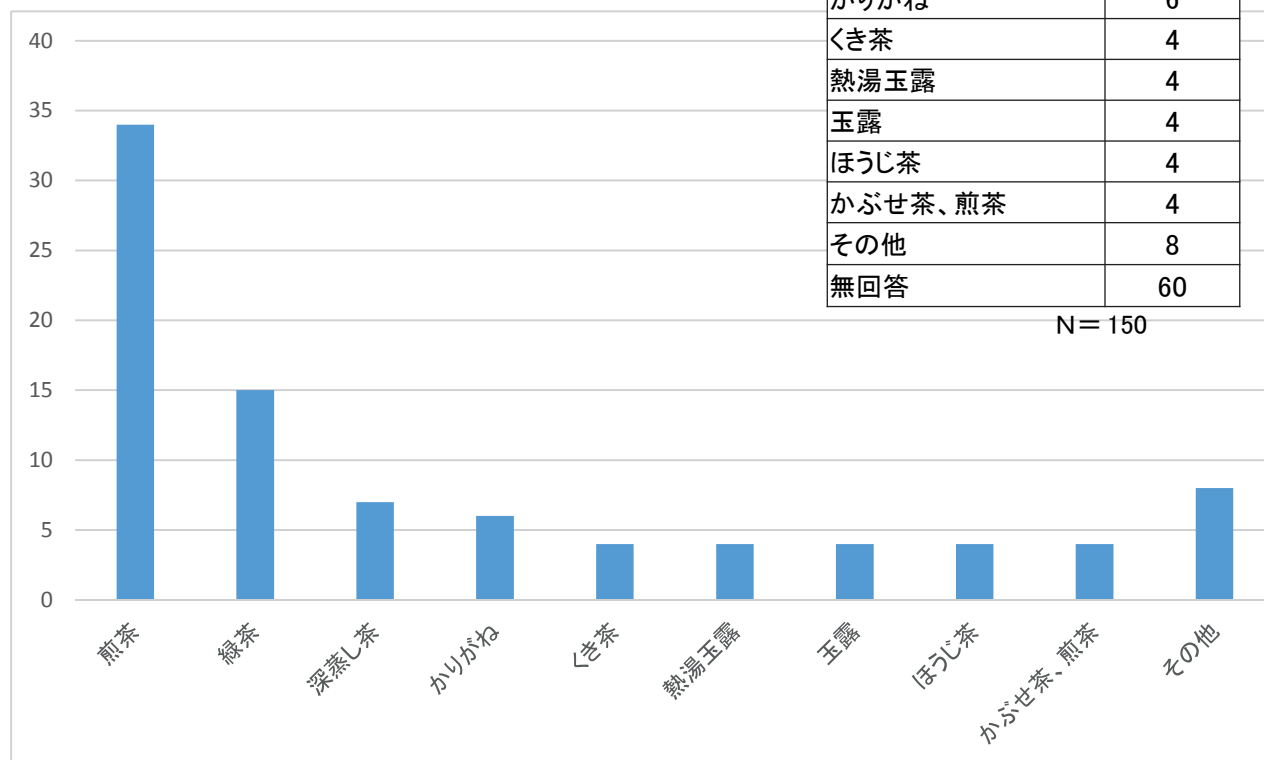
N = 139



飲む緑茶の種類をお聞かせください。

茶の種類	回答数
煎茶	34
緑茶	15
深蒸し茶	7
かりがね	6
くき茶	4
熱湯玉露	4
玉露	4
ほうじ茶	4
かぶせ茶、煎茶	4
その他	8
無回答	60

N = 150

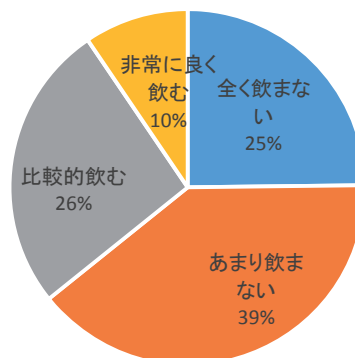


3.緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに○を付けてください。

(2) ティーバッグで飲む

項目	回答数
全く飲まない	34
あまり飲まない	54
比較的飲む	36
非常に良く飲む	13

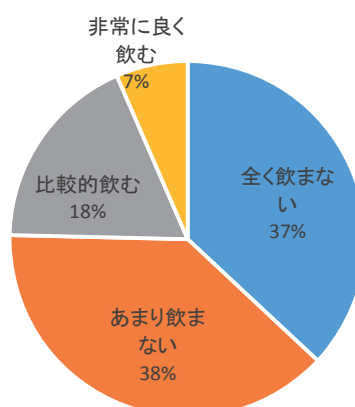
N = 137



(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む

項目	回答数
全く飲まない	51
あまり飲まない	53
比較的飲む	25
非常に良く飲む	9

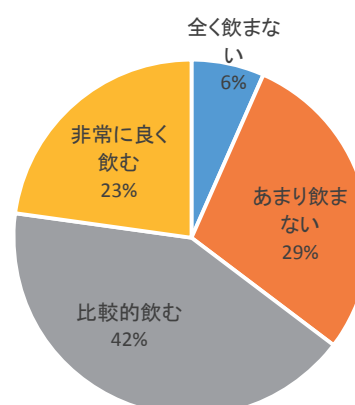
N = 138



(4) ペットボトルで飲む

項目	回答数
全く飲まない	9
あまり飲まない	39
比較的飲む	57
非常に良く飲む	31

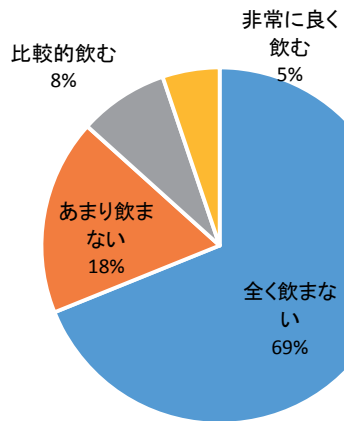
N = 136



(5) ドリップ式で飲む

項目	回答数
全く飲まない	93
あまり飲まない	24
比較的飲む	11
非常に良く飲む	7

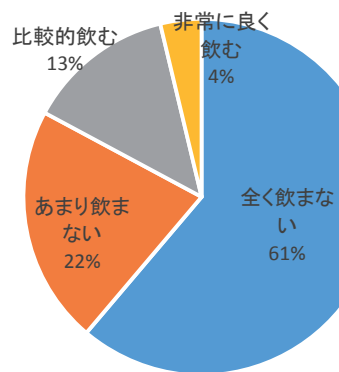
N = 135



(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む

項目	回答数
全く飲まない	82
あまり飲まない	29
比較的飲む	18
非常に良く飲む	5

N = 134

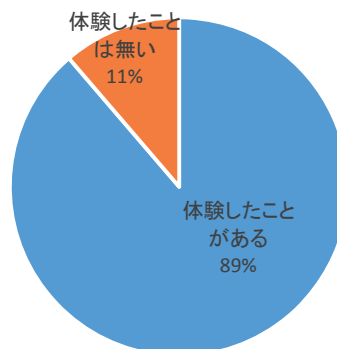


4.日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。

水出しのお茶

項目	回答数
体験したことがある	110
体験したことは無い	14

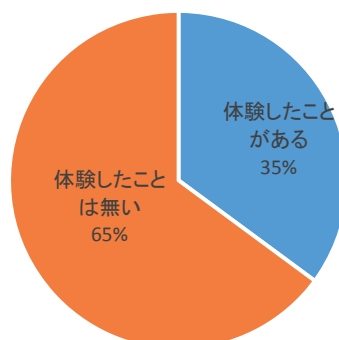
N = 124



氷だしのお茶

項目	回答数
体験したことがある	33
体験したことは無い	61

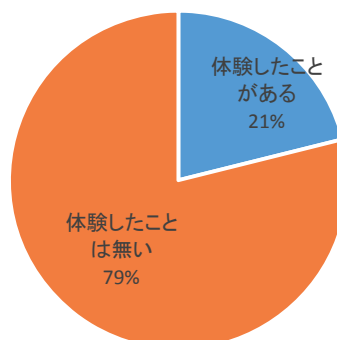
N = 94



しずく茶（すすり茶、つゆ茶）

項目	回答数
体験したことがある	19
体験したことは無い	71

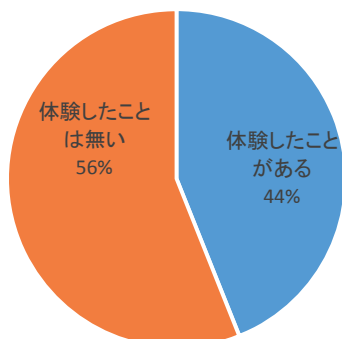
N = 90



お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り

項目	回答数
体験したことがある	40
体験したことは無い	51

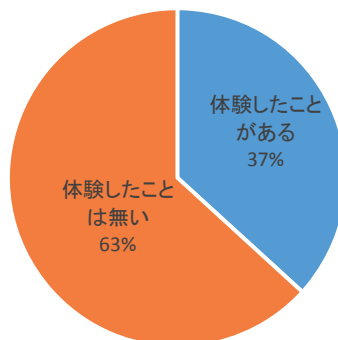
N = 91



お茶のアルコール、炭酸水割り

項目	回答数
体験したことがある	32
体験したことは無い	55

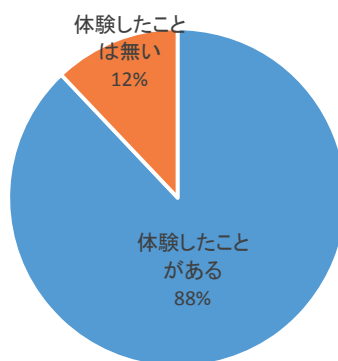
N = 87



菓子類、スイーツへのお茶等の利用

項目	回答数
体験したことがある	102
体験したことは無い	14

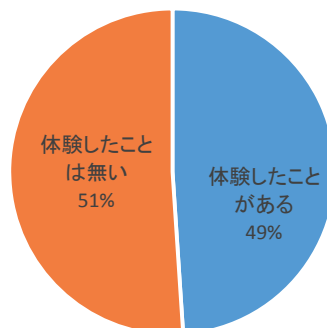
N = 116



料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用

項目	回答数
体験したことがある	47
体験したことは無い	49

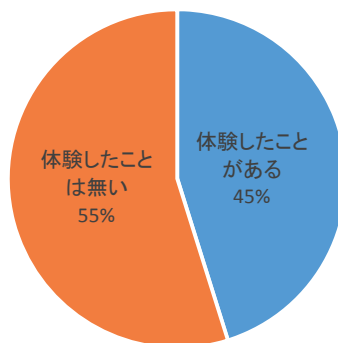
N = 96



お茶の飲食以外(消臭剤等)への利用

項目	回答数
体験したことがある	42
体験したことは無い	51

N = 93



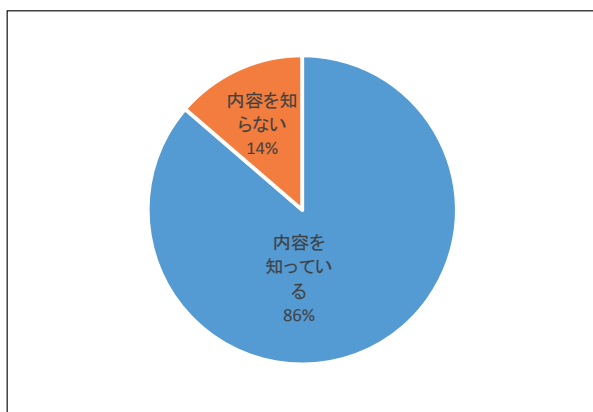
5.日本茶に関連する文化的な側面についてお聞きします。
内容を知っている、体験の有無について該当する項目に○を記入してください。

茶道

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	82
内容を知らない	13

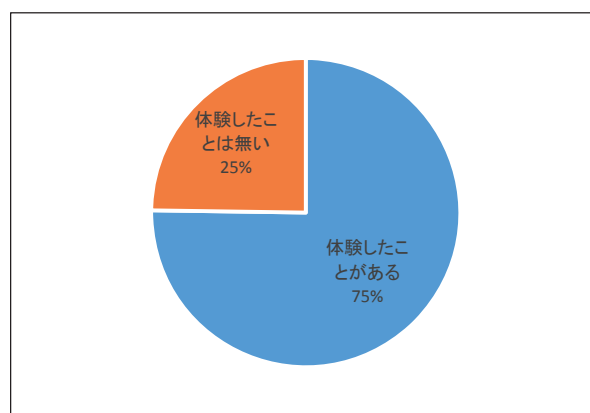
N = 95



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	79
体験したことは無い	26

N = 105

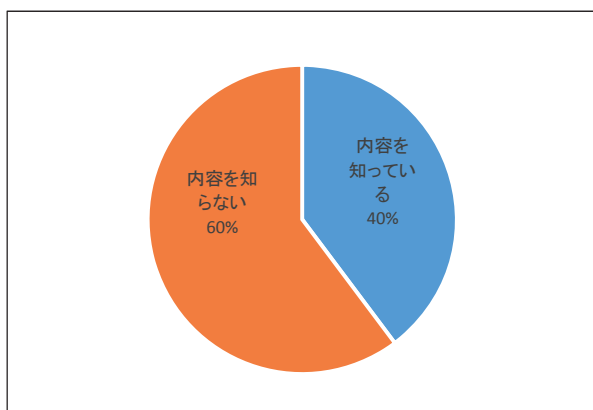


煎茶道

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	33
内容を知らない	50

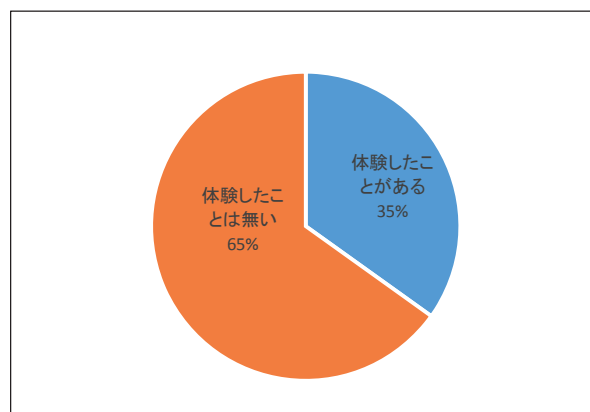
N = 83



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	30
体験したことは無い	56

N = 86

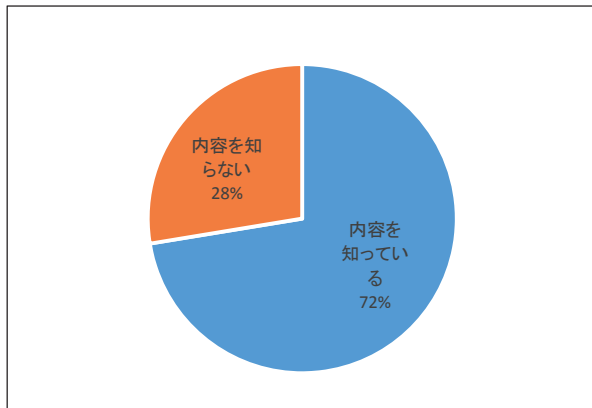


茶摘み体験・茶産地観光

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	63
内容知らない	24

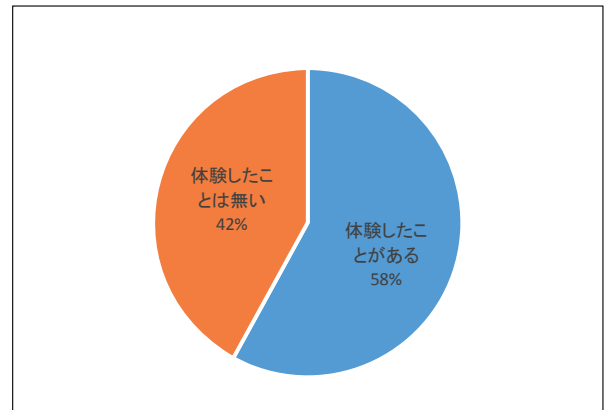
N = 87



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	58
体験したことは無い	42

N = 100

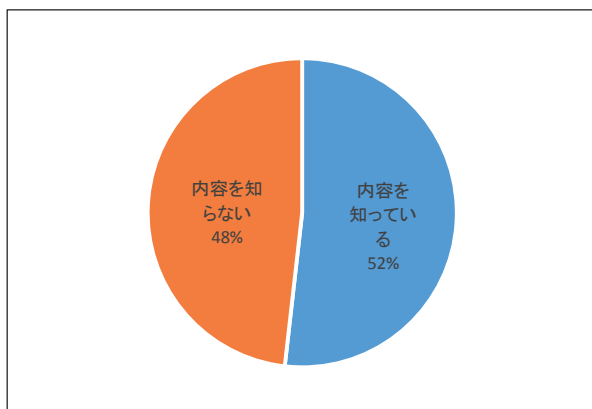


手もみ茶体験・工場見学

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	43
内容知らない	40

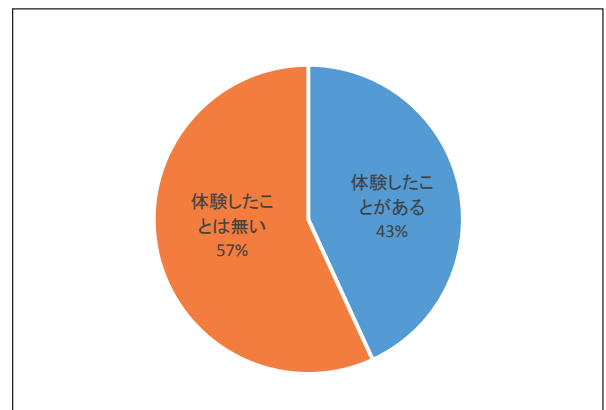
N = 83



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	41
体験したことは無い	54

N = 95

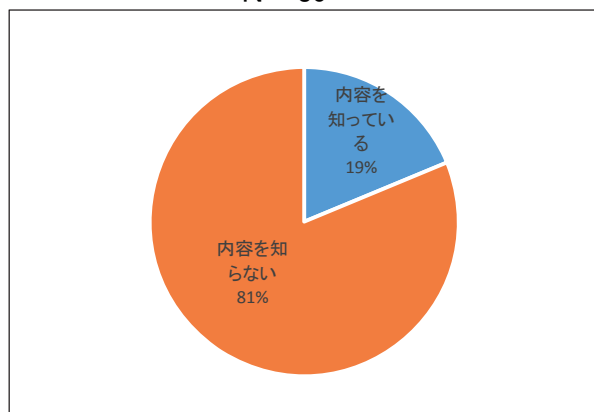


栄西と喫茶養生記の関係

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	15
内容を知らない	65

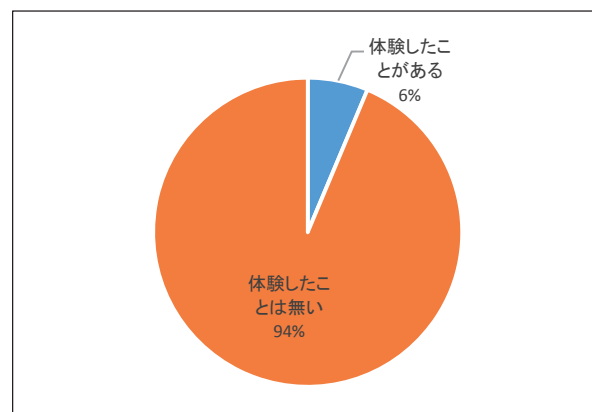
N = 80



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	5
体験したことは無い	74

N = 79

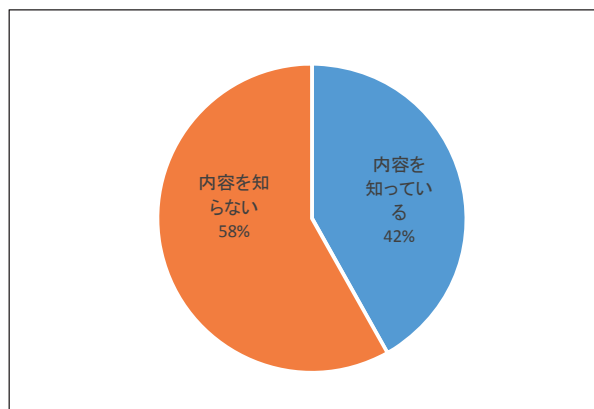


千利休とわび茶の関係

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	36
内容を知らない	50

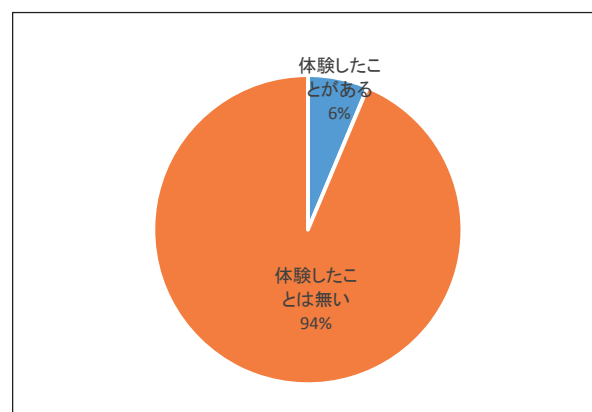
N = 86



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	5
体験したことは無い	74

N = 79

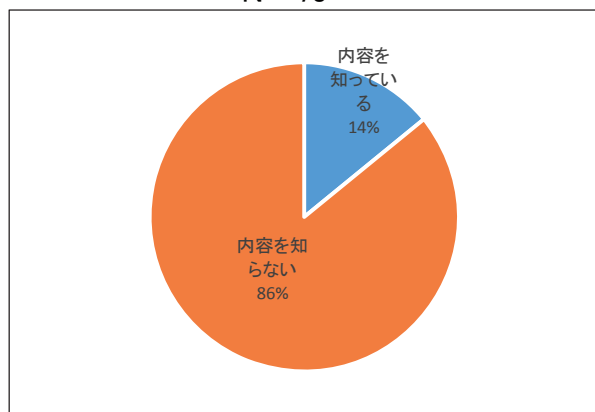


永谷宗円と煎茶の関係

【聞いた事】

項目	回答数
内容を知っている	11
内容を知らない	67

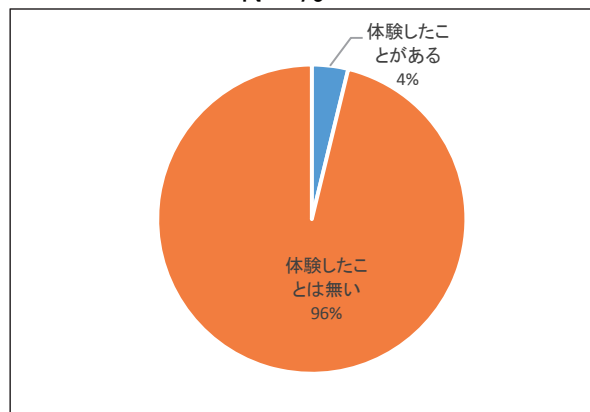
N = 78



【内容理解(体験した事)】

項目	回答数
体験したことがある	3
体験したことは無い	76

N = 79



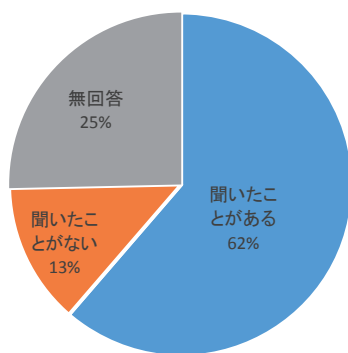
6. 日本茶(緑茶)の機能性の認知度についてお聞きします。
聞いた事の有無、体験の有無について該当する項目に○を記入
してください。

抗アレルギー作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	92
聞いたことがない	20
無回答	38

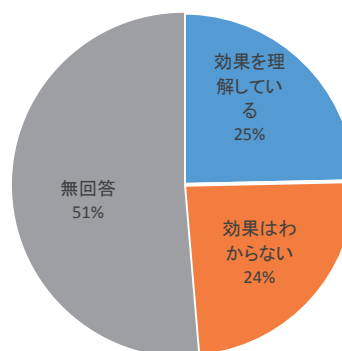
N = 150



【効果の理解】

項目	回答数
効果を理解している	37
効果はわからない	36
無回答	77

N = 150

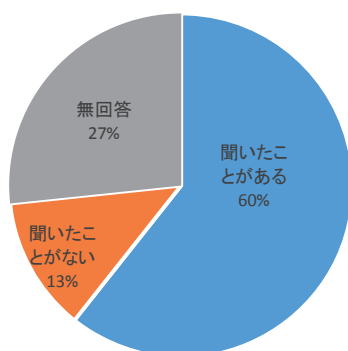


コレステロール低減作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	91
聞いたことがない	19
無回答	40

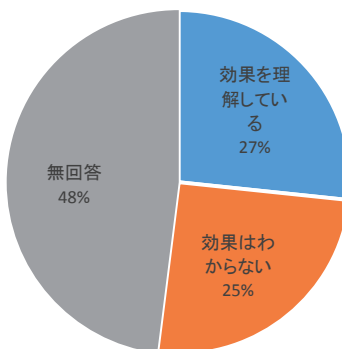
N = 110



【効果の理解】

項目	回答数
効果を理解している	40
効果はわからない	38
無回答	72

N = 150

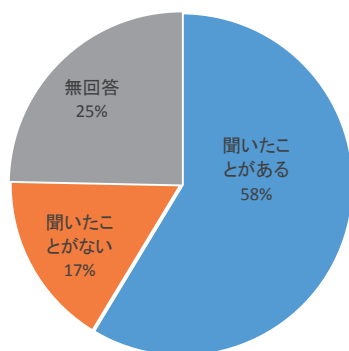


血糖上昇抑制作用

【聞いた事】

項目	回答数
聞いたことがある	88
聞いたことがない	25
無回答	37

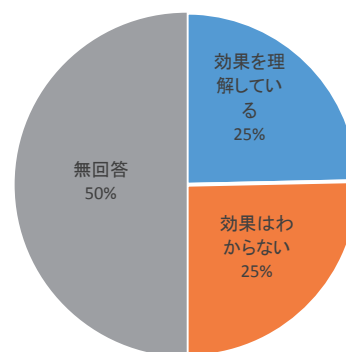
N = 150



【効果の理解】

項目	回答数
効果を理解している	37
効果はわからない	38
無回答	75

N = 150



7.今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的であると思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

- ・ 食事と合わせてだけでなく楽しめる体験として、カフェ等で楽しめるようにすれば良いと思います。(ドイツで流行しているように、フレーバーを楽しめるようにする。スターバックスのようにフードペアリングで甘味を提供する等。)
- ・ 投票等、もっと参加型のイベントがあると良いと思います。
- ・ 茶の効果をPRすると良い。
- ・ 日本古来の急須での飲み方を啓蒙することが大切であると思います。お茶と向き合って、丁寧に淹れること。
- ・ 健康的な影響についての研究をアピールし、そのために摂取しやすい高い品の開発。
- ・ 今日みたいに店頭で体験させていただくと良いと思います。急須と茶碗を手軽にあちこちで買えると良いと思います。
- ・ 新しい生活スタイルの提案、健康への意識啓発。
- ・ イベントとネット広報。
- ・ SNSや若い人達への情報発信。
- ・ 飲み終わった茶葉の利用法を分かり易く教えてもらえたらいいな。
- ・ 他の企業とコラボレーションする。大きい駅でスイーツなどにして売る。インターネットでの広報に力を入れる。オンラインショッピングも拡大する。海外の客をつかむ。特別感を出す。
- ・ スーパー等でのイベント。お茶の飲み方講習と販売。
- ・ 健康に良い。
- ・ 皆さんに宣伝して話す。
- ・ 色々なデザートに使って西尾土産を作って欲しいです。
- ・ 健康作用のPR。
- ・ テレビ、コマーシャル、イベント。健康についてのPR。
- ・ この様なイベントをSNSで発信して若い人に興味を持ってもらう。
- ・ 日本茶に合う洋菓子の開発。手軽さを改善する。
- ・ お茶のイベント拡大。
- ・ 低学年のころから急須でお茶の淹れ方を家庭科の必修として取り入れる。
- ・ もっと西尾のお茶を全国区でアピールしてください。
- ・ できるだけPRしてほしい。
- ・ 抹茶スイーツの紹介。
- ・ 学校給食で出す。
- ・ 簡単なお茶の淹れ方。京都の一保堂でのお茶の淹れ方は、よくわかり良かったです。100度→90度→80度注ぐ→50秒待つ→飲む。
- ・ スイーツメニューの新しいもの。効果についてもっと広める。
- ・ 新茶を料理に使うといいかも。おひたしかやっていないので。
- ・ 家庭料理に使えるお茶レシピの紹介。
- ・ 一人でもおいしく淹れること。冷たい飲み方が簡素でできたら良い。価格が高くなってしまうことが妥当だと知られていくこと。
- ・ お茶のPRをすればもっとお茶の効果が良いことが伝わると思います。
- ・ インストラクターさんを増やしたらどうですか。
- ・ 今日の様な催しは非常に良いと思います。これからも開催した方が良いと思います。
- ・ 煎茶は淹れ方で味が大きく変わるので(コーヒーや紅茶以上に)難しい。ので、急須に温度計をつける。茶葉の量を計りやすいスプーンを作るなどする。マイポットを持っていけば気軽に茶を注いでくれるお店を用意する。(360ml100円で)自動販売機を、コーヒー用、煎茶用、用意する。

7.今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的だと思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

- 安城から70年も前に越してきて、とても西尾も住みやすい街だと幸せに思っております。娘も68歳になり、次女も61歳、孫が4人そして曾孫が4人の私の宝物だと、みんな幸せに暮らしてほしいいつも祈りすごしております。お茶を、抹茶と煎茶ごちそうさまでした。
- 健康のための効果とおいしさの追求。
- お茶のイベント開催頻度UP。お茶パック＋水出し等の手軽に飲める方法のアピール。
- 学校給食(保育園も含む)に日本茶を取り入れたらどうか。→休憩時間にお茶タイムをもうけるなど。
- みんなが西尾茶を飲む場所がもっとあると良いと思う。
- 普段から水筒で飲めるようなものが普及していけばいいと思う。マックマーの水出し水筒など。
- 生産者ですが僕も考え中です。
- お茶をゆっくり飲む時間を作るのが良いと思うが実際難しいですね。
- 子供に飲ませて食育する。
- 効果効能を色々な人に知ってもらう。料理への展開をアピールしていく。
- 食育として学校で飲むようにする。
- より多くの人に知ってもらうには宣伝インフォメーションをしてお茶の良さ、文化、伝統をつなげてもらう。
- ペットボトルでの抹茶販売。幼少時からの家庭での飲用。家庭用の緑茶専用サーバー(ネスカフェのドルチェグストの様な)
- お菓子に使うこと
- かわいい袋。
- お茶の淹れ方が難しい。(淹れ方により全く味が異なってしまうので)インストラクター等の指導の機会を増やす。
- 普段でも家でお茶を飲む習慣が必要だと思います。
- 日本の文化の向上。もっとPRした方が良い。
- 急須から淹れるとおいしいお茶イベントをもっと、抹茶の日以外にも行ってほしいです。
- テレビのコマーシャル。
- 食事の後にお茶を飲む習慣を子供のころからつけたらどうでしょうか。お抹茶を習わせる。

アンケート調査票

お茶に関するアンケート調査

Q 1 あなた自身のことをお聞かせください。

性別	男 女	年齢	〇で囲む					お住まい	都道府県	市区町村
			10代	20代	30代	40代	50代			
			60代	70代	80才以上		海外の方は 国名			
職業	会社経営 会社員 主婦		職種	・茶関係（生産農家、自園自製業、自園自製自販、茶卸、茶小売） ・スーパー ・レストラン（和 洋 中 他） ・喫茶店（緑茶専門店）、喫茶店（主な飲料） ・ホテル・宿泊関連、 ・その他（ ）						
	学生（ ） その他（ ）									

飲料に関係する資格をお持ちの方は具体的な資格名を全てお聞かせください。

Q 2 このイベントに来場した目的をお聞かせください。

Q 3 次の選択肢の中から、普段あなたが飲んでいる飲料の多い順に番号を記入してください。

【選択肢】
①緑茶 ②ほうじ茶 ③紅茶 ④コーヒーマ ⑤水 ⑥ハーブティー ⑦中国茶
⑧烏龍茶 ⑨麦茶 ⑩清涼飲料水 ⑪その他

一番よく飲む	二番目によく飲む	三番目によく飲む
--------	----------	----------

Q 4 緑茶の普段の飲み方の形態について、各項目ごとに該当する飲み方のレベルに〇を付けてください。

(1) 急須で淹れて飲む -----

全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
--------	---------	-------	---------

→ 〇飲む緑茶の種類をお聞かせください。

(2) ティーバッグで飲む -----

全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
--------	---------	-------	---------

(3) 粉末の茶を湯で溶かして飲む -----

全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
--------	---------	-------	---------

(4) ペットボトルで飲む -----

全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
--------	---------	-------	---------

(5) ドリップ式で飲む -----

全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
--------	---------	-------	---------

(6) フィルターインボトル方式の水出しを飲む -----

全く飲まない	あまり飲まない	比較的飲む	非常によく飲む
--------	---------	-------	---------

Q 5 お茶を購入する時に産地を考慮しますか。考慮する度合をお聞かせください。

全く考慮しない	あまり考慮しない	比較的考慮する	非常に考慮する
---------	----------	---------	---------

Q 6 日本茶の新たな飲み方、他用途利用に関する認知度についてお聞きします。体験（実践を含む）の有無について、該当する項目に〇×を記入してください。

項 目	体験（実践）した事
水出しのお茶	
氷だしのお茶	
しずく茶（すすり茶、つゆ茶）	
お茶のミルク割り、クリーム・タピオカ入り	
お茶のアルコール、炭酸水割り	
菓子類、スイーツへのお茶等の利用	
料理とお茶のペアリング、料理へのお茶の利用	
お茶の飲食以外（消臭剤等）への利用	

Q 7 日本茶に関連する文化的側面についてお聞きします。内容を知っている、体験の有無について該当する項目に〇×を記入してください。

項 目	内容を知っている体験した事がある	
	内容	体験
茶道		
煎茶道		
茶摘み体験・茶産地観光		
手もみ茶体験・工場見学		
茶西と喫茶養生記の関係		
千利休とわび茶の関係		
永谷宗円と煎茶の関係		

Q 8 日本茶（緑茶）には、さまざまな作用があります。それぞれの作用について認知度と効果の有無についてお聞きします。該当する項目に〇×を記入してください。

項 目	聞いたことの有無	効果の有無
抗アレルギー 作用		
コレステロール低減 作用		
血糖上昇抑制 作用		

Q 9 今後、日本茶の消費を拡大していくためには、どのような取り組みをすることが効果的であると思いますか。具体的なアイデアがありましたらお聞かせください。

※ご協力ありがとうございました。ご回答いただきました貴重なご意見は、今後の日本茶の普及推進に活用させていただきます。

当日の様子



平成 31 年度農林水産省補助事業

持続的生産体制強化対策事業のうち
茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業
報告書

日本茶業体制強化推進協議会

2020.3

